

平成元年度

学校教育要覧

日野市立図書館 ☎81-7354



1579378

日野市教育委員会

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点	1
◇ 学校教育における指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の課題と指導の重点	5
◇ 日野市教育委員会の学校訪問	7
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画	9
◇ 日野市教育委員会指導室関係及び幼・小・中学校行事予定表	17
◇ 日野市教育相談室	29
◇ 日野市中心身障害教育推進協議会	32
◇ 日野市立小学校科学教育センター	35
◇ 指導主事事務分担	38
◇ 日野市教育委員会委嘱事業等担当校長・教頭	40
◇ 日野市教育委員会事務局組織	42
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧	44
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧	46
◇ 日野市立小・中学校主任（担当）一覧	48
◇ 授業研究主題一覧	52
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	54
◇ 就職・進学状況の推移	55
◇ 園児・児童・生徒・学級	56
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移	58
◇ 都教育研究員等一覧	59
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	60
◇ 避難場所と地区割当表	62
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	63
" 第二 " 	64
" 第三 " 	65
" 第四 " 	66
" 第五 " 	67
" 第六 " 	68
" 第七 " 	69
日野市立日野第一小学校	70
" 日野第二 " 	73
" 日野第三 " 	76
" 日野第四 " 	79
" 日野第五 " 	82
" 日野第六 " 	85
" 潤 徳 " 	88
" 平 山 " 	91
" 日野第八 " 	94
" 百 草 台 " 	97
" 滝 合 " 	100
日野市立高幡台小学校	103
" 日野第七 " 	106
" 南 平 " 	109
" 程久保 " 	112
" 旭が丘 " 	115
" 平山台 " 	118
" 東光寺 " 	120
" 三沢台 " 	122
" 仲 田 " 	124
日野市立日野第一中学校	127
" 日野第二 " 	129
" 七 生 " 	131
" 日野第三 " 	134
" 日野第四 " 	137
" 三 沢 " 	140
" 大 坂 上 " 	143
" 平 山 " 	146

平成元年度 日野市教育委員会の教育目標と重点

教育目標

教育基本法に基づき、生涯教育をふまえ、社会の変化に対し主体的に判断し、行動できる市民の育成を目指し、次のことを目標にして日野市の教育・文化の向上を図る。

1. 豊かな心、いきいきとした知識、健やかな体をやしなうとともに、社会人としての徳性を培い、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 各自のもつ個性と創造性を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する態度を育てる。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもと、青少年の健全な育成を進めるとともに、地域の自然、文化を大切にす郷土愛を育てる。

重点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 学校教育の内容・指導の充実に努め、幼児・児童・生徒に自ら学ぶ力をつけ、一人一人の個性や能力の伸長を図り、保護者の期待に応える教育を推進する。
2. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図り、市民への開放を推進する。
3. 家庭教育及び公民館活動の充実・スポーツ活動における指導体制の充実に努め、生涯に立脚した社会教育を推進する。
4. 図書館における資料の充実に努め、市民の多様な要求に応じられる図書館活動を推進する。

平成元年度 学校教育における指導の重点

日野市教育委員会の教育目標を達成するため、次のことを重点にし、学校教育の充実・向上を図る。

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

また、国際的視野をもち、わが国と諸外国との生活や文化の違いを理解させ、これを尊重する態度の育成に努め、世界の平和に貢献できる市民を育成することが重要である。

さらに、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることによって地域の理解と地域社会の一員としての連帯感をやしない、家庭・地域・関係諸機関との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育の推進に努めることが大切である。

(指導の重点)

○ 学習指導の改善・充実

児童・生徒が、ゆとりある充実した学校生活を送るためには、一人一人の個性や能力に応じた指導を徹底することが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせるとともに、柔軟な思考力と豊かな創造力を育て、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度をやしなう必要がある。

- (1) 学校の創意を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 児童・生徒の学習過程に視点をいた授業研究を行う。
- (3) 学習指導の改善を図るため、教育評価についての実践的な研究を行う。
- (4) 全教育活動を通じて自主性をやしなうとともに、好ましい人間関係の育成に努める。
- (5) 地域に根ざした教育活動を創意工夫し、実践するように努める。

○ 生活指導・進路指導の充実

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚と徳性を培い、自己実現を図る能力と態度を身につけさせることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて一人一人の児童・生徒の理解を深め、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

- (1) 児童・生徒理解を深め、基本的生活習慣の確立を図る。
- (2) 家庭・地域・関係諸機関との連携を深めるとともに、全教職員の共通理解に基づき、児童・生徒

の実態や発達段階に応じた生活指導を行う。

- (3) 学級経営の充実に努め、好ましい学級集団の形成を図るとともに、一人一人に応じた指導の徹底を図る。
- (4) 教育相談活動の充実に努め、積極的に児童・生徒を援助し、問題行動の未然防止に努める。
- (5) 一人一人の能力や適性を正しく把握し、それぞれが将来に対する目的意識を確立し、意欲的に学校生活を送れるように進路指導に努める。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく学校生活を送るためには、児童・生徒の心と体の健康づくりが大切である。

各学校においては、次の点に重点をおいて教育活動全体を通して健康・安全の指導と管理の徹底を図ることが大切である。

- (1) 自ら進んで健康の増進や体力の向上を図る態度や能力をやしなう。
- (2) 自ら自己の生命・安全を守る態度をやしなう。
- (3) 安全指導や安全管理を徹底し、学校内外の事故防止に努める。

○ 心身障害教育の充実

心身に障害をもつ児童・生徒一人一人の能力・適性を十分伸長するためには、教育環境の整備充実に努めるとともに、教育内容・方法の改善・充実に努めることが重要である。

各学校においては、次の点に重点をおいて心身障害教育の充実に努めるとともに、心身障害者への理解を深めることが大切である。

- (1) 心身障害教育について、全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と教育内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に応じた交流教育の推進に努める。
- (3) 家庭・医療機関及び、関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実させる。

※ 学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

○ 幼児教育の充実

幼児期は心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期である。各幼稚園においては、幼児の発達課題を適切にとらえ、次の点に重点をおいて教育活動の充実に努めることが大切である。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達に基づき、指導計画と指導法の改善に努める。
- (2) 基本的な生活習慣を身につけ、正しい社会的態度を育成し、豊かな情操をやしなうよう努める。
- (3) 地域の特性を生かし、教育活動を充実する。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者との連携を図り、幼児の健全な育成に努める。

平成元年度 東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな都民の育性を目指し、都民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる学習社会の実現を図り、もって、普遍的で個性豊かな文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次のことを基本的な視点に置き教育を推進する。

1. 高齢化、情報化、国際化など社会の変化に伴う学習需要の増大に対応し、家庭教育、学校教育、社会教育を充実し、相互の緊密な連携を図り、都民の生涯にわたる教育を推進する。
2. 学校教育においては、自他の生命を尊び、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯意識をもち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる都民の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
3. 社会教育においては、多様な教育機関と連携し、都民が、生涯を通じ、自らの課題に即して、あらゆる機会、あらゆる場を利用し、生活上、職業上の資質を高め、文化的教養を深め、スポーツに親しむことのできる生涯教育を推進する。

学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育において推進すべき課題を明らかにし、そのために必要な、日常の教育における指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭・地域との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

(学校教育の課題)

○ 人権尊重の教育の推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育の推進に努める必要がある。

また、障害をもつ人に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

さらに、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

○ 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質をやしなうよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、地域社会をとりまく急速な情報化に対応するため、情報化のもたらす影響を十分考慮し、児童・生徒の発達段階に即して、情報を主体的に選択し、活用していく能力と態度をやしなうことが大切である。

さらに、学校のもつ教育機能や施設・設備を地域社会の人々に広く開放し、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興を図るとともに、児童・生徒の社会活動への参加を一層促進することが大切である。

○ 国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち、世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するために

は、国際社会の中に生きる日本人としての自覚を促し、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度をやしなうことが重要である。

特に、各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して自国の文化や伝統についての理解を一層深めさせる必要がある。

また、国際都市東京の実態に即し、国際的な交流の機会等を生かし、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度を育成するとともに、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させることが大切である。

（指導の重点）

○ 学習指導の改善・充実

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる児童・生徒を育成するためには、一人一人の個性や能力を生かす指導の徹底を図り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させることが重要である。

各学校においては、教育内容・方法及び評価の改善を図り、児童・生徒が各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、社会の変化に主体的に対応できるよう柔軟な思考力や豊かな創造力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度やしなう必要がある。

特に、学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害をもつ児童・生徒に対しては、一人一人の実態を適切に把握し、能力、適性が十分伸長されるよう指導の徹底に努めることが大切である。

○ 生活指導・進路指導の充実

豊かな心をもち、たくましく生きる児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

特に、生活指導については、家庭、地域及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、これを未然に防止する指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。

また、進路指導については、児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう指導内容の改善・充実に努めることが大切である。

○ 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底して、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる必要がある。

特に、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身に付け、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図る必要がある。

また、性にかかわる指導においては、人間の性に関する理解を十分深めさせ、成長過程に適切に対応できるよう援助・指導することが大切である。

さらに、体育活動や日常生活における事故の防止に努めるとともに、交通や地震等による事故・災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

（注） 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

日野市教育委員会の学校訪問

1. 趣 旨

学校訪問は、教育委員会の教育長、教育次長及び指導室長、各課の課長、指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通して、①学校の当面する教育指導上の諸問題への対応、②学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況の把握、③日野市の全般的な教育活動を把握して、教育行政の参考にするとともに、各校の教職員との協議懇談を行い相互の理解を深め、日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する。

(1) 市教委訪問 A

2年間に一度、教育長、教育次長、指導室長、各課長及び指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容充実のため協議する。

①概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況 ④諸帳簿閲覧 ⑤協議・懇談等も含む。
尚、教育委員も時間のゆるす範囲で、教職員との協議に出席し懇談する。

(2) 市教委訪問 B

年間に A 訪問のない学校に、指導主事が訪問する。

①学級経営 ②教科・道徳・特活の指導 ③授業研究 ④生活指導等を含む。

(3) 要請訪問（一般訪問）

各学校（園）の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事が訪問し指導・助言する。

2. 平成元年度市教委訪問日程

No.	幼稚園名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	第一幼稚園	5月30日（火）	
2	第二幼稚園		6月28日（水）
3	第三幼稚園	10月18日（水）	
4	第四幼稚園		11月15日（水）
5	第五幼稚園	10月4日（水）	
6	第六幼稚園		11月29日（水）
7	第七幼稚園	5月22日（月）	

No.	小学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一小学校	10月23日(月)	
2	日野第二小学校		6月9日(金)
3	日野第三小学校	6月29日(木)	
4	日野第四小学校		11月29日(水)(一般訪問)
5	日野第五小学校	11月28日(火)	
6	日野第六小学校	10月13日(金)	
7	潤徳小学校	5月15日(月)	
8	平山小学校		10月11日(水)(一般訪問)
9	日野第七小学校	1月30日(火)	
10	日野第八小学校	11月21日(火)	
11	百草台小学校	10月27日(金)	
12	滝合小学校		1月24日(火)(一般訪問)
13	高幡台小学校		11月1日(水)(一般訪問)
14	南平小学校		1月31日(水)(一般訪問)
15	程久保小学校	11月13日(月)	
16	旭が丘小学校	2月9日(金)	
17	平山台小学校		6月14日(水)(一般訪問)
18	東光寺小学校	12月1日(金)	
19	三沢台小学校		6月19日(月)
20	仲田小学校		7月12日(水)

No.		市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一中学校		9月20日(水)
2	日野第二中学校		6月7日(水)(一般訪問)
3	七生中学校	11月9日(木)	
4	日野第三中学校		10月11日(水)(一般訪問)
5	日野第四中学校		6月14日(水)(一般訪問)
6	三沢中学校	1月22日(月)	
7	大坂上中学校		9月27日(水)
8	平山中学校	6月1日(木)	

平成元年度日野市教育委員会指導室の年間事業計画

A 一般研修

名称	ねらい・方針	内容・方法	対象
学校経営研修会 (5回)	市立幼稚園、小・中学校の運営に当たる教職員を対象に学校(園)の管理・運営の在り方について研究を深めるとともに、教育課題や学校経営について研修する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育法規と学校経営 ・新教育課程の実施 ・教育目標の具現化を図る工夫 ・都市の教育課題と管理職の役割 ・民営企業における人事行政上の課題と対応 	校長・ 教頭・ 教諭
教育課程研修会 (5回)	教育課程及び学習指導の充実・改善を図るために研修を深め、資料を作成することによって学校の教育計画の参考に供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領 総則 ・ " 生活科 ・ " 道 徳 ・ " 選択教科 ・ " 特別活動 	教務主任・ 担当教諭
中堅教諭・ 六年次教諭研修会 (10回)	個性・能力の伸長をめざす学習の個別化及び学習活動の多様化を図る指導法の在り方等について研修し、授業を通して実証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教育の理念 ・学習指導法の改善(1) ・学習指導法の改善(2) ・学習指導法の改善(3) ・性教育の方法(1) ・心身障害教育(1) ・性教育の方法(2) ・心身障害教育(2) ・道徳的实践力の育成 ・学習指導法の改善 	教 諭

名称	ねらい・方針	内容・方法	対象
教育課題研修会 (9回)	教育の本質と現代の教育的課題をとらえた教育活動を進めるために、当面する教育課題についての理解を深め、指導法について研修する。	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の教育課題 ・人権尊重の教育の推進 ・学級経営と問題行動への対応 ・社会科と生活科の指導 ・福祉教育のねらいと高齢者福祉副読本の活用 <ul style="list-style-type: none"> － 小学校 － ・福祉教育のねらいと高齢者福祉副読本の活用 <ul style="list-style-type: none"> － 中学校 － ・福祉教育のねらいと高齢者福祉副読本の活用 <ul style="list-style-type: none"> － 小学校 － ・性教育の進め方 ・情報処理教育の在り方 	教諭
教育相談研修会 (6回)	教育相談の理念について研修し、心身に障害をもつ子ども、問題行動をおこす子どもの理解を深め、事例研究を通して児童・生徒理解の方法及びその対応の方法について研修する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談的見方・考え方 <ul style="list-style-type: none"> －カウセリング・マインダー ・子どもの見方 ①子どもの問題行動 ・ “ ② “ ・ “ ③心身に障害をもつ子どもの指導 ① ・ “ ④ “ “ ② ・ケース・スタディ（相談ケースの中から） 	教諭・担当教諭
幼児研修教育会 (3回)	幼児の心理発達を的確にとらえるとともに、望ましい幼児教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領、特に小学校生活科との関連 ・教育者の基本的姿勢（安全面・法規面） ・実技研・実技遊び・リズム楽器絵本の与え方 	幼稚園教諭

	ねらい・方針	内容・方法	対象
初任者・新規採用教員研修会 (20回)	教員の職責の重要性を認識した上で、各学校の教育目標にそって一人一人の児童生徒の能力・特性を十分に生かす学習指導、生活指導、学級経営ができるように講義・授業研究をとおして教職の専門性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・開校式、オリエンテーション、教育長講話他 ・市内巡り（施設見学・地勢・現地学習） ・東京都及び日野市の教育課題、学習指導の基礎・基本 ・小学校における学習指導（授業参観） ・水泳実技及び救急法 ・宿泊研修の事前研修、説明会 ・学級経営の意義と指導 ・生活指導の理論と実際 ・特別活動の理論と実際 ・道徳教育の理論と実際 ・教育相談の理論と実際 ・心身障害児の理解と指導 ・教育機器の活用とその方法 ・授業参観・研究協議(1) ・授業参観・研究協議(2) ・授業参観・研究協議(3) ・授業参観・研究協議(4) ・授業の評価とその方法 ・教育実践発表会 ・閉会式、教育長講話 	新規採用教諭
実技研修会 (12回)	水泳実技指導	<ul style="list-style-type: none"> ・低・中学年の指導 ・救急法 	教諭
	陶芸実技	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸の基礎技法 ・実習 	教諭
	体育実技	<ul style="list-style-type: none"> ・表現・模倣の指導 ・運動会表現指導 ・体操の理論と実技指導 	教諭
	パソコン・ワープロ	<ul style="list-style-type: none"> ・初級 ・中級 	教諭

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務 泊 研 修 会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をとおしての資質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導 学級指導を実践している学校の参観 研究協議 	千葉県	教務主任
生活 指 導 研 修 会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため他地域の学校を参観し、情報交換をとおして生活指導主任の資質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 他域の学校的生活指導組織とその実践について学ぶ 研究協議 	山梨市	生活指導主任
保 一 日 研 修 会	学校保健の組織的活動を行い、成果をあげている学校を参観し自校の実践化に役立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 保健委員会の機能の実際 保健主任と養護教諭の職務分掌の具体的事例について研究協議 	未定	保健主任
進路 指 導 研 修 会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をとおして進路指導主任の資質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の指導計画並び指導組織とその実践 研究協議 	習志野市	進路指導主任
初任者・ 新採 教 員 研 修 会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 講話「児童・生徒理解の方法と生活指導 研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 自然観察の指導 「動物・植物・星・川」 	大成荘・鎌倉市	新規採用教諭

C 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主任の職務 ・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方 ・当面する教育課題 	市役所 又は 学校	教務主任
生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導上の臨時的対策 ・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方 	市役所 又は 学校	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方 ・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立 	市役所 又は 学校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健の在り方 ・保健指導の実態と望ましい在り方 ・分科会研究 ・研究発表 	市役所 又は 学校	保健主任

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに、進路情報を交換する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全校的な指導体制の確立 ・進路指導上の問題点の整理と検討 <ul style="list-style-type: none"> ◦進路指導の全体計画 ◦各学年の指導の重点 ◦進路指導を推進するための組織運営 ◦指導資料 	市役所 又は 学校	進路指導主任
社会科副読本委員会	小学校社会科副読本「わたしたちの日野」、中学校社会科副読本「のびゆく日野」の改訂を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市小・中学校社会科副読本の部分改訂 	市役所 又は 学校	委員
学連校協保健会	心身共に健康で明るい児童・生徒の育成のため、健康・安全に係る諸業務の運営について連絡協議する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健業務に係る連絡調整 ・健康・安全に関する情報交換 ・健康・安全のための教育指導に関する研修 ・研究発表 	市役所	養護教諭
就学相談委員会	心身に障害をもつ幼児・児童・生徒の障害及び発達に応じた適切な教育措置を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等との連絡と就学に関する継続相談 ・各種専門家による就学相談 	学校 又は 幼稚園	就学指導委員

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じ、個々の能力を生かす指導法を改善するため授業研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校に授業研究委託費15万円支給 授業記録（3事例）の提出 研究授業の公開 	各学校	小・中学校
教育ケース会議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術等を探る。	<ul style="list-style-type: none"> 事例研究 	市役所	教育相談員
体育主任会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通じた体育指導の実践化と生活化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 体位・体力向上をめざした学校教育活動全体の検討 体育科の教科指導の充実を図る研究・研修 「体力づくりの日」の効果的実践 	市役所 又は 学校	体育主任
教科作成委員会	道徳教育の推進にかかわる資料の編成及び教育内容の充実を図るための資料を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を推進するための資料作成 	市役所 又は 学校	作成委員
「編まど委員会」	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。	<ul style="list-style-type: none"> 「まどべ」の企画、原稿依頼、編集、校正 	学校	作成委員
音楽鑑賞委員会	音楽鑑賞教室で優れた音楽を鑑賞させることにより、情操を養い、正しい鑑賞マナーを身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 音楽鑑賞教室の企画、連絡、調整 	市役所 及び市 民会館	運営委員

名 称	ねらい・方針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
水 泳 運 営 記 録 委 員 会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 水泳記録会の企画、連絡、調整、運営 	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
日 運 光 移 動 教 室 委 員 会	日光移動教室を連合で行うに際し、円滑な運営が行われるよう連絡、調整にあたる。	<ul style="list-style-type: none"> 日光移動教室の企画、実地踏査、連絡、調整、運営 	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
人 推 権 尊 重 教 育 委 員 会	人権尊重教育の推進の方法について検討し、学校における人権尊重教育の在り方について連絡協議する。	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重教育の推進方法の協議 研修会の開催及び人権尊重教育推進校の成果の活用 	市役所 又は 学 校	推 進 委 員 会
国 推 際 理 解 教 育 委 員 会	国際理解教育の推進の方法について研究、協議し、日野市の実態に応じた国際理解教育の在り方について連絡協議する。	<ul style="list-style-type: none"> 帰国子女教育の推進の方法を協議 国際理解教育の在り方についての研究 	市役所 又は 学 校	推 進 委 員 会

平成元年度 日野市教育委員会 指導室関係及び幼・小・中学校行事予定表

△午前、○午後、□全日
A = A訪問、B = B訪問
㊸ = 一般訪問

4月

日	曜	市	都
1	土	△辞令伝達式	
2	㊸		
3	月	△校長会（505）	
4	火	□初任者・新採研（507）	
5	水	春季休業日終	
6	木	△始業式 △小学校入学式	
7	金	△中学校入学式 ○園長会	
8	土		
9	㊸		
10	月	△幼稚園入園式	○都市指導主事会・二地区（八王子）
11	火	○心障協	
12	水	（小教研）	△学校訪問協議会
13	木		□都市指導主事会
14	金	○保健主任会（504） ○進路指導主任会（501）	
15	土		
16	㊸		
17	月	○新任教頭研修会 ○教務主任会 ○学校図書館連絡協議会	○都市・新任指導主事研修会
18	火	○体育主任会（101） ○情報教育推委（507）	△体育・保健・給食担当指導主事連絡協議会
19	水		△指導主事連絡協議会
20	木	○教育委員会 ○辞令伝達式	□新任指導主事研修会
21	金	○教頭会（101） ○教育課程委員会（507）	□新任指導主事研修会
22	土		
23	㊸		
24	月	○生活指導主任会（101） ○国際理解教育推進委員会（507）	△生活指導担当指導主事連絡協議会
25	火	○教育相談ケース会議 ○教育課題研修会 ○就学相談委員会 ○外国語教育推進委員会（三沢中）	
26	水	○人権尊重教育推進役員会（507） ○授業改善委員会（101）	
27	木	○学校経営研修会	△多摩地区指導主事連絡協議会（多摩研） ○都市指導主事会
28	金	○初任者・新採研（507） ○教育課題研修会	
29	土	（みどりの日）	
30	㊸		
			（20日）

5月

日	曜	市	都	
1	月		△都市指導主事会・二地区会（町田）	
2	火	○心障協総会		
3	水	（憲法記念日）		
4	木	休 日		
5	金	（子どもの日）		
6	土			
7	日			
8	月	○生活指導主任会(504) ○学級経営研修会 △園長会	二 中 修	
9	火	○体育主任会(504) △校長会(505)		△消費者教育推進委員会
10	水	（小・中市教研総会）		△同和教育指導推進委員会
11	木		△心身障害教育担当指導主事連絡会	
12	金	○保健主任会(504) ○授業改善委員会(507) 進路指導主任宿泊研		
13	土	□ //	△都市指導主事会（八王子）	
14	日			
15	月	□A訪問（潤徳小）		
16	火	○情報教育推委員会(507)	△男女平等教育推進委員会	
17	水	△人権尊重教育推進役員会(507)	△幼稚園担当指導主事連絡協議会 ○都市指導主事会	
18	木	○教務主任会(504) ○中堅・6年次研修会	□区市指導主事研究会	
19	金	△教頭会(504) ○教育課程委員会(507)	□区市指導主事研究会	
20	土			
21	日			
22	月	□A訪問（七幼） ○教育相談研修会	七 生 中 修	
23	火	○教育課題研修会		□新任教頭研修会 ○多摩地区健全育成行政連絡会
24	水	□ 日光移動教室実踏		
25	木	□ //		
26	金	○国際理解教育推進委員会(506)	△都市指導主事会（稲城）	
27	土	○初任者・新採研(203) ○栽培研修会		
28	日			
29	月	○中学校生活指導主任会（一中）		
30	火	□A訪問（一幼） ○教育課程研修会	△新任指導主事研修会	
31	水			
31日 地区協大会				

（24日）

6月

日	曜	市	都
1	木	<input type="checkbox"/> A訪問(平山中)	△国際理解教育推進委員会
2	金	○保健主任会(504) △園長会 ○進路指導主任会(507)	
3	土		
4	⑩		
5	月	○生活指導主任会(504)	
6	火	○校長会(505)	
7	水	(小教研) <input type="checkbox"/> B訪問(二中)	<input type="checkbox"/> 都一般訪問(B)
8	木	○心障協 ○学校保健研修会	△都市指導主事会
9	金		
10	土		
11	⑪		
12	月	○中堅・6年次研修会 ○体操実技研修会	△都市指導主事会・二地区会(日野) <input type="checkbox"/> 新任教頭研修会
13	火	○新任教頭研修会 ○体育主任会(杉並)	
14	水	<input type="checkbox"/> B訪問(平山台小・四中) (○中教研)	<input type="checkbox"/> 都一般訪問(B)
15	木	○教育規程委員会(507)	△生活指導担当指導連絡協議会
16	金	○国際理解教育推進委員会(507) △教頭会(101)	
17	土		
18	⑫		
19	月	<input type="checkbox"/> B訪問(三沢台小) ○教育課程研修会・教育課程編成委員会(七小)	
20	火	○教育相談ケース会議 ○学校経営研究会	△心障害教育担当指導主事会
21	水	(小教研・体育大会)	
22	木		△都市指導出事会
23	金	○初任者・新採研(507) ○授業改善委員会(101) (○中教研体育大会)	
24	土		
25	⑬		
26	月	○人権尊重教育推進委員会(七小) <input type="checkbox"/> 生活指導主任宿泊研 ○学校経営研修会	
27	火	<input type="checkbox"/> ”	
28	水		
29	木	<input type="checkbox"/> A訪問(三小) ○幼児教育研修会	
30	金	○情報教育推委員会 <input type="checkbox"/> 教務主任会宿泊研	
28日		婦人部大会	

(26日)

7月

日	曜	市	都
1	土	<input type="checkbox"/> 教務主任会宿泊研	
2	⑩		
3	月	○生活指導主任会(101) △園長会 ○緑と清流	△都市指導主事会・二地区会(多摩)
4	火	△校長会(101) ○心障協 ○情報教育推委(四中)	○多摩地区生活指導推進委員会(多摩研)
5	水	(小教研) ○水泳実技研修会 ○授業改善委員会(101)	
6	木		△都市指導主事会
7	金	○保健主任会(101) ○進路指導主任会(203)	△指導主事連絡協議会
8	土		日 I
9	⑩		光
10	月	<input type="checkbox"/> 教育課程研究委員会(506)	移 II
11	火	○体育主任会(101)	動
12	水	<input type="checkbox"/> B訪問(仲田小) (○中教研)	教 III
13	木	○教務主任会(101)	室
14	金	○初任者・新採研(203)	IV
15	土		
16	⑩		
17	月	△教頭会(505) ○中学校生活指導主任会(101)	
18	火		△都市指導主事会
19	水		
20	木	△終業式	△幼稚園担当指導主事連絡協議会
21	金	夏季休業日始	
22	土		
23	⑩		
24	月	<input type="checkbox"/> 陶芸実技研修会	
25	火	<input type="checkbox"/> 初任者・新採宿泊研 <input type="checkbox"/> "	
26	水	"	
27	木	"	
28	金	<input type="checkbox"/> " △教育相談研修会(504)	
29	土	△ "	
30	⑩		
31	月	△教育相談研修会(504) △就学相談委員会	
26. 31. 幼・新教育課程説明会			
(17日)			

8月

日	曜	市	都
1	火	△教育相談研修会 (504)	<input type="checkbox"/> 市・新任指導主事研修会
2	水	<input type="checkbox"/> 初任者・新採研 <input type="checkbox"/> 幼児教育研修会	
3	木	△ “ ” (505) ○新任教頭研修会 (504)	
4	金	○中堅・6年次研修会 (504)	
5	土		
6	㊥		
7	月		
8	火	<input type="checkbox"/> 小学校教頭1日研修会	
9	水		
10	木		
11	金		
12	土		
13	㊥		
14	月		
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		<input type="checkbox"/> 教育研究員宿泊研 (小)
19	土		”
20	㊥		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 教育研究員宿泊研 (中)
21	月		”
22	火		<input type="checkbox"/>
23	水	○幼児教育研修会 <input type="checkbox"/> 体育実技研修会 (505)	
24	木	<input type="checkbox"/> 同 上	
25	金		
26	土		
27	㊥		
28	月		<input type="checkbox"/> 新任教頭研修会
29	火		
30	水		
31	木	夏季休業日終	
4.	7	幼・新教育課程講習会	

9月

日	曜	市	都
1	金	△第二学期始業式 防災の日	
2	土		△都市指導主事会
3	⑨		
4	月	○中学校水泳記録会 △園長会	
5	火	○小学校水泳記録会(川北) △校長会(505)	
6	水	○ “ (川南)	△都市指導主事会・二地区会(稲城)
7	木		<input type="checkbox"/> 指導主事管外研Ⅱ
8	金	○進路指導主任会(507) ○保健主任会(505) ○教育課程研修会	
9	土		
10	⑩		
11	月	○生活指導主任会(505) ○心障協	△消費者教育推進委員会
12	火	<input type="checkbox"/> 音楽鑑賞教室(中) ○体育主任会(504)	△多摩地区指導主事連絡協議会
13	水	<input type="checkbox"/> 音楽鑑賞教室(中・小) (市教研)小・中	△学校訪問協議会
14	木	<input type="checkbox"/> 音楽鑑賞教室(小) ○教育課題研修会 ○教員課程委員会(507)	△小・新学習指導要領説明会
15	⑪	(敬老の日)	
16	土		
17	⑪		
18	月	○授業改善委員会(101)	△同和教育指導推進委員会
19	火		△体育担当指導主事連絡協議会
20	水	<input type="checkbox"/> B訪問(一中)	
21	木	○教務主任会(505) ○中堅・6年次研修会	
22	金	△教頭会(505)	△男女平等教育推進委員会
23	⑫	(秋分の日)	
24	⑫		
25	月	○中・生活指導主任会(505)	△生活指導担当指導主事会
26	火	○外国人英語指導補助者連絡会(507)	
27	水	<input type="checkbox"/> B訪問(大坂上中)	
28	木		
29	金	○情報教育推進委員会(507)	△中・新学習指導要領説明会
30	土		

(24日)

10月

日	曜	市	都
1	㊤	(都民の日)	
2	月	△園長会	△都市指導主事会・二地区会(八王子)
3	火	△校長会(505) ○国際理解教育推進委員会(507) ○心障協	
4	水	□A訪問(五幼)	
5	木		△国際理解教育推進委員会
6	金	○進路指導主任会(507) ○保健主任会(505)	△都市指導主事会
7	土		
8	㊤		
9	月	○生活指導主任会(505)	○市・新任指導主事研修会
10	㊥	(体育の日)	
11	水	□B訪問(平山小・三中)	□都一般訪問(B)
12	木	○体育主任会(504)	□ 同和教育指導推進委員会
13	金	□A訪問(六小)	□ "
14	土	○就学相談委員会	
15	㊤		
16	月	○体力づくりの日(1)	体力↑ づくり の 日 週間 ↓
17	火	" (2) ○情報教員推委(507) ○新任教頭研修会	
18	水	○体力づくりの日(3) □A訪問(三幼)	
19	木	○教務主任会(505)	○多摩地区健全育成行政連絡会 △都市指導主事会
20	金	○初任者・新採研(507) △教頭会(505) ○授業改善委員会(101) ○教育課程研修会	○多摩地区生活指導研究会
21	土	○就学相談委員会	
22	㊤		
23	月	□A訪問(一小) ○中堅・6年次研修会	
24	火	○栽培研修会	
25	水	(秋季総合体育大会)	
26	木	(予備日)	□ 指導主事管外研(I)
27	金	□A訪問(百草台小)	□ "
28	土		□ "
29	㊤		
30	月	○中・生活指導主任会 ○教育規程委員会(507)	
31	火	○教育相談ケース会議 ○人権尊重教育推進委員会(504)	
13. 19. 20. 30 小・新学習指導要領説明会			
18	教研集会		(25日)

11月

日	曜	市	都
1	水	□B訪問（高幡台小）	□都一般訪問（B）
2	木	○教育課程研修会	△都市指導主事会
3	金	（文化の日）	
4	土		△都市指導主事会・二地区会（町田）
5	日		
6	月	○生活指導主任会(505) △園長会 ○人権尊重推進委員会(504)	
7	火	△校長会(505) ○教育課程委員会(507)	
8	水	（小・中市教研）	
9	木	□A訪問（七生中） ○中堅・6年次研修会	△保・給担当指導主事連絡協議会
10	金	○保健主任会(505) ○心障協 ○進路指導主任会(507)	
11	土		
12	日		
13	月	□A訪問（程久保小）	○家裁との打ち合わせ
14	火	○体育主任会(504) ○情報教育推委(507)	△男女平等教育推進委員会 ○健全育成シンポジウム
15	水	□B訪問（四幼）	
16	木	○教務主任会(504)	○家裁との打ち合わせ
17	金	△教頭会(504) ○授業改善委(504) ○初任者・新採研(502) ○小学校長会研究発表会	△生活指導担任指導主事連絡協議会
18	土		
19	日		
20	月	○学校図書館連協 ○教育課題研修会	△心障担当指導主事連絡協議会
21	火	□A訪問（八小）	
22	水		
23	木	（勤労感謝の日）	
24	金	○国際理解教育推進委員会(507)	△幼稚園担当指導主事連絡協議会
25	土	○就学相談委員会	△都市指導主事会（日野）
26	日		
27	月	○中・生活指導主任会	
28	火	□A訪問（五小） ○教育課題研修会	
29	水	□B訪問（四小・六幼）	□都一般訪問（B）
30	木	○学校保健研修会	
10.17		中・新学習指導要領説明会	

(24日)

12月

日	曜	市	都
1	金	□A訪問(東光寺小) 教育相談研修会 ○中堅・6年次研修会(505)	
2	土	○就学相談委員会	△都市指導主事会
3	㊥		
4	月	○生活指導主任会(505) △園長会	
5	火	△校長会(505) ○教育課題研修会	
6	水	(小教研)	
7	木	○教務主任会(505) ○幼児教育研修会 ○情報教育推委員会(507)	
8	金	○保健主任会(505) ○進路指導主任会(507)	
9	土		
10	㊥		
11	月		△都市指導主事会・二地区会(日野)
12	火	○体育主任会(505) ○講演会	
13	水	(中教研)	
14	木	△教頭会(505) ○心障協 ○教育課程委員会(507)	
15	金	○初任者・新採研(502) ○授業改善委員会(505)	
16	土		
17	㊥		
18	月	○中・生活指導主任会	△指導主事連絡協議会
19	火	○教育相談ケース会議	
20	水		
21	木		○都市指導主事会
22	金		
23	⊕	(天皇誕生日)	
24	㊥		
25	月	△第二学期終業式	
26	火	冬季休業日始 △継続相談打合わせ	
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	㊥		

(20日)

1月

日 曜	市	都
1 月	(元 旦)	
2 火		
3 水		
4 木		
5 金		
6 土		
7 日	冬季休業日終	
8 月	△第三学期始業式	○都市指導主事会・二地区（多摩）
9 火	△校長会(505) ○生活指導主任会(505)	
10 水	△園長会	△幼・小・中教育課程届説明会
11 木	○心障協	
12 金	○保健主任会(101) ○進路指導主任会(507)	△消費者教育推進委員会
13 土		△都市指導主事会
14 日		
15 月	(成人の日)	
16 火	○体育主任会(101) ○学校保健研修会	四 中 移
17 水	(小教研)	
18 木	○教務主任会(101) ○教育課程委員会(507)	
19 金	△教頭会(505) ○授業改善委員会(505) ○初任者・新採研(507) ○教育課題研修会	書 初 展
20 土		
21 日		
22 月	□A訪問（三沢中） ○教育課程研修会	
23 火	○外国人助手連絡会(507) ○中堅・6年次研修会	△多摩地区指導主事連絡協議会
24 水	□B訪問（滝合小）	□都一般訪問（B）
25 木	○情報教育推進(507) ○教育課題研修会 ○製本研修会	△都市指導主事会
26 金	□ 初任者・新採宿泊研修会	△同和教育指導推進委員会
27 土	”	
28 日		
29 月	○中・生活指導主任会 ○国際理解教育推進委員会(507)	
30 火	□A訪問（七小）	△心障担当指導主事連絡協議会
31 水	□B訪問（南平小）	□都一般訪問（B）

(20日)

2月

日	曜	市	都
1	木	(市教研・体育大会)	△都市指導主事会
2	金	○保健主任会(101) ○進路指導主任会(507)	○男女平等教育推進委員会
3	土		△都市指導主事会・二地区会(稲城)
4	日		
5	月	○生活指導主任会(101) △園長会 ○学校図書館連協議会	
6	火	△校長会 ○心障協 ○教育課題研修会	△社・保・給担当指導主事連絡協議会
7	水	□B訪問 □小学校教頭会一日研修会	
8	木	○情報教育推委(203) ○教育課程委員会(507)	△国際理解教育推進委員会
9	金	□A訪問(旭が丘小)	
10	土		
11	日	(建国記念日)	
12	月	休日	
13	火	○体育主任会(101)	○生活指導担当指導主事連絡協議会
14	水	(小・中市教研発表会) △人権尊重教育推進委員会(507)	
15	木	○教務主任会 <教育課程届説明会>	
16	金	△教頭会 ○授業改善委員会(101) ○初任者・新採研(203)	
17	土		
18	日		
19	月	□A訪問 ○中堅・6年次研修会	七 生 中 移
20	火	○心障合同学習発表会	
21	水		△学校訪問協議会
22	木	○国際理解教育推進委員会(203)	△都市指導主事会
23	金		
24	土		
25	日		
26	月	○中・生活指導主任会 ○教育相談ケース会議	
27	火	○心障研究発表会	
28	水		
7 婦人部教研集会			

(23日)

3月

日	曜	市	都
1	木	情報教育推委員会(507)	△同和教育指導推委員会
2	金	○保健主任会(504) ○進路指導主任会(507)	△都市指導主事会
3	土		
4	日		
5	月	○生活指導主任会(504) △園長会	
6	火	△校長会	
7	水	(小・中市教研)	△都市指導主事会・二地区会(八王子)
8	木		
9	金	○授業改善委員会(504)	△指導主事連絡協議会
10	土		
11	日		
12	月	○中学校生活指導主任会(505)	
13	火	○体育主任会(504)	
14	水	△人権尊重教育推進委員会(503)	
15	木	○心障協	△都市指導主事会
16	金	△教頭会(505) ○初任者・新採研修会	
17	土	△幼・修了式	
18	日		
19	月		
20	火	△中・卒業式	
21	水	(春分の日)	
22	木		
23	金	△小・修了式	
24	土	△小・卒業式 △中・修了式	
25	日		
26	月	春季休業日始	
27	火	△継続相談打合わせ	
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
			(20日) 計243日

日野市教育相談室

設置の趣旨

日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずる。
また、学校の行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

- 一般教育相談

幼児・児童・生徒の学習、性格、行動、性癖、進路適性等についての相談に応じ、治療や助言・援助を行う。

- 心身障害教育相談

心身に障害をもつ幼児・児童・生徒についての相談に応じ、障害の種類や程度及び発達の状況の把握に努め、一人一人の能力を十分に伸長させるために就学相談及び教育措置に関する相談を行う。

- 学校教育相談

幼児・児童・生徒の問題行動、非行等についての相談に応じ保護者、学校、関係者機関と協力し、指導、助言・援助を行う。

- 電話相談

電話による相談に応じ、指導、助言、援助を行う。

構成

相談室長 榎本和男（日野市教育委員会指導室長）

非常勤教育相談員

兼任教育相談員

河井英子（教育委員会）

佐藤ヒサ子（日野一小）

東昌久（三沢台小）

石黒優子（教育委員会）

井尻武子（日野一小）

宮尾文子（日野一中）

御子柴万里子（教育委員会）

川原田和子（日野七小）

平向邦江（七幼稚園長）

渡辺満子（教育委員会）

西村正裕（日野八小）

大島昭子（教育委員会）

吉沢佐久子（南平小）

担当指導主事 奈尾力 宮川保之

担当課長補佐 青山武

教育相談事務担当 大日向均

顧問 石島徳太郎（精神医）

福島脩美（東京学芸大学教授）

石川尚子（日本女子体育大学教授）

運 営

保護者、又は幼稚園・小中学校を通じての申込により、下記の日時に無料で相談に応じる。

- 場 所 日野市高幡402
- 申 込 み 先 日野市教育相談室
(TEL 0425-92-0505)
- 一般教育相談主任 河井英子 (月・火・木 10:00～16:00)
担当 石黒優子 (火・木 10:00～16:00)
- 心身障害教育相談主任 御子柴万里子 (月・金 10:00～16:00)
担当 渡辺満子 (月・水 10:00～16:00)
- 学校教育相談担当 大島昭子 (月・水 10:00～16:00)
- 電話相談 各相談員 (月～金 10:00～16:00)

教育相談概要

主訴別件数（昭和63年度）

種 別	対 象 分 類	幼 児	小 学 生		中 学 校	高 校 生	そ の 他	計
			1～3	4～6				
性 格 ・ 行 動 に 関 す る も の	登校拒否		4	5	9	7		25
	集団不適応A（内気いじめ）			2				2
	集団不適応B（授業態度悪 友人関係悪）				1			1
	落ち着きなし							
	反抗的		1			1		2
	無気力				1			1
	非行及び同傾向				2			2
精 神 ・ 身 体	ことば（吃音）							
	緘黙		1					1
	脳器質障害				1			1
知 能 ・ 学 業	精神発達遅滞		4	1				5
	学業不振		2	2				4
進 路 ・ 適 性	転校				1			1
	進路・進学				1			1
そ の 他	しつけ方							
	その他						1	1
計		0	12	10	16	8	1	47

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

この協議会は、日野市から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図るために、心身に障害のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容・方法の改善に関する研究及び、一般職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等の諸事業を企画し実践することを目的とする。

事業の内容

この目的を達成するため、協議会会長校に事務局を置き協議会の運営にあたる。主な事業として、次のことを行う。

- (1) 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討
- (2) 心身障害児童及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成
- (3) 就学相談の充実と相談活動への協力と奨励
- (4) 教育措置者の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査
- (5) 学校における相談組織と機能の充実

組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、指導室長、指導主事、課長補佐、日野市立心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、幼・小・中学校（園）の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- | | | |
|---|-----|---|
| ア | 研究部 | 教育措置者の学校への適応状況と発達状況の追跡調査
学校における相談組織と機能の充実を図る研究 |
| イ | 研修部 | 心身障害児及び心身障害教育の正しい理解に関する資料の作成に関する研究 |
| ウ | 相談部 | 就学相談の充実と相談活動への協力と援助 |

研究委託

今年度は、日野市教育委員会から別紙の内容についての研究を委託されている。

日野市中心身障害教育推進協議会会長

内 藤 康 様

日野市教育委員会教育長

長 沢 三 郎
(公印省略)

平成元年度日野市中心身障害教育推進協議会への事業委託について

日野市教育委員会は、心身障害教育の充実を期すために、心身障害教育に関する教育条件の整備、指導内容・方法の検討、教育措置のありかた等の調査研究および実践活動の諸事業を日野市中心身障害教育推進協議会へ委託する。

記

1. 心身障害学級の適正配置に関する将来的構想の検討

日野市には、精神薄弱学級（小・中） 情緒障害学級（小） 病弱学級（小） 訪問学級（中）が設置されている。

各学校は、学校間及び都立養護学校と緊密に連携を保ちながら心身障害児の教育措置を行っている。現状をふまえ心身障害教育における課題や改善の方策を検討し、日野市としての心身障害教育をどのようにしていくことが望ましいか、難聴言語障害学級等の設置についての基本構想について調査研究を願いたい。

2. 心身障害教育の理解に関する啓蒙資料の作成及び交流教育の推進

日野市では、国際障害者年の行事計画として、昭和57年2月「日野市の心身障害教育」を作成し、心身障害教育の啓蒙に努めてきた。

心身障害児の教育には、障害の状況を医学及び教育の分野から詳細に把握し障害をのり越えていく手だてをきめ細かく講ずることが大切である。心身障害教育を推進していくための具体的な活動を研究するとともに、障害の有無を超えてともに生き、社会参加のできる地域づくりをすすめることがたいせつである。

そのためには、全ての児童・生徒及び保護者に対して、心身障害児及び心身障害教育に対する理解を深めていくことである。そこで、啓蒙資料を人権尊重の視点に立って作成すること及び特殊学級併

設校以外との交流教育の推進についてご検討願いたい。

3. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

就学相談委員会の組織は、医師、心理学者、心身障害教育関係者、心身障害学級設置校校長及び教諭、教育相談員等の委員により組織されている。

そこで、就学相談活動の望ましい方法及び相談者の専門的力を高めるための研修を推進するとともに、きめ細かな相談活動が継続的に行われるように相談活動への協力と援助を願いたい。

4. 教育措置等の学校への適応状況及び発達状況の追跡調査

就学相談の結果に基づいて教育措置を決定した後、その児童・生徒が学校や学級にどのように適応しているか。また、期待する教育効果が得られているか、学校及び学級担任に悩みや問題がないか等、継続的に追跡調査することが大切である。

そこで、日野市公立学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身障害児の適応状況や発達状況を追跡調査し、その実態を十分捉えたうえで、今後の教育問題に関する相談の充実に資する資料を作成願いたい。

5. 学校における相談組織と機能の充実

各学校では、心身障害児への相談や心身障害児を担当している教師への援助や協力の体制を整えておくことが大切である。

そこで、各学校における心身障害児の教育相談のありかた、担任教師への協力のありかた等について調査・研究するとともに、校内での教育相談充実のための資料の作成をすることや、教職員の研修のありかた等の研究について協力を願いたい。

日野市立小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市立小学校科学教育センターと称し、平成元年度は、北部センターは日野市立仲田小学校に、南部センターは日野市立平山小学校に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市立小学校における科学教育の振興を図るとともに、教員の理科指導の充実向上のための研修と児童の科学的態度、能力、技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

南部センター		学校名	電 話	北部センター		学校名	電 話
センター長	蓮池 守一	平 山 小	91-4123	センター長	岩下 和夫	仲 田 小	81-8511
次 長	土方 邦男	〃	〃	次 長	増賀 従男	〃	〃
主 任	澁谷 義一	〃	〃	主 任	松日楽敬治	〃	〃
指 導 員	中村 大	潤 徳 小	91-0409	指 導 員	寺本 喜和	一 小	81-0073
〃	山口 恵久	〃	〃	〃	澁谷 一彦	二 小	81-0076
〃	平良 格	平 山 小	91-4123	〃	高藤 静江	〃	〃
〃	加藤 和俊	〃	〃	〃	矢野百合子	三 小	81-0101
〃	長沼 正幸	八 小	91-2411	〃	豊田 光	四 小	81-0038
〃	樋口江以子	〃	〃	〃	御木 茂	五 小	81-0407
〃	佐藤 明美	百草台小	91-0997	〃	宗近 考子	六 小	81-0366
〃	石川 成子	滝 合 小	83-5172	〃	丸茂 洋子	〃	〃
〃	塚本 純子	高幡台小	91-7011	〃	居城 文雄	七 小	83-3907
〃	吉川 郁子	南 平 小	92-2021	〃	上条 茂	旭が丘小	83-3733
〃	太田由紀夫	〃	〃	〃	小林むつみ	東光寺小	84-6200
〃	近藤 裕治	程久保小	92-5014	〃	雨宮 充	仲 田 小	81-8511
〃	加藤 タイ	平山台小	92-6381	〃	小俣三佳子	〃	〃
〃	森田 弘文	〃	〃	〃	土方 久枝	〃	〃
〃	鶴間 純子	三沢台小	93-2351	〃	小山しおり	〃	〃

4. センター員

校名	南部センター										北部センター										合計		
	潤徳小	平山小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	程久保小	平山台小	三沢台小	小計	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	旭が丘小	東光寺小		仲田小	小計
男	1	3	2	0	3	1	3	4	4	4	25	3	3	3	3	3	4	3	2	1	2	27	52
女	3	3	6	2	2	6	2	0	0	0	24	0	0	0	1	1	0	2	0	3	6	13	37
計	4	6	8	2	5	7	5	4	4	4	49	3	3	3	4	4	4	5	2	4	8	40	89

5. 年間指導計画

南部科学センター

回数	月日(曜)時	研究内容		指導員
	5.13(土) 14:00	開講式	活動内容を理解し、研究への意欲を高める。 新しい友だちと仲良くなる。	全員
2	5.20(土) 14:00	第1単元 日野の自然を調べる	平山城址公園付近の植物のようすを調べ、自然への関心を高める。	☆森田(平山台) 藤間(平山台) 鶴谷(三沢台) 澁谷(平山小)
3	5.27(土) 14:00			
4	6.3(土) 14:00			
5	6.17(土) 14:00	第2単元 土を調べる	赤土、黒土、砂などを調べ、鉱物を知る。 南平付近の地層を調べる。	☆吉川(南平小) 太田(南平小) 塚本(高幡台) 澁谷(平山小)
6	6.24(土) 14:00			
7	7.1(土) 14:00			
8	7.27(木) 9:00 13:00	八王子市こども科学館見学 ・プラネタリウム ・各種実験 操作		森田(平山台) 吉川(南平小) 澁谷(平山小)
9	9.2(土) 14:00	第3単元 水溶液の性質	砂糖水、塩水、アルコールなど透明な液体の見分け方を知る。	☆加藤(平山小) 近藤(程久保) 佐藤(百草台) 澁谷(平山小)
10	9.9(土) 14:00			
11	9.16(土) 14:00			
12	10.14(土) 14:00	第4単元 電流と発熱	電気の利用法を知る。 スチロールカッターを作る。	☆長沼(八小) 樋口(八小) 平良(平山小) 澁谷(平山小)
13	10.21(土) 14:00			
14	10.28(土) 14:00			
15	11.25(土) 14:00	第5単元 モーター作り	モーターを作り、回るしくみを考える。 製作する喜びを知る。	☆山口(潤徳小) 中村(潤徳小) 石川(滝合小) 澁谷(平山小)
16	12.2(土) 14:00			
17	12.9(土) 14:00			
18	12.16(土) 14:00	閉講式	・修了証をもらう ・ひとつのことをやり遂げた成就感を味わい、更に自信と意欲を高める。 ・感想を発表する。	全員

☆印は、指導責任者

北 部 科 学 セ ン タ ー

回数	月日(曜)時	研 究 内 容		指 導 員
1	5.13(土)14:00	開 講 式	活動内容を理解し研究への意欲を高める。 新しい友だちと仲良くなる。	全 員
2	5.20(土)14:00	第1単元	美しい花の中にある生命のすばらしいしくみを自分の眼でたしかめてみる。	☆澁 谷 (二 小) 高 藤 (二 小) 雨 宮 (仲田小) 松日楽 (仲 田)
3	5.27(土)14:00	植物観察 と花粉し らべ		
4	6. 3(土)14:00			
5	6.17(土)14:00	第2単元	一滴の水を宇宙としている微生物の世界をのぞいてみる。	☆松日楽 (仲 田) 丸 茂 (六 小) 御 木 (五 小) 小 山 (仲田小)
6	6.24(土)14:00	水中の		
7	7. 1(土)14:00	微生物		
8	7.27(木) 9:00 13:00	八王子市こども科学館見学 ・プラネタリウム ・各種実験機操作		☆松日楽 高藤 澁谷 居城 丸茂
9	9. 2(土)14:00	第3単元	酸、アルカリなどの水溶液の性質を調べる。リトマス紙を自分で作る。	☆豊 田 (四 小) 小 林 (東光寺) 中 込 (六 小) 松日楽 (仲 田)
10	9. 9(土)14:00	水溶液の		
11	9.16(土)14:00	性質		
12	10.14(土)14:00	第4単元	明かりのつき方のちがいがら箱の中中の配線を当てたり、自分でその箱(ブラックボックス)を作ったりする。	☆矢 野 (三 小) 小 俣 (仲田小) 市 川 (六 小) 松日楽 (仲 田)
13	10.21(土)14:00	ブラック		
14	10.28(土)14:00	ボックス		
15	11.25(土)14:00	第5単元	世界で一番簡単なモーターを作る	☆上 条 (旭が丘) 居 城 (七 小) 寺 本 (一 小) 土 方 (仲田小) 松日楽 (仲 田)
16	12. 2(土)14:00	電気の工 作(モー ター作り)		
17	12. 9(土)14:00			
18	12.16(土)14:00	閉 講 式	修了証をもらう。 ひとつのことをやり遂げた成就感を味わい、自身と意欲を高める。	全 員

☆印は、指導責任者

6. 連絡協議会

委 員 長	長 澤 三 郎	日野市教育委員会教育長	TEL 85-1111
南部センター長	蓮 池 守 一	日野市立平山小学校長	TEL 91-4123
次長	土 方 邦 男	” 教頭	” ”
主任	澁 谷 義 一	” 嘱託員	” ”
北部センター長	岩 下 和 夫	日野市立仲田小学校長	TEL 81-8511
次長	増 賀 従 男	” 教頭	” ”
主任	松日楽 敬 治	” 嘱託員	” ”
顧 問	榎 本 和 男	日野市教育委員会指導室長	TEL 85-1111
	奈 尾 力	” 指導主事	” ”
	宮 川 保 之	” 指導主事	” ”

平成元年度

指導主事事務分担

日野市教育委員会

指導主事 奈尾 力

〃 宮川 保之

1. 校種別分担

- 幼稚園教育－奈尾
- 小学校教育－奈尾
- 中学校教育－宮川

2. 教科・領域別分担

- 国語(書写)－奈尾
- 社会－宮川
- 算数・数学－宮川
- 理科－宮川
- 音楽－奈尾
- 図工・美術－宮川
- 体育・保健体育－奈尾
- 家庭・技術家庭－宮川
- 外国語－宮川
- 道徳－宮川
- 生活指導－宮川
- 特別活動－宮川
- 学校行事等－宮川
- 学校経営－奈尾
- 教育相談－奈尾
- 心障教育－奈尾
- 視聴覚教育－宮川
- 図書館教育－宮川
- 学校給食－宮川
- 保健教育－奈尾
- 安全教育－宮川
- 同和教育－奈尾
- 公害教育－宮川
- 進路指導－宮川
- 幼児教育－奈尾
- 学校事務－宮川
- 心障相談－奈尾
- 婦国子女教育－宮川
- 男女平等教育－宮川
- 消費者教育－奈尾

3. 施設・行事等分担

- 教育相談室－奈尾
- 心障学級－奈尾
- 科学センター－宮川
- 教科書センター－宮川
- 文化行事－宮川
- 体育行事－奈尾
- 修学旅行－宮川
- 移動教室－宮川
- 日野市めぐり－奈尾

4. 指導事務分担

- 指導部・都研 — 奈尾
- 研究集録 — 宮川
- 遠足・修学旅行届出 — 宮川
- まどへ編集発行 — 宮川
- 授業研究 — 奈尾
- 教育課程年間指導計画 — 宮川
- 文部省中央研修 — 奈尾
- 研究員教育開発委 — 奈尾
- 学校訪問 — 奈尾
- 調査資料集収 — 宮川
- 月行事予定 — 宮川
- 都・研究奨励 — 奈尾
- 就学・措置替指 — 奈尾
- 教育課程届出 — 宮川
- 教材届出承認 — 宮川
- 指導要領 — 宮川
- 教育実習 — 奈尾
- 社会科副読本 — 宮川
- 教科書採択 — 奈尾
- 教育課程編集資料作成 — 奈尾

5. 涉外分担

- 校長会 — 奈尾
- 生活指導主任会 — 宮川
- 都市指導主任会 — 奈尾
- 心身障害教育推進協議会 — 奈尾
- 国際理解教育推進 — 宮川
- 教頭会 — 宮川
- 保健主任会 — 奈尾
- 日野市教研 — 宮川
- 体育委員会 — 奈尾
- 教育研究資料室 — 宮川
- 教務主任会 — 奈尾
- 進路指導主任会 — 宮川
- 第2地区指導主事会 — 奈尾
- 人権尊重教育推進委員会 — 奈尾

6. 研修等分担

- 学校経営研修会 — 奈尾
- 中堅教諭研修会六年次 — 宮川
- 幼児教育研修会 — 奈尾
- 事務職員研修会 — 宮川
- 初任者新規採用教員研修会 — 宮川
- 実技研修会 — 宮川
- 教育課程研修会 — 宮川
- 教育課題研修会 — 宮川
- 教育相談研修会 — 奈尾
- 学校保健研修会 — 奈尾

平成元年度 日野市教育委員会委嘱事業等担当校長・教頭

(会(副)長、部長等) ◎…長 ○…副

No.	名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
1	授業研究連絡協議会	小泉 宣夫 有泉 徹郎	○村田 志信	渡辺 健一	中根 勉
2	教務主任会	馬淵 金男	○清水 春海	富田 洋子	山崎 妙子
3	生活指導主任	石黒 健	◎宮本 裕子	酒井 義明	會田 武夫
4	進路指導主任会		◎綿引 正己		佐藤 英洋
5	保健主任会	有泉 徹郎 石黒 健	○大野 隆久	石川 耀子	會田 武夫
6	学校保健会	有泉 徹郎 石黒 健	○大野 隆久	石川 耀子	伴野 博夫
7	心身障害教育推進協議会	◎内藤 康 上山洋一郎 馬淵 金男	○名塚 三雄 村田 志信	土方 邦男 江口 耕一 鈴木利恵子	伴野 博夫
8	就学指導委員会	◎馬淵 金男 内藤 康 上山洋一郎	○名塚 三雄 村田 志信	土方 邦男 江口 耕一 鈴木利恵子	伴野 博夫
9	まどへ編集委員	飯沼 宏		山下 法昭	山崎 妙子
10	日光移動教室	◎波多野 坦 岩下 和夫 石黒 健武 馬場 武		片岡千寿子 小笠原久雄 信夫 清彦 山下 法昭	
11	中学校修学旅行		高木 宏文		
12	小学校体育委員会	◎内藤 康 小幡 建		信夫 清彦 渡辺 健一	
13	小・中水泳記録会	内藤 康 小幡 建	綿引 正己	上田 憲二 秋山 憲一	塙 健郎
14	科学教育センター	(南)蓮池 守一 (北)岩下 和夫		(南)土方 邦男 (北)増賀 従男	
15	幼児教育センター運営審議会委員	蓮池 守一			
16	教育課程資料作成委員(道徳)	波多野 坦		酒井 義明 小原 良雄	塙 健郎
17	教育課程研究委員会(生活科・道徳)	蓮池 守一 草刈 和志	清水 春海 ○桑原 和正	西田 敦子 江口 耕一	中根 勉
18	情報公開対策委員	蓮池 守一	桑原 和正	藤田 孝彦	山崎 妙子
19	給食主任会	岩下 和夫 小幡 建	○大野 隆久	西田 敦子	
20	学校給食会	岩下 和夫 小幡 建	大野 隆久	西田 敦子	
21	日野教育研究会	◎福地 保 志村 桂次	宮本 裕子	増賀 従男 小原 良雄	
22	小学校社会科副読本改訂委員会	◎山口 武彦 ○小泉 宣夫		香川 善平	

No	名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
23	中学校社会科副読本改訂委員会		桑原 和正		
24	青少年健全育成(都校長会)	石黒 健	宮本 裕子		
25	音楽鑑賞教室運営委員会	馬場 武	村田 志信	飯田 国代	佐藤 英洋
26	日野市環境緑化委員	草刈 喜一			
27	公民館運営審議委員	清水 七郎			
28	図書館運営審議委員	志村 桂次			
29	社会教育委員	石井 三士	宮本 裕子		
30	青少年協議会委員(市委嘱)	三浦 勝也	高木 宏文		
31	市 P 協	山口 武彦 清水 七郎 波多野 坦	宮本 裕子 村田 志信		
32	環境週間行事運営委員(都教委嘱)	草刈 喜一	名塚 三雄		
33	小 体 連	内藤 康			
34	中 体 連		大野 隆久		
35	市教職員互助会副理事長 (小中学校長会長)	三浦 勝也			
36	人権尊重教育推進委員会	◎草刈 喜一 馬場 武	名塚 三雄	末次 久利	北原 景昭
37	国際理解教育推進委員会	◎福地 保	綿引 正己	小笠原久雄 飯田 国代	野澤 昭兆
38	授業改善委員会	○石井 三士 飯沼 宏		片岡千寿子 香川 善平	北原 景昭
39	教職員研究資料室運営委員	◎山口 武彦 清水 七郎	名塚 三雄	富田 洋子	塙 健郎
40	乗鞍高原林間施設検討委員会	石井 三士 上山洋一郎	高木 宏文		北原 景昭
41	書 初 展	◎草苅 和志	清水 春海		
42	学校体育施設開放運営協議会	◎内藤 康	大野 隆久	秋山 憲一 信夫 清彦	會田 武夫
43	学区域検討委員会	◎有泉 徹郎	清水 春海		北原 景昭
44	ふるさと博物館運営委員	小泉 宣夫	桑原 和正		中根 勉
45	情報教育推進委員会		桑原 和正		佐藤 英洋
46	外国語教育推進委員会		綿引 正己		

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会

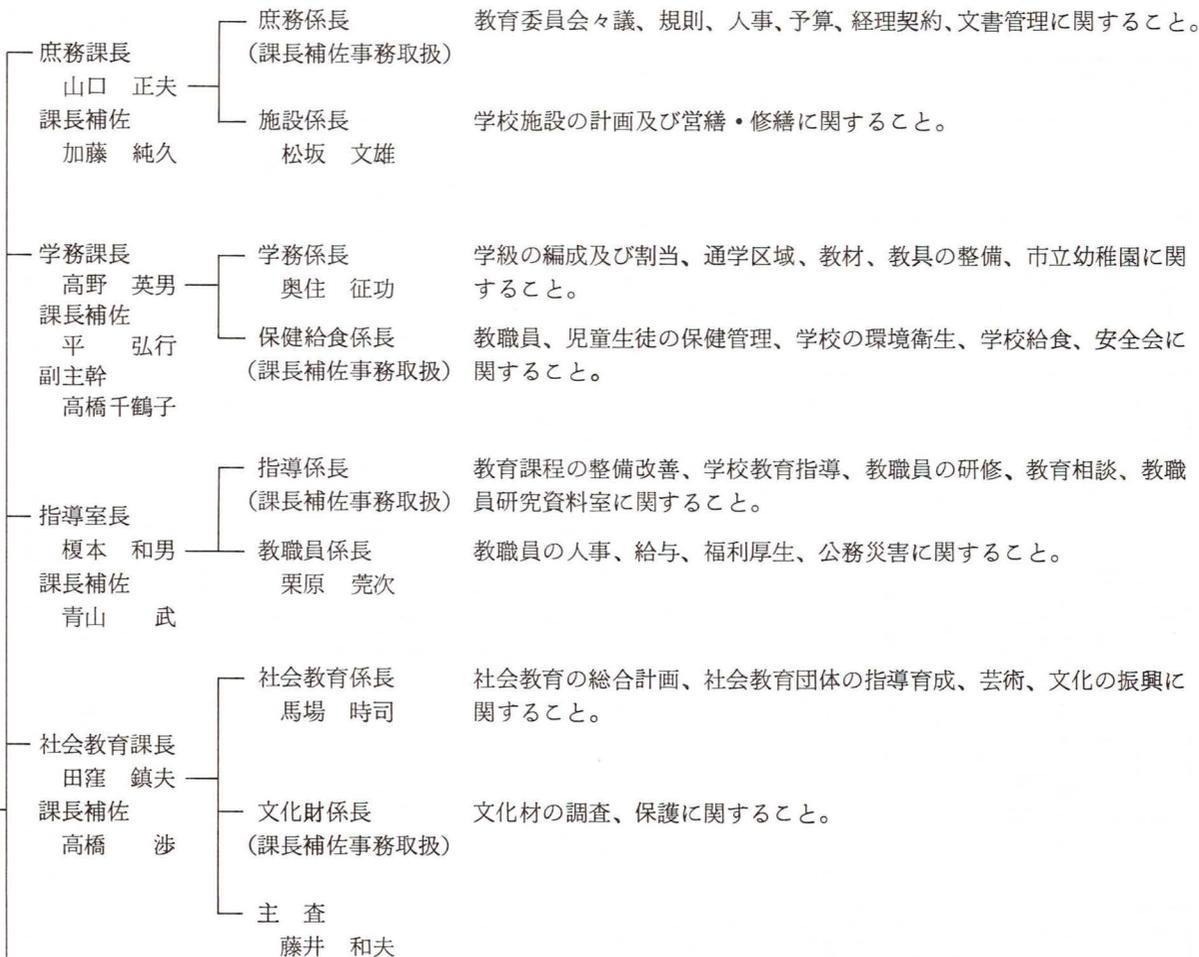
委員長
村田 安正

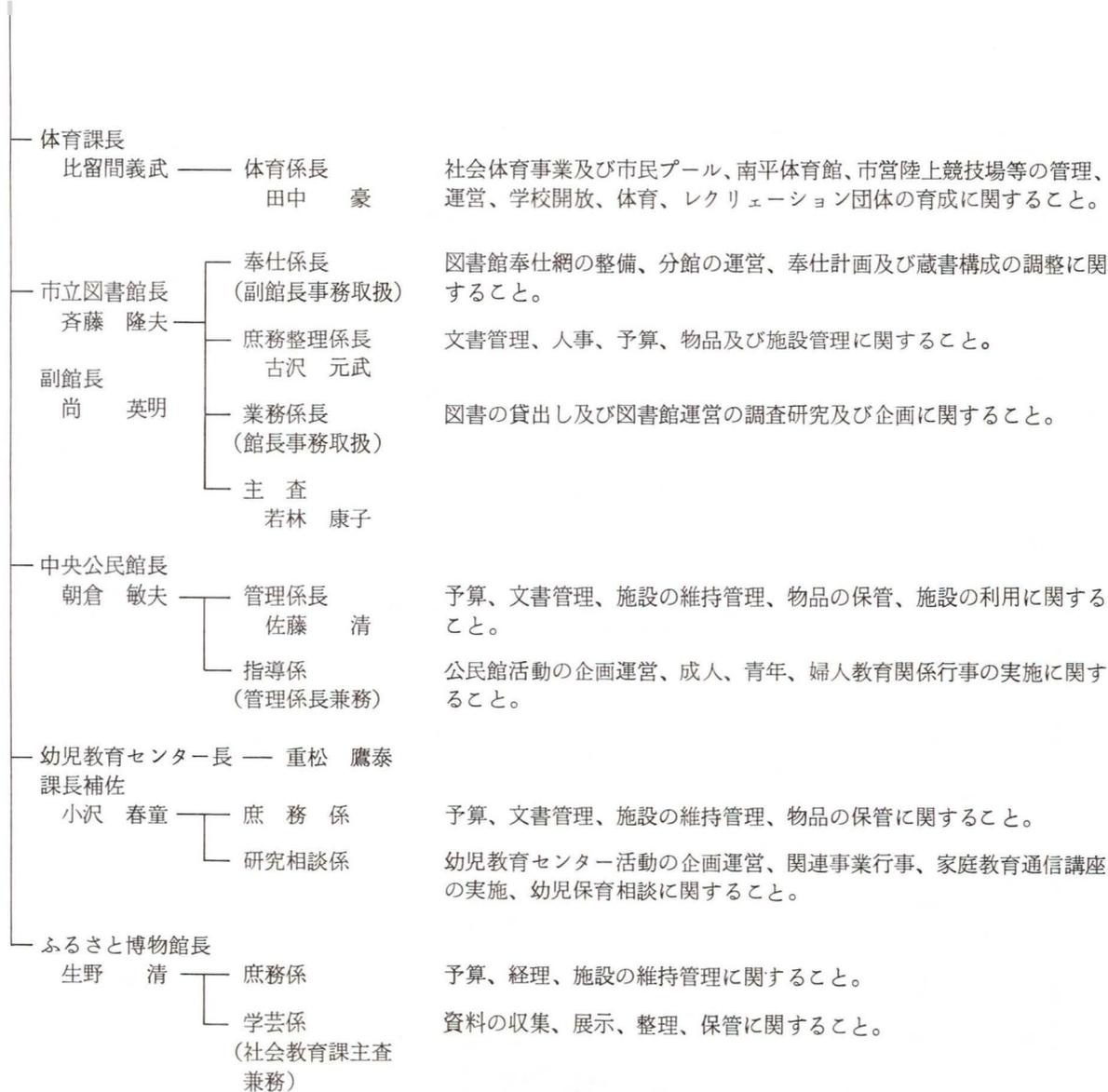
職務代理
小松 恒夫

委員
長澤 三郎
岸 俊彦
田中キミ子

教育長
長澤 三郎

教育次長
砂川 雄一





日野市公立学校

学校名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第七幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校	第七小学校	第八小学校
校(園)長名	高橋千鶴子	横島静子	冲山英代	上野美津枝	桜田鈴子	坂口嘉津子	平向邦江	山口武彦	馬場武	内藤康	波多野坦	上山洋一郎	清水七郎	石黒健	蓮池守一	小幡建	草苺和志
学級数	四	三	三	二	二	二	四	一八	二一	一七	一七	二〇	一八	二二	一六	一八	一八
児童数	一二九	六七	六六	六一	六四	六一	一一九	五四六	七八八	五五九	五三四	七〇六	六一七	三九八	五四七	六八〇	五八八
教員数	五	四	四	三	三	三	五	二七	二八	三〇	二五	三〇	二六	一九	二五	二五	二六
電話	81 4124	91 4125	81 7127	83 3903	92 0432	92 6330	86 3770	81 0073 0061	81 0070 0851	81 0101 0850	81 0038 3076	81 0407 0445	81 0366 4686	91 0409 0410	91 4123 0512	83 3907 3908	91 2411 2412
所在地	多摩平四一三	平山四一五―四	日野本町二一―四―一	石田四三一―六	三沢一七五	程久保八七六―二	旭が丘二―四―二	日野本町二―四―一	東豊田二―一―四―一	日野台二―一―一	石田四三〇	多摩平六一―二―一	多摩平三一―二	高幡四〇二	平山四一八―一六	神明三一―二	三沢二〇〇
交通機関	中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王線平山城址公園下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分	徒歩五分 高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩六分	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十五分	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車、二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分	中央線日野駅下車バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分	京王線高幡不動駅下車、徒歩八分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分

幼稚園一覽(訂正版)

()は心障学級

平成元年5月1日現在

百草台小学校	滝合小学校	高幡台小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
草刈喜一	有泉徹郎	小泉宣夫	石井三士	三浦勝也	飯沼宏	馬淵金男	志村桂次	福地保	岩下和夫	宮本裕子	大野隆久	村田志信	清水春海	桑原和正	綿引正己	名塚三雄	高木宏文
一八	二二	一五	一七	一四	二二	二二	二二	二二	二二	一九	一八	一七	二二	二二	二二	二二	一七
五七九	七五〇	五一〇	五八七	四二〇	七七五	三三二	三九二	四二二	三四〇	七五五	七五六	六五一	八五六	八三四	八一五	八一八	七〇一
二五	二八	二三	二五	二二	二九	二二	一八	一九	一九	三八	三三	三三	三九	三八	三九	四一	三〇
9109970998	8351725173	9170117012	9220212022	9250145015	8337333748	9263816382	9462006201	9323512352	8185118512	8100090261	8100560262	9101740175	9122282229	8339053906	9250175018	8397559756	9330153016
百草九九九	西平山二一三一	程久保五五〇	南平四一八一	程久保一五〇四一一	旭が丘五二二一一	平山二一一一一	新町三二四一一	百草八九六一	日野本町六一七四	日野本町七十七七	多摩平四一五一一	南平六一七一	程久保六五〇	旭が丘二一四二	三沢二五	大坂上四一七一一	平山四二一一三
高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車 徒歩五分	京王線平山城址公園・長沼駅下車 徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス 徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車 徒歩二分	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車立川方面、徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

平成元年 管理運営規則第八条に基づく主任一覧

	学校名	学校名	教務主任	生活指導主任	保健主任	進路指導主任
1	日野一小	山口 武彦	畑野 元一	長沢佳都子	中村 麗子	
2	日野二小	馬場 武	宮川征三郎	斉藤八重子	綾部 耕基	
3	日野三小	内藤 康	八木 文夫	原 俊行	馬場 延子	
4	日野四小	波多野 坦	藤岡 和子	小柳利栄子	神田久仁子	
5	日野五小	上山洋一郎	茅野とめ子	馬場 富男	常盤 町子	
6	日野六小	清水 七郎	依田 逸夫	式守 保幸	金野 峰子	
7	潤 徳 小	石黒 健	中村 大	間島 春美	反町麻佐子	
8	平 山 小	蓮池 守一	若松富紀子	加藤 和俊	松尾けさ美	
9	日野七小	小幡 健	小杉 博司	楨 圭子	高橋 智子	
10	日野八小	草苺 和志	小島 義範	樋口江以子	石塚 晶子	
11	百草台小	草刈 喜一	高橋 茂子	定森 正治	井戸川喜代	
12	滝 合 小	有泉 徹郎	大上 琢磨	石割やす子	逸見 黎子	
13	高幡台小	小泉 宣夫	福田 信子	国領美那子	秋田 和代	
14	南 平 小	石井 三士	太田由紀夫	秋葉 榮一	井上久美子	
15	程久保小	三浦 勝也	河野 千秋	近藤 裕治	吉野美智子	
16	旭が丘小	飯沼 宏	野村 治子	西田 陽	奈良 悦子	
17	平山台小	馬淵 金男	古山 郁夫	菊池 彰	岡部 哲子	
18	東光寺小	志村 桂次	笠井 祐子	會田 尚子	小林むつみ	
19	三沢台小	福地 保	斉藤 正子	川田 浩子	西村 美子	
20	仲 田 小	岩下 和夫	雨宮 充	土方 久枝	清水 妙子	
1	一 中	宮本 裕子	相原 茂生	浅野 和也	堀江 朋子	佐藤 至正
2	二 中	大野 隆久	富士 堯	浜本 敏朗	中山ひとみ	中里 久子
3	七 生 中	村田 志信	管野 剛	大谷 良光	大野 滯子	松尾 晴至
4	三 中	清水 春海	新井 教旦	松沢 茂久	今城 理恵	辻野 良子
5	四 中	桑原 和正	杉村 智秋	鈴木 清司	瀬尾真理子	井田 武
6	三 沢 中	綿引 正己	広瀬 昭	須貝 光一	高津度泰子	丸山 文子
7	大坂上中	名塚 三雄	星野 晴一	今井 正喜	樋口由紀子	大山 正昭
8	平 山 中	高木 宏文	三浦 義次	福地 和子	阿部貴美子	上原 純子

学 年 主 任

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
井尻 武子	風間 敏子	三浦理恵子	花田 僚子	長門 彰	足立 博志
高木 映子	斉藤八重子	小笠原本江	比嘉 道子	田中 和子	長浜 和子
斉藤 勝子	森田 隆子	塚原美智子	井上 文子	諏訪 英樹	秋山 照子
岡田 充生	安達 美武	滝島 欣子	鉄炮塚克子	逸見 明男	高田 光夫
後藤 絢子	赤井 光子	川上さち子	本多 和美	斉藤 弥生	御木 茂
岩崎眞知子	小松美代子	西川 朝子	丸茂 洋子	上條かなゑ	宗近 孝子
西山 正文	宇田川清和	秋葉 秀茂	志賀千恵子	山口 恵久	小林 浜子
松井 清美	平島 陽子	田中 延子	有田久美子	港 澄江	渡辺 学
渡辺 悦子	榊原 一男	居城 文雄	関根 敦子	井浦 弘	落合 幸子
石岡 房子	安西 利江	赤松 紀子	栗原 典子	上野 森良	宇野有斐子
山内 好子	志茂 和枝	大島真理子	村松 幹雄	玉置 順子	大島ルミ子
遠田 弘	今野すみ子	井浦 慶子	野口すみ子	小林 和子	増田 潔
前田美佐江	野口真佐子	国領美那子	銭廣 芳子	三浦 仁	坂井ミチ子
石川 稲子	吉澤佐久子	宮澤 醇子	泉 芳夫	山田 栄子	武内 忠雄
鷹尾富貴江	遠藤 路子	吉野美智子	尾上 章子	大成 鐸夫	西森 恵子
佐藤 智子	入田 純子	窪田 彌生	志村 道子	赤松 昭子	吉川 都子
高濱 嘗子	渡部 キヨ	加藤 タイ	村松 晴義	青木 利夫	菊池 彰
三枝 光子	富澤 和子	藤本 憲康	會田 尚子	和田 雅実	浅野 昭雄
川中 尚美	東 昌久	山浦 幸子	川田 浩子	桐生 雅行	斉藤 正子
小俣 靖江	宇土 悦子	品田 敏男	小山 富子	土方 久枝	雨宮 充
松原 清	酒井 德行	荒川 歌津			
野口 英一	鶴田 恵彦	片桐 豊昭			
大坪久美子	真柴 哲子	柳沢 美澄			
鈴木 涉	樋口 恢武	飯島 利三			
古厩 清夫	小林 敏朗	高橋 清子			
宮下 文夫	吉岡 泰光	鈴木 幸子			
田熊 裕	内田耕一郎	鈴木 良身			
紺野栄治郎	三富 恒男	阿部 晃一			

平成元年 日野市立小・中学校

No	担当	学校					
		一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小
1	研究・研修主任	和田いさを	木内 秀夫	久保田由子	逸見 明男	斉藤 弥生	岩崎真知子
2	人権尊重教育担当	徳田 崇	綾部 耕基	八木 文夫	渡辺 晃庸	茅野とめ子	式守 保幸
3	国 語 主 任	三浦理恵子	山口 正夫	猪又 幸雄	坂本 有子	本多 和美	濱崎 洋子
4	社 会 科 主 任	和田いさを	木内 秀夫	井上 充	須藤 春美	岩本 高明	伊勢 恒二
5	算数・数学主任	廣嶋とし子	海老原真知子	井上 文子	小柳利栄子	斉藤 弥生	中村 克子
6	理 科 主 任	中野由紀子	渋谷 一彦	矢野百合子	福田 功	御木 茂	丸茂 洋子
7	音 楽 主 任	村上 悦子	板野 宏	大久保光子	斉藤富美子	岡田 恵子	越智 忠司
8	図工・美術主任	山本 雅子	宮崎 美徳	関口 智恵	小野絵美子	北野 義昭	杉村 光子
9	体育・保体主任	長門 彰	綾部 耕基	大西 一成	西 俊幸	川本 明子	市川 光男
10	。技術家庭(男)主任						
11	家庭・技術(女)主任	馬場 俊子	中島 寿子	秋山 照子	藤岡 和子	本保 陽子	難波 和子
12	。外国語主任						
13	道 徳 主 任	畑野 元一	宮川征三郎	八木 文夫	逸見 明男	茅野とめ子	岩崎真知子
14	特別活動主任	風野 敏子	田中 和子	井上 充	安達 美武	越地 則之	伊藤 孝子
15	学校行事主任	畑野 元一	針田 和子	八木 文夫	安達 美武	茅野とめ子	依田 逸夫
16	視 聴 覚 主 任	廣嶋とし子	宮崎 美徳	井上 充	高田 光夫	御木 茂	安井 寿子
17	学校図書館主任	三浦理恵子	駒形 富子	塚原美智子	倉津 節子	秋野美津子	宗近 孝子
18	給 食 主 任	川上美穂子	小笠原本江	宮本 京子	須藤 春美	本保 陽子	難波 和子
19	安 全 教 育 主 任	長沢佳都子	比嘉 道子	原 俊行	小柳利栄子	後藤 絢子	古川 明子
20	養 護 主 任	佐藤ヒサ子	渡辺 敏子	尾中 慶子	神田久仁子	常盤 町子	金野 峰子
21	管 財 主 任	古河 哲三	山口 朝子	小笠原久雄	藤本 新八	須藤 茂	富田 且枝
22	事 務 担 当	古河 哲三	山口 朝子	橘田 晟	藤本 新八	須藤 茂	富田 且枝

主任（担当）一覧

潤徳小	平山小	七小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平
西山 正夫	石黒 芳子	斉藤美智子	加藤 征子	戎 俊子	平島 孝夫	三浦 仁	泉 芳夫
臼井 知子	福田 栄子	榊原 一男	樋口江以子	高橋 茂子	大上 琢磨	田中 順一	秋葉 榮一
間島 春美	日下部貴美子	斉藤美智子	神 幸子	大島真理子	小林 和子	三浦 仁	村山 栄子
宇田川清和	松井 清美	長沢あや子	武田 恵子	広瀬 逸子	今野すみ子	照屋 守久	泉 芳夫
小林 浜子	渡辺 学	落合 幸子	栗原 悦子	大鳥ルミ子	増田 潔	銭廣 芳子	加藤 洋子
中村 大	平良 格	有馬佳代子	長沼 正幸	佐藤 明美	石川 成子	塚本 純子	吉川 郁子
飯島 睦子	福田 栄子	椎名 圭子	鈴木 栄一	大谷美由紀	古川 悦子	安藤美佐子	遠藤 信元
志賀千恵子	木村 令子	伊藤 茂	丸 カズ子	高尾三枝子	岡本 美治	歌田 典子	秋葉 榮一
山本 和也	加藤 和美	井浦 弘	小島 義範	山内 好子	林 亀三	黒川 武良	武内 忠雄
五十嵐明子	港 澄江	渡辺 かほ	樋口江以子	浅沼 節子	高橋 孝子	加藤千恵子	吉澤佐久子
臼井 知子	加藤 和俊	榊原 一男	上野 森良	磯部 麻里	小川原とも子	田中 順一	宮澤 醇子
渋江 美雪	星野 友子	長澤あや子	沼田恵美子	宮崎 亘	佐藤 静雄	黒川 武良	溝江恵美子
渋江 美雪	若松富紀子	小杉 博司	小島 義範	遠藤佐知子	大上 琢磨	福川 信子	武内 忠雄
山口 恵久	山村あずさ	居城 文雄	酒井 誠	戎 俊子	児玉 正教	田中 順一	泉 芳夫
五十嵐明子	池田 雅子	関根 敦子	沼田恵美子	加藤 暉子	野口すみ子	前沢美佐江	菊地紀久江
小林 浜子	木村 令子	渡辺 かほ	神 幸子	村松 幹雄	今野すみ子	安藤美佐子	佐藤 ユウ
間島 春美	加藤 和俊	伊東 茂	宮澤 淳子	菊池 静枝	石割やす子	野口真佐子	宮澤 醇子
反町麻佐子	松尾けさ美	小山 幸代	石塚 晶子	井戸川喜代	松本 陽子	秋田 和代	井上久美子
太田美登里	郷原 敦	作道 年正 福島智恵子	吉岡 興村	志波 恵子	原 早苗	曾根原 守	横田 昭子
太田美登里	郷原 敦	作道 年正 福島智恵子	吉岡 興村	石坂 郁子	原 早苗	宮岸みず枝	横田 昭子

No.	担当	学校					
		程久保小	旭が丘小	平山台小	東光寺小	三沢台小	仲田小
1	研究・研修主任	大成 鐸夫	佐々木玄吾	村松 晴義	市川 博子	山浦 幸子	品田 敏男
2	人権尊重教育担当	河野 千秋	野村 治子	森田 弘文	市川 博子	斉藤 美代	雨宮 充
3	国語主任	佐藤 徳子	近藤 千穂	田中 玲子	笠井 祐子	山浦 幸子	宇土 悦子
4	社会科主任	西森 恵子	佐々木玄吾	古山 郁子	藤本 憲康	川井 尚美	品田 敏男
5	算数・数学主任	鷹尾富貴江	星野 洋	渡部 キヨ	富澤 和子	上田美知子	小山 富子
6	理科主任	近藤 裕治	上篠 茂	加藤 タイ	浅野 昭雄	鶴間 紀子	小俣三佳子
7	音楽主任	馬場美津子	鶴園美千代	二宮 弘美	弥延あつ子	村田那智子	保坂たか子
8	図工・美術主任	藤沢由美子	佐藤 和代	久保 雅子	田倉 昭代	倉林 晴夫	鶴田久美子
9	体育・保体主任	鎌田 博志	斉藤 重志	菊池 彰	和田 雅実	桐生 雅行	吉田 健
10	。技術家庭(男)主任						
11	家庭・技術(女)主任	酒井ヒトシ	奈良 悦子	岡部ひとみ	小林むつみ	小木美智子	土方 久枝
12	。外国語主任						
13	道徳主任	吉野美智子	野村 治子	高濱 嘗子	市川 博子	川田 浩子	雨宮 充
14	特別活動主任	鷹尾富貴江	入田 純子	村上 貞司	藤本 憲康	大類 研治	小山 富子
15	学校行事主任	遠藤 路子	野村 治子	古山 郁子	笠井 祐子	大類 研治	雨宮 充
16	視聴覚主任	馬場美津子	入田 純子	青木 利夫	古屋 立美	倉林 晴夫	吉田 健
17	学校図書館主任	遠藤 路子	志村 道子	渡部 キヨ	富澤 和子	小木美智子	小俣 靖江
18	給食主任	酒井ヒトシ	窪田 彌生	高濱 嘗子	三枝 光子	村田那智子	宇土 悦子
19	安全教育主任	西森 恵子	西田 陽	村松 晴義	笹本 竹司	斉藤 美代	土方 久枝
20	養護主任	田島 佳子	小島 典子	岡部 哲子	上山美智子	西村 美子	清水 妙子
21	管財主任	榎本 昌代	三輪佐和子	新沼 敏和	藤井 悦子	植松 一枝	平沼 譲
22	事務担当	榎本 昌代	三輪佐和子	新沼 敏和	藤井 悦子	中村やす子	本間 慶子

一 中	二 中	七 生 中	三 中	四 中	三 沢 中	大坂上中	平 山 中
宮尾 文子	石井 一郎	真中 祐一	辻野 良子	新井 幹	熊谷 静一	秋山 侑司	古橋あつ子
江坂 正人	浜本 敏朗	土橋 好	樋口 恢武	河手 達治	山口 律子	秋山 侑司	上原 純子
堀江 朋子	江森奈津子	高森 和子	村上富美代	河手 達治	清水 良子	羽生 幸一	鈴木 照美
江坂 正人	小竹 毅	真中 祐一	平山 方茂	川崎佳代子	富澤 幹彦	木嶋 健	井上 節子
清水 肇	長田 清浩	塩谷 直子	内村 悦子	小林 敏朗	明石 敏春	樋口あや子	喜多村靖事
酒井 徳行	安原めぐみ	野沢 雄介	原沢 和江	柏木 実	原田 康司	谷 丈太郎	和田 孝
横溝 明子	吉村富美子	大野 滯子	大宅 寛	新井 幹	吉池美紀子	中山 玲子	山田よし子
相原 茂生	中里 久子	常松 瑞穂	岸田 地子	浅田 豊子	吉岡 泰光	市川 和彦	阿部 晃一
奈良 佳功	河原 政志	柳井 和幸	斎藤 恵美	石川 明人	井原千恵子	今井 正喜	北野 一也
柳 哲夫	永谷 豊	大谷 良光	飯島 利三	並木 修	宮下 文夫	小原 俊昭	三浦 義次
犬田美知子	田倉 正子	佐藤 壽枝	高見登志子	山本 玲子	秋庭 英子	土田キヨミ	斉藤 妙子
木村 守	石井 一郎	真柴 哲子	田中 秀幸	沢田 正純	松村 敏以	竹内 緑	渡邊 淳
宮尾 文子	石井 一郎	長坂 昌弘	鈴木 涉	石井世津子	赤羽 康子	内田耕一郎	桜井 絢子
佐藤 至正	富士 堯	辻本 昭彦	松沢 茂久	後藤 正彦	吉田 和彦	羽生 幸一	桜井 絢子
相原 茂生	橋本 幹雄	管野 剛	新井 教且	杉村 智秋	広瀬 昭	秋山 侑司	三浦 義次
中野 真帆	松本 喜代	野沢 雄介	服部 圭助	原田 憲一	若松 民雄	倉田 和俊	鈴木 照美
矢野 洋子	江森奈津子	坂井千恵子	松葉 淑子	河手 達治	森 紀子	羽生 幸一	古荘斗糸子
征矢 捷江	中山ひとみ	高森 和子		井田 武	直井 孝夫	土田キヨミ	岡部 隆男
酒井 徳行	中山ひとみ	真柴 哲子	辰己 恵子	前田 博	逸見 守	樋口由紀子	北野 一也
堀江 朋子	井上 巖	近藤 康代	今城 理恵	瀬尾真理子	高津戸泰子	樋口由紀子	阿部貴美子
越智 有吾	古谷 泰代	竝木 昇一	原田 憲吾	金子 好一	永長 裕子 加藤 ふみ江	中島 和枝 池谷 昌一	大野 馨
木下 清美 山下かおる	高橋 一江	高森 和子	平 孝子	岩田 良子	渡部 厚	筒井 ゆり 中島 和枝	大野 馨

平成元年 授業研究主題一覧

No.	小学校名	研究テーマ
1	日野第一小学校	一人一人の児童が意欲的に学習に取り組むための指導法の工夫 —一人一人の読みの力を育てる指導法の工夫—
2	日野第二小学校	地域の自然、社会を生かした指導法の研究 —興味を持って学習に取り組む子をめざして—
3	日野第三小学校	児童に考える力をつけるための算数科指導の工夫
4	日野第四小学校	一人一人が生き生きと学習する指導法の研究 —すじ道を立てて考える子どもを育てる算数指導—
5	日野第五小学校	「学習意欲を高める指導法の研究」
6	日野第六小学校	「みずから学ぶ子どもを育てる指導法の研究 —国語科の読みを中心として—
7	潤徳小学校	主体的な学習態度を育てる指導法の研究
8	平山小学校	ひとりひとりが生き生きと進んで学ぶ力を育てる指導法 —体験的活動を通して—
9	日野第八小学校	児童の主体性を高める指導法の研究 —国語科—
10	百草台小学校	考える力を育てる指導法の研究
11	滝合小学校	児童の学習意欲を高めるための指導法の研究
12	高幡台小学校	国語 文学作品の読み方指導
13	日野第七小学校	「思いやりのある子を育てる生命尊重の教育」 —性教育を通して—
14	南平小学校	児童が主体的に取り組む活動の研究 —生産体験から学ぶ子どもを育てる—
15	程久保小学校	一人一人が生き生きとする朗読指導
16	旭が丘小学校	子どもによく考えさせる授業のあり方
17	平山台小学校	心豊かなやさしい子の育成
18	東光寺小学校	「一人一人が生き生きと学習に取り組む指導法の研究」 —国語科—
19	三沢台小学校	学級集団の中でねばり強くがんばる子どもを育てる指導法
20	仲田小学校	楽しく運動に取り組み、たくましく生きる児童の育成 —個人差に応じた指導の工夫—

No.	中学校名	研究テーマ
1	日野第一中学校	日野市内の事業所訪問の実施における進路指導
2	日野第二中学校	生徒の問題行動と、その対応方法について
3	七生中学校	基礎学力の定着をめざす授業研究 — 前年度研究の一層の深化をめざして
4	日野第三中学校	個性・創造性・自主性を高める指導法の工夫
5	日野第四中学校	人間尊重教育の推進
6	三沢中学校	遅進生徒の有効な指導法の探究
7	大坂上中学校	基礎的生活習慣と学習習慣の養成をとおり、自主的学習の態度や学力の向上を図る
8	平山中学校	生徒一人一人を大切にし、その心をくみ取る、明るく安全な学校生活のあり方

平成元年度 日野市立小・中学校使用教科書

1. 小学校

国語科	「小学国語」	(日本書籍)
	「小学書き方」	(日本書籍)
社会科	「新しい社会」	(東京書籍)
	「小学校社会科地図帳」	(帝国書院)
算数科	「小学校算数」	(学校図書)
理科	「新しい理科」	(東京書籍)
音楽科	「新しい音楽」	(東京書籍)
図画工作科	「図画工作」	(日本文教出版)
家庭科	「新しい家庭」	(東京書籍)

2. 中学校

国語科	「国語」	(光村)
	「中学書写」	(教育出版)
社会科	「新編新しい社会地理」	(東京書籍)
	「中学社会 歴史的分野」	(日本書籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日本書籍)
	「中学校社会科地図三訂版」	(帝国書院)
数学科	「新編新しい数学」	(東京書籍)
理科	「新編新しい科学(1.2分野)」	(東京書籍)
音楽科	「中学生の音楽」	(教育芸術)
	「中学生の器楽」	(教育芸術)
美術科	「少年の美術」	(現代美術)
保健体育科	「中学保健体育」	(学習研究社)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開隆堂)
外国語科	「NEW CROWN ENGLISH SERIES」	(三省堂)

就職・進学状況の推進 (S. 58～63年度)

()はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科														職業教育機関等 専修・各種訓練学校	就業・その他			卒 業 者 総 数	
		総 計	高等学校全日制課程						高等学校定時制課程			高等 専 門 学 校	高 等 学 校 通 信 制	盲養 ・ ろ 護 う 学 校	計		就 職 者	無(在 家 庭 者)			
			計	公 立			私 立			計	公 立								就 職 進 学 者		
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計		普 通 科										職 業 科
58	計	2,208	2,133 (92.0)	1,002 (43.0)	158 (7.0)	1,167 (50.0)	910 (39.3)	63 (2.7)	973 (42.0)	55 (2.4)	37(私3) (1.8)	15 (0.6)	14 (0.6)	11 (0.5)	1	8 (0.4)	60 (2.6)	49 (2.1)	42 (1.8)	7 (0.3)	2,317
	男	1,118	1,059	493	84	583	434	48	482	42	30(私3)	9	10	10	1	6	33	35	31	4	1,186
	女	1,090	1,074	509	74	584	476	15	491	13	7	6	4	1	0	2	27	14	11	3	1,131
59	計	2,184	2,099 (90.9)	1,102 (47.7)	163 (7.1)	1,265 (54.8)	778 (33.7)	56 (2.4)	834 (36.1)	64 (2.8)	39(私2) (1.8)	23 (1.0)	43 (1.9)	4 (0.2)	9 (0.4)	8 (0.3)	63 (2.7)	62 (2.7)	46 (2.0)	16 (0.7)	2,309
	男	1,124	1,062	562	85	647	367	48	415	46	27(私2)	17	31	3	8	5	39	38	32	6	1,201
	女	1,060	1,037	540	78	618	411	8	419	18	12	6	12	1	1	3	24	24	14	10	1,108
60	計	2,260	2,174 (91.7)	1,016 (42.8)	160 (6.8)	1,176 (49.6)	929 (39.2)	69 (2.9)	998 (42.1)	71 (3.0)	40(私6) (1.9)	25 (1.1)	19 (0.8)	5 (0.2)	1 (0.4)	9 (2.2)	53 (2.5)	60 (2.5)	48 (2.0)	12 (0.5)	2,373
	男	1,198	1,132	519	80	599	486	47	533	54	24(私6)	24	17	5	1	6	34	43	33	10	1,275
	女	1,062	1,042	497	80	577	443	22	465	17	16	1	2	0	0	3	19	17	15	2	1,098
61	計	2,418	2,341 (90.9)	1,127 (43.7)	174 (6.8)	1,301 (50.5)	984 (38.2)	56 (2.2)	1,040 (40.4)	66 (2.6)	36 (1.4)	16 (0.6)	14 (0.6)	8 (0.3)	2	1 (3.9)	100 (2.3)	60 (2.3)	36 (1.4)	24 (0.9)	2,578
	男	1,248	1,187	554	92	646	502	39	541	50	24(私4)	8(私1)	13	8	2	49	37	23	14	1,334	
	女	1,170	1,154	573	82	655	482	17	499	16	8	7	1	0	0	51	23	13	10	1,244	
62	計	2,384	2,284 (91.4)	1,005 (40.2)	190 (7.6)	1,195 (47.8)	1,017 (40.7)	72 (2.9)	1,089 (43.6)	74 (3.0)	46 (1.8)	9 (0.4)	19 (0.8)	4 (0.1)	15 (0.6)	7 (0.3)	65 (2.6)	49 (2.0)	21 (0.9)	28 (1.1)	2,498
	男	1,201	1,128	483	105	588	487	53	540	52	31(私1)	7	13	4	14	3	31	35	16	19	1,267
	女	1,183	1,156	522	85	607	530	19	549	22	14	2	6	0	1	4	34	14	5	9	1,231
63	計	2,398	2,320 (91.4)	1,092 (43.0)	201 (7.9)	1,293 (50.9)	924 (36.4)	103 (4.1)	1,027 (40.5)	48 (1.9)	35 (1.4)	13 (0.5)	4 (0.1)	6 (0.2)	19 (0.7)	5 (0.2)	96 (3.7)	44 (1.7)	29 (1.1)	15 (0.6)	2,538
	男	1,260	1,202	594	111	705	432	65	497	36	26	10	1	4	17	1	45	29	19	10	1,334
	女	1,138	1,118	498	90	588	492	38	530	12	9	3	3	2	2	4	51	15	10	5	1,204

園児・児童・生徒、学級数

〈平成元年5月1日現在〉

上段 元年度
下段 63年度 (学級数)

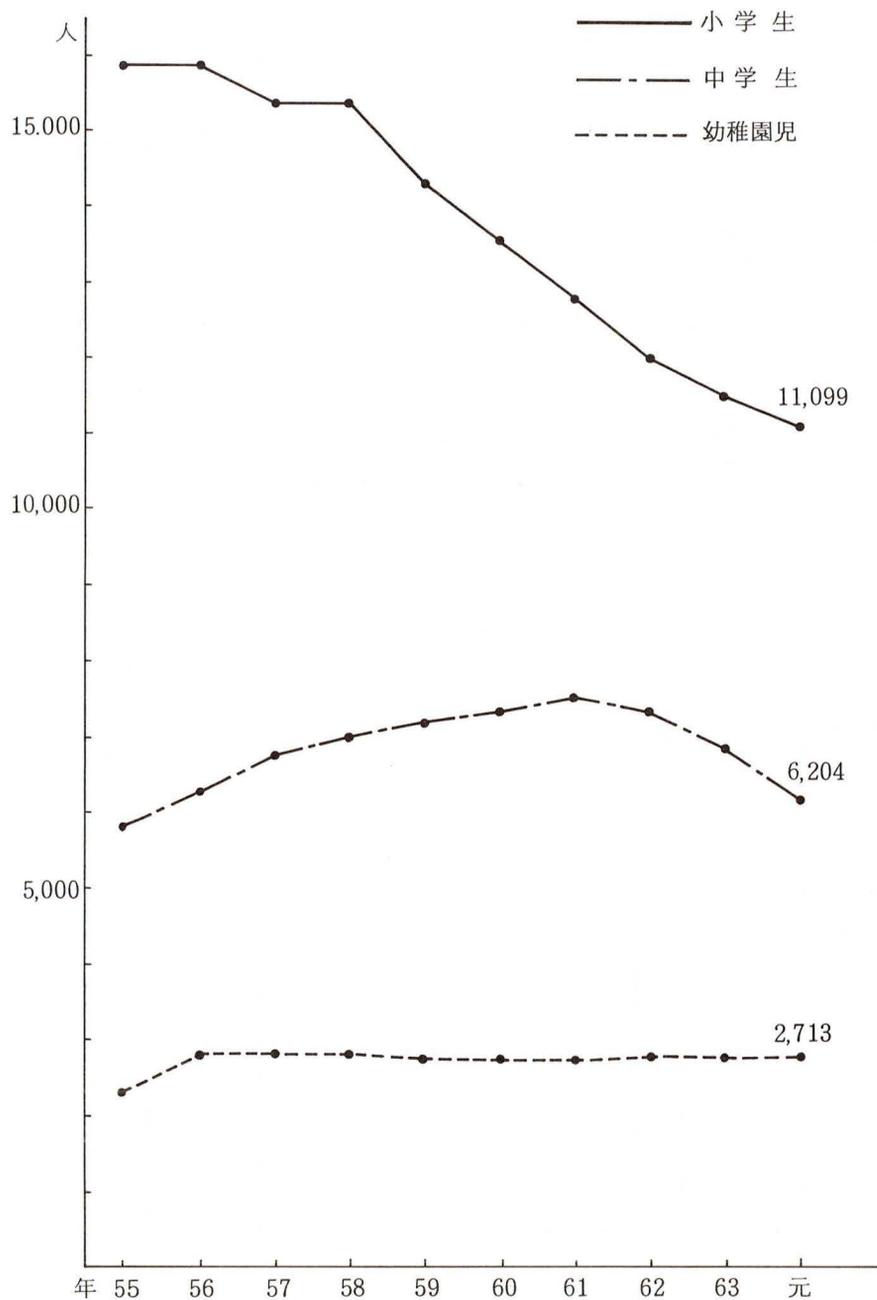
No.	小学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	心障
1	日野第一小学校	86 (3) 82 (3)	80 (3) 93 (3)	88 (3) 97 (3)	95 (3) 93 (3)	95 (3) 104 (3)	102 (3) 109 (3)	546 (18) 578 (18)	
2	日野第二小学校	111 (3) 124 (4)	122 (3) 116 (4)	117 (3) 142 (4)	137 (4) 126 (3)	123 (3) 176 (4)	178 (4) 139 (4)	788 (21) 823 (22)	
3	日野第三小学校	73 (2) 104 (3)	105 (3) 90 (3)	92 (3) 81 (3)	85 (3) 105 (3)	104 (3) 102 (3)	100 (3) 108 (3)	559 (18) 590 (18)	19 (3) 20 (3)
4	日野第四小学校	81 (3) 98 (3)	93 (3) 82 (3)	86 (3) 88 (3)	87 (3) 87 (2)	88 (2) 99 (3)	99 (3) 97 (3)	534 (17) 551 (17)	
5	日野第五小学校	122 (4) 136 (4)	125 (4) 120 (4)	117 (3) 122 (3)	114 (3) 105 (3)	102 (3) 129 (3)	126 (3) 123 (3)	706 (20) 735 (20)	5 (1) 2 (1)
6	日野第六小学校	91 (3) 115 (3)	111 (3) 108 (3)	104 (3) 100 (3)	97 (3) 113 (3)	111 (3) 104 (3)	103 (3) 106 (3)	617 (18) 646 (18)	
7	潤徳小学校	61 (2) 62 (2)	56 (2) 62 (2)	62 (2) 74 (2)	73 (2) 71 (2)	69 (3) 78 (3)	77 (2) 93 (3)	398 (12) 440 (13)	
8	平山小学校	77 (2) 69 (3)	69 (2) 87 (3)	87 (3) 98 (3)	95 (3) 107 (3)	105 (3) 114 (3)	114 (3) 115 (4)	547 (16) 590 (17)	
9	日野第八小学校	108 (3) 87 (3)	86 (3) 101 (3)	99 (3) 93 (3)	91 (3) 99 (3)	96 (3) 108 (3)	108 (3) 105 (3)	588 (18) 593 (18)	
10	百草台小学校	83 (3) 92 (3)	92 (3) 93 (3)	85 (3) 109 (3)	106 (3) 110 (3)	109 (3) 110 (3)	104 (3) 97 (3)	579 (18) 611 (18)	
11	滝合小学校	120 (3) 113 (3)	109 (3) 120 (4)	122 (4) 134 (4)	135 (4) 139 (4)	136 (4) 129 (4)	128 (3) 140 (4)	750 (21) 775 (22)	
12	高幡台小学校	76 (2) 86 (3)	84 (3) 81 (3)	78 (2) 100 (3)	96 (3) 86 (3)	84 (2) 92 (3)	92 (3) 90 (2)	510 (15) 535 (16)	
13	日野第七小学校	119 (3) 115 (3)	108 (3) 102 (3)	98 (3) 110 (3)	110 (3) 125 (3)	125 (3) 120 (3)	120 (3) 113 (3)	680 (18) 685 (18)	
14	南平小学校	72 (2) 90 (3)	86 (3) 85 (3)	80 (2) 100 (3)	99 (3) 104 (4)	106 (3) 141 (3)	144 (4) 101 (3)	587 (17) 621 (19)	
15	程久保小学校	54 (2) 58 (2)	56 (2) 67 (3)	70 (2) 81 (2)	81 (3) 59 (3)	60 (2) 96 (2)	99 (3) 87 (2)	420 (14) 448 (14)	
16	旭が丘小学校	146 (4) 133 (3)	127 (4) 118 (4)	117 (3) 129 (3)	128 (4) 118 (4)	122 (3) 134 (3)	135 (3) 119 (3)	775 (21) 751 (20)	
17	平山台小学校	44 (2) 43 (2)	43 (2) 49 (2)	45 (2) 62 (2)	62 (2) 56 (2)	57 (2) 71 (2)	71 (3) 72 (3)	322 (12) 353 (13)	15 (2) 12 (1)
18	東光寺小学校	75 (2) 61 (2)	63 (2) 53 (2)	54 (2) 69 (2)	67 (2) 66 (2)	61 (2) 72 (2)	72 (2) 78 (2)	392 (12) 399 (12)	
19	三沢台小学校	67 (2) 55 (2)	55 (2) 55 (2)	54 (2) 81 (2)	78 (2) 77 (2)	79 (2) 88 (2)	89 (2) 79 (3)	422 (12) 435 (13)	
20	仲田小学校	64 (2) 62 (2)	61 (2) 48 (2)	48 (2) 62 (2)	60 (2) 49 (2)	51 (2) 57 (2)	56 (2) 55 (2)	340 (12) 333 (12)	
計		1,730 (52) 1,791 (56)	1,731 (56) 1,739 (56)	1,703 (53) 1,933 (59)	1,896 (58) 1,901 (53)	1,883 (53) 2,131 (57)	2,117 (57) 2,034 (56)	11,060(329) 11,529(342)	39 (6) 37 (5)

No.	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	245(7) 238(6)	270(6) 271(7)	270(6) 297(7)	755(19) 806(20)	
2	日野第二中学校	232(6) 271(7)	262(6) 267(6)	262(6) 326(7)	756(18) 864(21)	
3	七生中学校	193(5) 224(5)	238(6) 223(5)	230(6) 275(7)	651(17) 722(17)	9 (2) 6 (2)
4	日野第三中学校	266(7) 282(7)	284(7) 311(7)	306(7) 341(8)	856(21) 934(22)	
5	日野第四中学校	273(7) 289(7)	289(7) 267(6)	272(7) 331(8)	834(21) 887(21)	
6	三沢中学校	229(6) 271(7)	271(7) 317(8)	315(8) 340(8)	815(21) 928(23)	
7	大坂上中学校	244(7) 277(7)	279(7) 303(7)	296(7) 334(8)	819(21) 914(22)	8 (1) 13 (2)
8	平山中学校	195(5) 240(6)	242(6) 267(6)	264(6) 297(7)	701(17) 800(19)	
計		1,881(50) 2,098(52)	2,101(52) 2,233(52)	2,222(53) 2,544(61)	6,187(155) 6,855(165)	17 (3) 20 (4)

No.	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第一幼稚園	60 (2) 60 (2)	69 (2) 62 (2)	129 (4) 122 (4)
2	第二幼稚園	30 (1) 29 (1)	37 (2) 45 (2)	67 (3) 74 (3)
3	第三幼稚園	30 (1) 29 (1)	36 (2) 43 (2)	66 (3) 72 (3)
4	第四幼稚園	29 (1) 30 (1)	32 (1) 31 (1)	61 (2) 61 (2)
5	第五幼稚園	30 (1) 30 (1)	34 (1) 30 (1)	64 (2) 60 (2)
6	第六幼稚園	30 (1) 30 (1)	31 (1) 32 (1)	61 (2) 62 (2)
7	第七幼稚園	60 (2) 56 (1)	59 (2) 60 (1)	119 (4) 116 (3)
計		269 (9) 264 (9)	298 (11) 303 (11)	567 (20) 567 (20)

幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数の推移

(平成元年 5月1日現在)



平成元年度 東京都教育研究員等一覽

1. 教育研究員

小学校	社 会	高幡台小	照 屋 守 久
	算 数	仲 田 小	小 山 富 子
	理 科	高幡台小	塚 本 純 子
	体 育	仲 田 小	吉 田 健
	心 障	平山台小	青 木 利 夫
	保 健	三沢台小	西 村 美 子
	給 食	程久保小	酒 井 ヒトシ
中学校	音 楽	七 生 中	長 坂 昌 弘
	外 国 語	平 山 中	渡 辺 淳

2. 教育開発員

小学校	道 徳	日野八小	宇 野 有斐子
中学校	外 国 語	三 沢 中	松 村 敏 次
	音 楽	平 山 中	山 田 よし子

3. 道徳教育指導助言者

日野四小	逸 見 明 男
日野六小	丸 茂 洋 子
日野一中	佐 藤 至 正
日野二中	鈴 木 涉

市 立 小 ・ 中 学

番 号	校 名	開 校 年 度	建 築 年 度 増 改 築	校地面積 m ²	校舎保有 面 積 m ²	普通教室 (保有)
1	日野一小	M 6	37. 38. 39	20, 947	4, 366	22
2	日野二小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11, 640	4, 728	27
3	日野三小	S 2 3	41. 42. 47. 49~50	16, 806	6, 012	30 (5)
4	日野四小	M 6	49. 40. 44	15, 292	3, 839	19
5	日野五小	S 3 4	34. 35. 36. 43.	18, 435	5, 284	34
6	日野六小	S 4 0	38. 40. 43. 48	19, 833	6, 098	31
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15, 376	4, 784	28
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	15, 845	4, 388	23
9	日野八小	S 4 4	44. 47. 49	17, 601	5, 102	25
10	百草台小	S 4 5	44. 48. 50	15, 482	5, 248	26
11	滝 合 小	S 4 6	45~46	20, 458	5, 544	27
12	高幡台小	S 4 7	46. 48. 52	16, 017	4, 983	25
13	日野七小	S 4 8	47~48. 52~53. 57	13, 509	4, 806	22
14	南 平 小	S 4 9	48~49. 53. 56	16, 020	5, 254	27
15	程久保小	S 5 2	49~50. 50~51	16, 988	4, 092	18
16	旭が丘小	S 5 2	51~52. 56	16, 642	5, 463	26
17	平山台小	S 5 3	52~53. 54	18, 536	4, 939	20 (2)
18	東光寺小	S 5 4	53~54	19, 586	4, 356	18
19	三沢台小	S 5 5	54~55	15, 170	4, 463	18
20	仲 田 小	S 5 9	58~59	15, 660	3, 434	12
1	日野一中	S 2 2	37. 38. 40. 41. 50. 58	19, 386	6, 118	26
2	日野二中	S 2 9	34.35.38.40.41.49~50.60~61	21, 150	6, 596	29
3	七 生 中	S 2 2	36. 38. 44. 45. 50~51. 59~60	20, 367	5, 934	21 (2)
4	日野三中	S 4 5	45. 47. 49. 58~59	21, 520	6, 958	28
5	日野四中	S 4 8	47. 49. 52. 61~62	18, 955	6, 486	27
6	三 沢 中	S 5 2	51~52. 58~59	23, 623	7, 147	25
7	大坂上中	S 5 5	54~55. 57	19, 389	6, 630	25 (3)
8	平 山 中	S 5 6	55~56	18, 200	5, 967	24

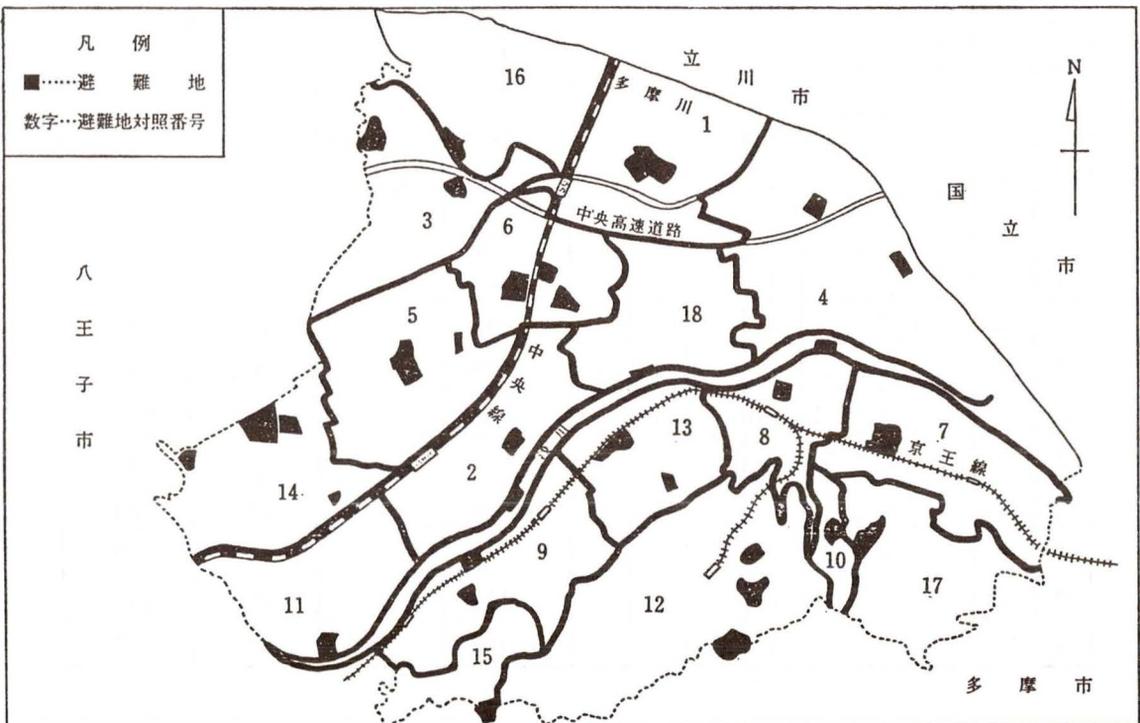
校 施 設 一 覧

平成元年 5 月 1 日現在

教									体 育 館 m ²	プ ー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給 食 室 m ²	学 級 数 (心障学級)
特 別 教 室												
理 科	音 楽	図 工	美 術	技 術	家 庭	視 覚	図 書	食 堂				
1	1	2			1		1		760	大・小	179	18
1	1	1			1		1		761	"	172	21
1	1	1			1		1		761	"	144	17 (3)
1	1	1			1		1		765	"	130	17
2	2	1			1		1		761	"	273	20 (1)
1	2	1			1		1		795	"	213	18
1	1	1			1		1		779	"	204	12
1	1	1			1		1		545	"	147	16
1	1	1			1		1		710	"	231	18
1	1	1			1		1		752	"	188	18
1	2	1			1		1		701	"	256	21
1	1	1			1		1		714	"	226	15
1	1	1			1		1		736	"	219	18
1	1	1			1		1		734	"	188	17
1	1	1			1		1		760	"	216	14
1	1	1			1		1		760	"	213	21
1	1	1			1		1		760	大小12×5m	268	12 (2)
1	1	1			1		1		760	大・小	214	12
1	1	1			1		1		757	"	215	12
1	1	1			1		1		760	"	224	12
2	2		2	2	2		1	1	842	大	765	19
2	2		1	2	2		1	1	1,075	"	701	18
2	2		2	2(1)	2(1)		1	1	765	"	645	17 (2)
3	3		2	3	2		1		1,067	"		21
2	2		2	2	2		1	1	1,136	"	784	21
2	2		2	2	2		1	1	1,118	"	718	21
2	2		1	2(1)	2		1	1	1,118	"	599	21 (2)
2	2		2	2	2				1,189	"	197	17

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1.2.3丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グランド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	日野総合グランド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井 石田、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平田地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平の一部、神明 上区画整理区域内	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢 の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園
 所 在 地 日野市多摩平4-3
 電 話 0425-81-4124・4105
 順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分
 園 児 数 男63名 女67名 計130名

園長氏名 高 橋 千鶴子

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
 さる。学級7、定員280名、
 職員教諭8名、用務員1名。
 園敷地2,700m²、園舎777m²
 プレハブ1棟。
- 4.10 開園、園児280名
- 5.25 創立記念日とする
- 5.30 園章制定
- 昭43. 9. 6 プール完成(中庭)
- 12.20 ホール増築完成
- 昭44. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
 事完成
- 昭48. 3.14 東京都交通安全教育実験学校
 研究発表会(第一年次)
- 10.23 同上研究発表会(第二年次)
- 昭50. 3.10 10周年記念発表会開催
 園歌制定
- 12.20 園舎(プレハブ)改築完成
 保育室3、プレイコーナー、図
 書コーナー各1、資料室1、屋
 上、トイレ、物置1
- 昭57. 8.31 園庭の敷地完成
- 昭58. 9. 1 幼児教育センターの開設にあ
 たり2教室を提供
- 昭60.12.17 園舎外周緑化工事完成
- 昭61.11.29 ホール屋根改装工事完成
- 昭63. 4. 1 1学級減、4学級となる

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
江 角 正 子	昭40.4.1～昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4.1～昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4.1～昭60.3.31
上 山 洋一郎	昭60.4.1～昭62.3.31
高 橋 千鶴子	昭62.4.1～ 現在

3. 地域の環境

多摩平団地および周辺住宅の中心にある。園舎西側は豊田駅に通じる道路があり、北側は甲州街道に平行してバイパスの役割をなす道路に面している。角地にあるため、騒音と交通量が多い。いちよう並木が続き、近くには公園が点在し、比較的自然環境には恵まれている。

4. 教育目標

21世紀に向けて多様な情報、国際化、高齢化社会に生きる人間の基礎を培う保育を旨として心身ともに健全な育成をめざす。
 ○ 基本的な生活習慣を身につけ元気に遊べる子ども
 ○ 状況に応じて望ましく表現できる子ども
 ○ 情緒的に安定し、ゆたかな感性をもつ子ども

5. 本年度の指導の重点

○ 幼児ひとりひとりの特性を理解した上、主体性、協調性を培い、望ましい友達関係や正しい生活習慣の確立をはかる。そして安全を確保して園生活が楽しくすごせる子供を育てる。
 ○ 四季の自然や飼育栽培物との触合いを多くもたせ、健康と心情面の豊かさを培う。
 ○ 幼稚園教育の円滑化と活性化を図るため、園と家庭との連携を密にする。

6. 本年度の研究主題

「幼児理解と指導のあり方」
 — 異年令児の交流を通して —

7. 本園の特色

○ 隣接する幼児教育センターとの連携により保育内容の検討並びに改善が一層図られている。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内 訳	研 究 員	充 実 対 策 委 員
1		高橋千鶴子(49年)	高橋千鶴子(50年)



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山4-5-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分
園 児 数 男27名 女40名 計67名

園長氏名 榎 島 静 子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置
5.10 開園記念日と定める
5.30 園章制定
昭46. 3.10 日野市研究協力園として研究発表を行う
昭48. 2.21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
昭49.10.22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会本発表(第二年次)
12.14 創立10周年記念式典開催
昭51. 4. 6 保育室、廊下、職員室、医務室床、改装完成
昭53. 9.30 玄関入口広場を図書コーナーに改装完成
昭55. 9. 1 図書コーナー本棚設置
昭56. 4. 6 市水道管引込工事完了
昭57. 3. 8 屋根・ホール床塗装完成
昭57. 4.10 二年保育再開
昭58. 8.23 園舎内装完成
昭60. 4. 1 新園舎完成移転

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
後 藤 正 太	昭40.4～昭42.3
安 積 利 治	昭42.4～昭47.3
小 野 晃	昭47.4～昭51.3
深 澤 真 人	昭51.4～昭55.3
林 元 美	昭55.4～昭58.3
伊 藤 智 章	昭58.4～昭61.3
蓮 池 守 一	昭61.4～昭62.3
坂 口 嘉津子	昭62.4～平元3
榎 島 静 子	平元4～

3. 地域の環境

市の南西部にあり、平山小学校に隣接している。南に多摩丘陵がつつらなり、近くには平山城址公園、浅川土手、梨畑や田んぼなどがあり自然環境に恵まれている。四季を通じて野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、地域の環境をふまえて、心身共に健康で主体的に生きようとする豊かな心をもった幼児の育成をめざす。
○たくましい身体と心をもつことも
○進んで取り組みよく考えてやりぬくことも
○身近な人や自然を大切にすることも
○感動する心をもち素直に表現することも
○友達と一緒に仲良く遊べることも

5. 本年度の指導の重点

個性を生かす指導計画作成と主体性の育成
4才児○教師と幼児の信頼関係を築き安定した情緒で自己を十分に発揮し、心身の調和のとれた発達を促す。
○基本的な生活習慣、態度を育てる。
5才児○いろいろな活動、友達へ自ら主体的に関わっていく態度と協力、思いやりなど、相手を尊重する気持ちを育てる。
○自然など身近な事象へ興味、関心を育て、豊かな心と表現する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

一人ひとりの幼児を的確に理解するために個人観察のとり方と生かし方。

7. 本園の特色

○平山城址公園や河原など、園周辺の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる活動を、多くとり入れている。



園 名 日野市立第三幼稚園
 所 在 地 日野市日野本町2-14-1
 電 話 0425-81-7127
 順 路 JR日野駅下車 東へ10分
 園 児 数 男30名 女35名 計65名

園長氏名 沖山英代

1. 沿革の概要

- 昭41. 4.11 日野市立第三幼稚園として日野第一小学校内に設置
学級数4、園児数143名
- 5. 4 開園記念日と定める
- 昭42. 5. ブロック塀完成
- 11. 観察池設置
- 昭46. 4. 市研究協力園
- 昭47. 3. 屋外飼育舎新設
- 昭51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備
10周年記念研究発表
- 昭53. 8. ホール、保育室等床改装完成
- 昭54. 8. 廊下床改装完成
- 昭56. 3. 園歌制定
- 昭56. 4. 2年保育再開
- 昭56. 8. 園舎外装
- 昭60. 8. 保育室内装
- 昭63. 8. ホール屋根改装

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
吉田辰次	昭41.4～41.5
永野林弘	昭41.6～42.3
吉田辰次	昭42.4～44.3
下田忍	昭44.4～50.3
溝呂木桂次	昭50.4～55.3
村田安正	昭55.4～58.3
古谷洋太	昭58.4～62.3
平向邦江	昭62.4～63.3
沖山英代	昭63.4～現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。最近、宅地化が進み周囲の自然も失われ、子ども達の遊び場は限られてきている。その反面、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

ひとりひとりの個性を尊重し、幼児が主体的に生活する中で、心身ともに健康なからだ
と自主、自律の精神の育成を図り、人間形成の基礎を培うために

- 丈夫なからだで元気に遊ぶこども
- よく考えて取り組みがなんぼのこども
- 豊かな心をもつこども

5. 指導の重点

- 身近な自然や地域環境を活用して、体力増強、心情豊かな子供の育成につとめる。
- ひとりひとりの幼児理解につとめ実態の確に把握し、成長発達に応じた指導を工夫する。
- 遊びを通し、自主的に活動する中で充実感満足感を味わせるとともに協調性、思いやりの気持を育てる。
- 情緒の安定をはかるとともに、自ら判断し、けじめのある生活態度が定着、習慣化するよう指導の工夫をする。

6. 本年度の研究主題

ひとりひとりの幼児理解につとめながら、発達課題をふまえた指導計画の見直しを行う。

7. 本園の特色

- 幼児期の思い出が豊かであるように考え、親子で共通体験できる活動を組み入れる。
(親子園外保育、幼稚園ランド、日曜参観)
- クラス同士や異年齢児が交流できる場を多く取り入れ、互いに育ち合う機会をつくる。

8. その他

教員の研究歴

No.	内訳	研究員	開発委員
1		沖山英代(51年)	渡辺明子(63年)



園 名 日野市立第四幼稚園
 所 在 地 日野市石田431-6
 電 話 0425-83-3903
 順 路 立川-高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分
 園 児 数 男27名 女33名 計60名

園長氏名 上野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学級数2、園児数41名
- 10. 9 落成式挙行
- 11. 1 開園記念日と定める
- 昭51. 8.30 各保育室前、テラス完成
- 昭54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
- 昭56. 9.30 各保育室、教材・教具整理棚
完成
- 昭57.11.11 創立10周年記念式典挙行
園歌制定
- 昭60. 8.31 職員室床木製改装完了
- 昭62. 8.26 廊下改修、屋根、外装塗装

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
内 藤 達 夫	昭48.4.1～52.3.31
釜 池 博	昭52.4.1～57.3.31
竹 永 秀 雄	昭57.4.1～60.3.31
田 中 光 穂	昭60.4.1～62.3.31
梶 村 和 子	昭62.4.1～平成3.31
上 野 美津枝	平成.4.1～現在

3. 地域の環境

国道20号線の日野橋より東へ約1km入った多摩川の土手近くにあつて、日野第四小学校に隣接している。多摩動物公園に通じる都道は、交通量が多く、道幅も狭いため危険である。田畑や梨園、農業用水路等自然環境にめぐまれている。近年は、宅地化が進み住民層にも変化を生じている。子どもの遊べる場所は少ない。

4. 教育目標

人間形成の基礎を培い、意欲的で自主性のある心豊かな幼児の育成をめざす。

- 明るく元気な子ども
- よく考え最後までやりぬく子ども
- 思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児一人一人の発達段階をふまえ、個に応じた指導を行うため幼児理解を深める。
- 幼児が自ら環境に働きかけ、個々の課題にむかっていけるように環境を整え、活動内容の精選と指導法の開発に努める。

4歳児○人間形成の基礎的なことを身につける。
 ○いろいろな経験活動に対して、失敗をおそれず、やろうとする気持を大切に
 する。

5歳児○主体的に取り組み、体験学習を大切に
 し、成功感、成就感を味わわせ、自ら
 学ぶ力を育てる。

6. 本年度の研究主題

指導法の改善をめざした長期指導計画の作成
 について。

7. 本園の特色

子ども達は素直であるが、基本的な生活習慣が身につけていなかったり、ねばり強さに欠けるところがある。4歳児、5歳児各1組のため、異年令児との交流活動を計画的に取り入れるとともに、互いに学び合うようにする。また、自然環境に恵まれているので、四季折々の動植物への関心と親しみをもたせ、自然の中で存分遊ぶようにする。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1		上野美津枝(53年)	上野美津枝(52年)



園 名 日野市立第五幼稚園
 所 在 地 日野市三沢175
 電 話 0425-92-0432
 順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ約13分
 園 児 数 男28名 女32名 計60名

園長氏名 桜田 鈴子

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
学級数2、定員80名
教諭3名、用務員1名
- 4.15 第一回入園式挙行 園児数61名
- 11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭50. 1.20 園庭拡張される。
- 昭50. 3.20 第1回修了式 修了児70名
- 昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学級数3、定員120名
- 昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
- 昭59. 2.25 創立10周年記念式挙行
- 昭59. 3.31 プレハブ教室撤去
- 昭60. 4. 1 二年保育開始、学級数2
- 昭61. 3.15 教材室増設
- 昭63. 3.31 園庭整備と側溝・危険物倉庫・浄化槽フェンス設置
- 昭63. 8.31 園舎外壁と屋根塗装
- 平元. 3.17 第15回修了式挙行、修了児31名
進級児29名
- 平元. 4.11 第16回入園式挙行
二年保育 4歳 30名 } 64名
一年保育 5歳 34名 }

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
岡本省吾	昭49.4.1～53.3.31
古谷洋太	昭53.4.1～58.3.31
渋谷義一	昭58.4.1～61.3.31
桜田鈴子	昭61.4.1～現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲はまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- 明るく元気に進んで遊べる子ども
- 豊かな心と思いやりのある やさしい子ども
- 最後まで頑張れる子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児一人一人の成長過程をとらえ、その子どもの個性や特性を十分理解して指導につとめる。
- 園内外の自然環境を生かし、健康な体と豊かな心、思いやりを持った子どもの育成につとめる

6. 本年度の研究主題

- 日々保育実践の中で一人一人の幼児理解を強め、各々の個性特性をとらえ、その子どもに合った指導のあり方につとめる。
- 授業研・実技研修を通して指導法や教材研究をすすめる。

7. 本園の特色

- 園外保育を多くとりいれ、自然の中で遊ぶ楽しさ、解放感を味わわせている。
- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味わわせている。
- 広い園庭を生かした遊びを多くとり入れている。



園 名 日野市立第六幼稚園
 所 在 地 日野市程久保 8 7 6 - 2
 電 話 0425-92-6330
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
 高幡台団地下車 徒歩5分
 児 童 数 男25名 女36名 計61名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 50. 9. 6 園舎新築工事起工
- 昭 51. 3.19 園舎完成、鉄筋平屋建
- 4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数2、定員80名
園長1名、教諭3名、用務員1名
- 4.10 入園式挙行、園児数73名
- 5.29 開園記念式典挙行
開園記念日とする
- 昭 52. 5.30 プール(ヤマハ・キューティメ
イトDX)設置
- 昭 53. 3.12 1学級増設のためプレハブ教室
増設、学級数3、定員120名
- 昭 55. 4. 1 学級数2、定員80名
- 昭 58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェ
ンス防球ネット完成
- 昭 60. 4. 1 2年保育開始 定員70名 学級
数2、4才児30名、5才児40名
- 昭 60.11. 1 園歌制定
- 昭 60.12.14 創立10周年記念式挙行
- 昭 61. 9.10 園庭拡張、園舎外壁塗装

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
手代木 和 夫	昭 51.4.1 ～ 54.3.31
近 内 信 輝	昭 54.4.1 ～ 58.3.31
津野田 昭 二	昭 58.4.1 ～ 62.3.31
上 野 美津枝	昭 62.4.1 ～ 平元・3.31
坂 口 嘉津子	平元・4.1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

- 一人ひとりの個性を尊重し感情豊かな明るく元気な子どもを育てる。
- よく遊べる子ども
- 思いやりのある子ども
- 最後までやりぬく子ども

5. 指導の重点

- いろいろな活動に自ら取り組み満足感、充実感を味わうことにより、感動する心、意欲を高めていく。
- 身近な自然環境に興味、関心をもち、触れる中で生命の尊さ、思いやりをもてる。

6. 本年度の研究主題

- ひとりひとりを主体的に活動させるための指導法

7. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。

8. 教職員の研究歴

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1		坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第七幼稚園
 所 在 地 日野市旭が丘2-42
 電 話 0425-86-3770
 順 路 JR 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
 児 童 数 男58名 女61名 計119名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭59.10.6 園舎新築工事起工
- 昭60.4.1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2階建
学級数2 定員70名
教職員3名 園地面積2599㎡
- 昭60.4.10 第1回入園式挙行園児数49名
- 昭60.6.30 開園記念日とする
- 昭62.4.1 4才児1クラス増、定員100名
(年少2、年長1)
- 昭63.3.11 園舎増築工事完成
- 昭63.4.11 学級数4(4才児2、5才児2)
定員140名

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ~ 年 月
石 井 三 士	昭60.4.1 ~ 62.3.31
沖 山 英 代	昭62.4.1 ~ 63.3.31
平 向 邦 江	昭63.4.1 ~ 現在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区である。周辺道路の交通量が多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。

大学、中学校、保育園、児童館、障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

基本的人権を尊重し、自ら学び自己を高め、人間性豊かで、未来にたくましく伸びようとする幼児の育成を図るために。

○明るい子ども

健康で活力があり、自分を出しながら、安定して遊ぶ子。

○がんばる子ども

いろいろなことを試したり、工夫したり、粘り強くやり抜き、満足感を味わう子。

○心のやさしい子ども

感受性豊かで、自然や友達に自らかかわり、感謝や思いやりの気持をもつ子。

5. 本年度指導の重点

基本的生活習慣の確立を図り、主体的に取り組む生活や遊びの中で、良い人間関係を育て、豊かで思いやりのある子を育てる。

○4歳児……基本的生活習慣の自立、遊びや活動を通して、自己表現の方法の習得、集団参加意識の芽ばえを培うよう指導を工夫する。

○5歳児……基本的生活習慣の定着化を促し、生涯教育の基礎となる体験をさせ、向上心の育成や自己発揮を通して、意欲・充実感・満足感を十分に味わうよう指導を工夫する。

6. 本年度の研究主題

「自然に関する指導計画の作成とその実践」

7. 本園の特色

- 積木による造形を主に建築された園舎である。
- 通園区域は広く、住居は高層住宅、社宅等が多い。戸外での遊びを好まない傾向にある。
- 教育に対する保護者の関心や意識は高い。
- ◎保護者、地域との連携を深めるとともに、園内の施設や身近な教材、教具を使った戸外での運動遊びを多くとり入れたり、飼育物の世話や菜園、園庭の花壇の栽培を通して、健全育成につとめ、教育の充実を図っている。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	研究員	開発委員
1		平向 邦江(49年)	平向 邦江(58年)



学 校 名 日野市立日野第一小学校
 所 在 地 日野市日野本町2-14-1
 電 話 0425-81-0073・0061
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分
 児 童 数 男269名 女275名 計544名

校長氏名 山 口 武 彦

教頭氏名 飯 田 国 代

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。(現在の中央公民館のとなり。)
- 明 45. 2.11 校歌、校章制定、校舎増改築、校地拡張
- 昭 11. 4.29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
- 昭 15. 日野2800番地(現在地)に土地900余坪、新校舎建築開始。(戦時中、軍徴用)
- 昭 23. 4.25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教育課程の研究発足
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8.22 80周年記念プール竣工
- 昭 38.11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足
 - 8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼講堂として移管
- 昭 44. 2.21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表
 - 5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置
5月17日開級
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始 校庭南側一部縮少
- 昭 48.11. 創立百周年記念祭
- 昭 51. 8. 給食室改修 理科室整備
- 昭 53. 2. 理科室、家庭科室改修

- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
- 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭 58.11. 開校110周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去
- 昭 60. 3. 体育倉庫新設
- 昭 60. 8. 昇降口改修
- 昭 60.11. 南・北側ブロックべい撤去、植込とする
- 昭 61. 8. トイレ改修
- 昭 62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり推進校」として公開発表
- 昭 62. 8. 理科室床改修

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
1	日野 義順	明 6. 5～明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7～明11. 3
3	小川 則要	明11. 4～明15. 3
4	鈴木 宗也	明15. 4～明16. 8
5	上野 兼松	明16. 9～明18. 3
6	二見友三郎	明18. 4～明19. 4
7	八木岡寛制	明19. 5～明21.10
8	佐野 鶴松	明21.11～大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4～大12. 1
10	河合 平作	大12. 2～大15. 3
11	古谷剛次郎	大15. 4～昭11. 1
12	宮川 海三	昭11. 2～昭18. 3
13	貫井 半蔵	昭18. 4～昭23. 8
14	小池 嘉一	昭23. 9～昭34. 3
15	尾崎半次郎	昭34. 4～昭37. 3
16	五十嵐 光	昭37. 4～昭38. 3
17	木村 清	昭38. 4～昭41. 3
18	吉田 辰次	昭41. 4～昭44. 3

	氏名	年月～年月
19	下田 忍	昭44.4～昭50.3
20	溝呂木桂次	昭50.4～昭55.3
21	村田 安正	昭55.4～昭58.3
22	古谷 洋太	昭58.4～昭62.3
23	山口 武彦	昭62.4～現在

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、地域社会、児童の実態に即し、自主的に人格の完成につとめる児童の育成を目ざし、次のことを中心に展開する。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 科学性を身に付ける子ども | 事実を正しくみる力を養い、正しい判断力、順序立った思考力を伸ばして、基礎的学習の充実をはかる。 |
| 1. 豊かな心情を持つ子ども | 真、善、美に対する感受性を養うと共に、自然の動植物愛護、他人に対する思いやりの心を強める。 |
| 1. 強い意志を育てる子ども | 目標に向かって最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない気持ちを育成する。 |
| 1. じょうぶな体をつくる子ども | 節度のある生活態度を身につけ、継続して体力の向上増進を図る児童を育成する。 |

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア. 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力、態度の基礎を身につける。そのため、

- 指導内容の重点化を図ることにより、考える、調べる、確かめる等の時間を十分にとり、考える力、問題解決の力、表現力、創造性の育成を目指す。
- 教材、教具を整備・活用し、児童の学習意欲の喚起を図ると共に学習活動を工夫し、児童が成就感、満足感を持つ授業の創造を図る。
- 一人一人の児童に楽しく、自ら進んで学習に取り組みせ学ぶ楽しさを味わわせる。

イ. 道徳

社会規範、生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り道徳の実践力を高める。そのため、

- 道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導を行う。
- 全教育活動を通じて生命尊重、他を思いやる心、基本的生活習慣の定着を重視した指導を推し進める。

ウ. 特別活動

児童の自主・自立の精神を育てるとともに社会性や個性に目を向けていく。そのため、

- 児童の主体的活動を促し、望ましい集団行動を行う中で一小児童としての連帯感や好ましい人間関係、豊かな人間関係を育てる。
- 多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、良い面を伸ばすよう指導する。

(2) その他の活動

- ア. 学校裁量の時間を通して個別指導の充実、学級係活動の充実を図り、児童一人一人が学校生活を円滑に、ゆとりと充実をもって送れるよう指導する。
- イ. 水泳初心者指導の期間を設け、水泳に関する個別指導を行い、児童の泳力や気力の向上を図る。
- ウ. ふれあいタイムを設定し、教師が児童と共に遊ぶ中で児童理解を深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで、「五つの約束」を重点とし、集団の秩序と安全保持の立場からの指導の徹底を図る。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の個性、能力の開発、伸長をめざす。そのため、児童の良い面の発見に努め、認め、誉める。或いは、児童の持つ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。一人一人の児童がめあてをもって生きる指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の児童が意欲的に学習に取り組むための指導法の工夫」

国語教科になって二年目の研究である。昨年度は児童の実態を把握できたが、再度原点にもどり主題および副主題における「一人一人の」、「意欲的に取り組む」、「読みの力を育てる」という語句から、研究の仮設をしっかりとてる。

7. 本校の特色

- (1) 本校は、開校116年を誇る歴史と伝統のある学校で、父母・地域の方の中にも卒業生が多く、地域の学校に対する愛情や期待は大きい。古き良きものを愛し、大切にし、地域からの信頼、地域との連帯を深めながら更により校風を築く努力を重ねている。
- (2) 教科指導と両輪をなす生活指導に教職員の結束をはかり、生活指導報告日、生活指導協議会の設置により、「全校児童、わがクラスの子」を合言葉にして指導にあたり、児童の健全な成長を計っている。
- (3) 一輪車、木のぼり、竹馬、ふれあいタイムなど、他校にはみられないような施設や特性を生かし、児童が楽しく学校生活を送れるよう保護者の協力を得ながら組織的に取り組んでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	中央研	研究員	開発委員	研究生、他
1		山口 武彦(49)	村上 悦子 45 (音楽)	志賀 由具 59 (体育)	山口 武彦 47 (研究生、社会)
2			山口 武彦 46 (社会)		和田いさを 53 (研究生、教育方法)
3			中村 麗子 47 (給食)		山口 武彦 58 (海外派遣)
4			井尻 武子 55 (教育相談)		
5			志賀 由具 59 (体育)		
6			佐藤ヒサ子 60 (保健)		
7			足立 博志 62 (体育)		
8			飯田 国代 60 (特別活動)		



学 校 名 日野市立日野第二小学校
 所 在 地 日野市東豊田2-14-1
 電 話 0425-81-0070・0851
 順 路 J R 豊田駅南口下車 徒歩 10 分
 京王線南平駅下車、徒歩 15 分
 児 童 数 男 448 名 女 342 名 計 790 名

校長氏名 馬 場 武 教頭氏名 秋 山 憲 一

1. 沿革の概要

明 7. 3. 神奈川県 9 大区 4 区 豊田村 尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする
 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分け、上等小学校は満十歳から十三歳までとする
 明 12. 2 豊田 1 3 2 0 番地、善生寺の西隣に新校舎建築
 明 26. 4 東京府に編入される
 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる
 昭 17. 豊田 2 1 8 番地に新校舎建築、平屋建 6 教室
 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
 昭 27.12 第 1 次増築、2 階建 8 教室、日野町立日野第二小学校と校名変更
 昭 31. 4 第 2 次増築、2 階建 6 教室
 昭 38.11 日野市立日野第二小学校と校名変更
 昭 43. 6 第 1 次防音、4 階建校舎完成
 昭 44. 3 第 2 次防音、4 階建校舎完成
 昭 46. 2 体育館工事、落成
 昭 49. 3 第 3 次防音、4 階建校舎完成
 11 創立百周年記念式典を行う
 昭 55. 3 1 階建校舎完成
 昭 56. 5 新プール完成
 9 校庭整備完成
 昭 57. 8 普通教室内部塗装完了
 昭 58.12 校庭歩道完成
 昭 59. 6 創立百周年記念式典を行う
 昭 61.12 新通学路使用始
 昭 63. 8 体育館改装
 給食室グリストラップ新設
 給食室側通用門新設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
小山 茂平	昭 2 1. 6 ~ 2 7. 9
増島 光一	昭 2 7. 1 0 ~ 3 4. 3
小池 嘉一	昭 3 4. 4 ~ 3 8. 3
森久保惣次	昭 3 8. 4 ~ 4 2. 3
後藤 正太	昭 4 2. 4 ~ 4 7. 3
安積 利治	昭 4 7. 4 ~ 5 0. 3
永井 雅夫	昭 5 0. 4 ~ 5 3. 3
鈴木 英夫	昭 5 3. 4 ~ 5 7. 6
篠宮 忠男	昭 5 7. 7 ~ 6 1. 3
荒木 健治	昭 6 1. 4 ~ 平成元. 3
馬場 武	平成元. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であった。ところが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が 4 % にも激減している。
それでも、浅川を中心として田畑が広がり、屋上から見る景観はすばらしい。
- 近くにローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- 保護者は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- 学校前の都道をはじめとして学区内の道路はどれも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきたので、新に農道を補修し、通学路に指定した。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚をたかめ国際社会に奉仕できる、心身共に豊かな子どもの育成を目指して次の目標を定める。

- からだも心も強く明るい子
- ◎みんなと仲よく力を合わせられる子(重点目標)
- よく考え進んで行動する子
- 責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標について、学年の系統をふまえた具体的目標をたてて、学年会で話し合い、その具現徹底をはかる。
- ② 教育活動の全体をとおして、人権、人命の尊重の教育に徹し、豊かな情操と実践的行動力をもったこどもの育成をはかる。
- ③ 授業の研究を全職員で行い、主体的な学習態度を育て、基礎学力を充実する。
- ④ 教育活動全体に、こどもを主体的に参加させるようくふうし、みんなと仲よく力を合わせられる子どもの育成をはかる。
- ⑤ 教職員の話し合いを大切に、共通理解を深め、協力して指導にあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 指導内容を精選し、基礎的、基本的事項が身につくようにする。
- 学習到達目標を明確にすると共に、主体的な学習態度を育て、学力の向上と定着をはかる。

イ. 道徳

- 愛情豊かな情操を育てると共に責任をもって行動する態度の内面化をはかる。
- 教育目標と道徳の関連をはかり、道徳的实践力を育成する。

ウ. 特別活動

- 集団行動をとおして、心身の調和的発達をはかる。
- 児童会、学級会、委員会活動、クラブ活動、学校行事等をとおして、自主的、実践的な態度を育てる。

(2) その他の活動

- 地域の豊かな自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。
- なわとび、うす着などの指導をとおして、体力の向上をはかる。
- 学級、学年、学校の諸行事に自主的に参加させ、みんなと仲よく楽しい学校を作っていくことができるこどもの育成をはかる。
- 働く喜びを味わわせ、からだを通して学ぶ基本姿勢を育てる。
- 日常生活の中の手仕事を重視し、巧み性、集中力を養う。

(3) 生活指導・進路指導

- 生活指導についての全職員の共通理解をもとにして
 - ・児童の基本的な生活習慣の育成をはかる。
 - ・みんなと仲よく遊べる子の育成をはかる。
 - ・安全指導を徹底し、人命尊重の精神を育てる。
 - ・事例研究をとおして、児童への共通理解を深め、ひとりひとりのこどもの心の育成をはかる。

- ・充実した楽しい学校生活に参加し、享受することによって生きることのすばらしさを感じさせ、その上に立って将来への明るい希望を持てるようにする。

6. 本年度の研究主題

地域の社会や自然の教材化とその指導法の研究

7. 本校の特色

本校は創立115年という伝統をもつ歴史のある学校である。59年度は創立110周年記念式典およびその思い出をつくる活動として「米づくり」「いもづくり」の体験学習を行い生産にまつわる苦労や自然とのかかわりあい、さらには構造的思考力育成など、物心両面で大きな収穫を得た。学校が子どものために努力すれば、それに対し全面理解と協力を図ってくれる地域である。そこで、これらのことをふまえ、地域の教育力を十分に活用するため、地域の自然や文化財・人材の教材化を進めてきた。このことと併せて児童がより主体的に、しかも意欲的に学習にとりくむことができるようにするため、「興味をもって学習に取り組む子」をめざし研究に取り組んでいる。本年度はさらに研究を深め、日々の授業の充実を図ることによって、郷土を愛する心を培っていきたいと考えた。

また、本校は市内随一の大規模校である。それに反し、校庭は狭少である。このことから、日常の運動量の不足や運動技能、能力の低下につながらないように、授業を通して子どもが主体的、意欲的に学習していく指導法をうち出している。なわとびや薄着の奨励などを計画的に行ってきた。このことによって心身ともに健康な子ども達の姿が見られるようになってきている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	現代化委員・開発委員	研究生・海外研
1	馬場 武（48理科）	馬場 武（50理科）	馬場 武（54ヨーロッパ）
2	秋山 憲一（51理科）	秋山 憲一（54理科）	秋山 憲一（58理科）
3	高木 映子（50教育方法）		
4	木内 秀雄（44社会）		



学 校 名 日野市立日野第三小学校
 所 在 地 日野市日野台2-1-1
 電 話 0425-81-0101・0850
 児 童 数 男306名 女272名 計578名
 (内ひばり19名)

校長氏名 内 藤 康 教頭氏名 小笠原 久 雄

1. 沿革の概要

- 昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭 25. 6.10 日野台小学校として独立する児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 7.18 校章制定
- 9.19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭 27. 4.15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
- 6.10 校歌制定
- 昭 28. 6.10 校地850坪拡張、6教室増築教室数23、2部授業を解消
- 昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭 32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築教室数25、児童数869名
- 昭 33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成
- 昭 34. 3. 校地1,100坪拡張
- 昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される
- 昭 38.11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更
- 昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭 43.11.15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭 46. 2.16 体育館落成式、校章制定
- 昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成
- 昭 50. 2.25 鉄筋新校舎竣工
- 6. 1 校旗制定
- 昭 54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭 56.12. 9 校内緑化整美植樹(1,273本)
- 昭 58. 4. 2 ひばり学級教室増設
- 昭 58. 4.20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
- 昭 59. 3.10 藤だな改修
- 3.25 給食調理室天井塗装

- 体育館渡り廊下天井改修
- 8.29 体育館ステージホリゾン幕改修
- 音楽室床全面改修・黒板灯設備
- 用務員室改修
- 12.20 南校舎非常階段手すり改修
- 昭 60. 3.20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備・プール内シート防水・排水バルブ改修・消防水利設備
- 3.31 裏門拡張・扉改修
- 昭 61. 3.31 道路側防球ネット生垣完成
- 8.31 体育館内部塗装
- 10.31 北校舎屋上改修
- 昭 62. 7. 7 プール更衣室等照明取付
- 8.31 ひばり教室改装
- 9. 8 体育館外部塗装
- 昭 63. 1.20 体育館屋根塗装
- 北校舎外壁修理
- 8.20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理
- 8.31 屋外幹線改修・校庭整備

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高野 忠正 (事務取扱)	昭 25. 6.10～26. 3.12
高野 忠正 (校 長)	昭 26. 3.13～27. 9.30
尾崎半次郎	昭 27.10. 1～34. 3.31
五十嵐葆光	昭 34. 4. 1～37. 3.31
塚本 正	昭 37. 4. 1～41. 3.31
池田 瑞男	昭 41. 4. 1～47. 3.31
岩井 庄三	昭 47. 4. 1～50. 3.31
平松健太郎	昭 50. 4. 1～54. 3.31
竹永 秀雄	昭 54. 4. 1～57. 3.31
古田 耿介	昭 57. 4. 1～62. 3.31
内藤 康	昭 62. 4. 1～現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔80mの日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地(学区)の北部は多摩川をへだてて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法及び教育基本法に基づき民主的社會人としての人間形成の基礎づくりを目ざし次の目標を定める。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の教育の立場にたち、心身ともに健康で人間性豊かな人間形成の基礎づくりをめざす。特に「よく考える子ども」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を基盤にすえ、授業の改善充実にかがけるとともに調和のとれた教育活動を推進する。

- 具体的な学年学級目標を設定し、その具現化をめざし学年学級経営に創意と工夫を生かし、一層の充実をはかる。
- すべての子どもを公平に愛し、個性能力をひき出し、生涯学習の視点に立った学び方を学ぶ学習指導を推進する。
- 創意ある教育活動を展開し、地域の教育力、教材を生かした指導内容方法の創造を図る。
- 生命を大切にすする子供の育成をめざし、心身障害児とともに手を取り合って活動する機会を設定し、思いやりの心の育成を図る。
- 健康づくりと体力の向上を年間を通して計画的意図的に実践し、たくましい子どもの育成に努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材教具を活用し、課題をねばり強く追求させる学習指導を推進し、基礎的基本的学習事項の定着をめざした指導の充実を図る。
- 既習の基礎基本をもとに気づかせ発見させる学習を推進し、学習を意欲的にし、思考力、判断力を培う。
- 達成感、成就感のある授業を確立し、創造的実践力を培う。
- 個人差を的確にとらえて、学習形態や学習過程を工夫し、学習効果を高める学習方法を工夫する。

イ. 道徳

- 子どもがすすんでやりぬく道徳的実践力の育成をめざし、全教育活動における道徳教育の充実を図る。特に心障児との交流、全校菊づくり、特別活動を通して人間愛自然愛を培い豊かな心を育てる。
- 道徳の授業の改善を図り、各教育活動で培われた道徳的実践力の深化、補完、統合を図る。

ウ. 特別活動

- 子どもの自主的実践力と連帯感を培うことをめざし、集団活動を充実する指導を行う。
- 集団活動を通して、集団の成員としての自覚を高め共に向上していく気持ちを高める。
- 所属する集団を自主的に建設しようとする態度能力を高めるとともに、他者にはない自分を自覚し、個性的な実践力を高める。

(2) その他の活動

- 遊びの時間を設定、いきいきとした楽しい教育の場とし、体力の向上をめざす。
- 火曜日六校時を児童会活動の日と設定、集団活動を通して心身の調和のとれた発達を図る。
- 学年の日を有効に使用し学年経営の充実をはかり、個別指導の徹底をはかる。
- 心身障害学級と普通学級との教師相互児童相互の交流の場を積極的に設け、障害を持つ児童に対する理解を深めるとともに連帯感の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

- 心身ともに健全な子どもの育成をめざし、指導体制を整え、全職員の組織を通じた指導を徹底する。
- 児童理解につとめ心のふれあいを大切にする指導を充実する。
- 父母、地域との連携を深め、協力補完しあって指導にあたり、児童の健全育成を図る。
- 社会に多様な生き方があることに気づかせるとともに、児童一人一人の良さを発見し、その良さを将来にわたって生かすことのすばらしさに気づかせ、社会人となるための基礎となる力を育てる。

6. 本年度の研究主題

児童に考える力をつけるための算数科指導の工夫

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。
校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童に考える力をつける授業研究を実施している。また、心障学級（ひばり学級）があり、交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

No	内 訳	研 究 生	研 究 員	開 発 委 員	中 央 研	海 外 派 遣
1		内藤 康 49 (体育)	内藤 康 45 (体育)		内藤 康 56	内藤 康 58
2			小笠原久雄 49 (特活)	小笠原久雄 55 (特活)		
3			猪俣 幸雄 58 (国語)			
4			八木 文夫 59 (体育)			
5			上田 憲二 62 (教育課題)			
6			宮本 京子 62 (心障教育)			
7			椿坂 俊夫 63 (心障教育)			



学 校 名 日野市立日野第四小学校
 所 在 地 日野市石田430
 電 話 0425-81-0038・3076
 順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
 立川駅北口から高幡不動駅行バス四小前
 下車 徒歩3分
 京王線高幡不動駅から立川北口行バス四小前
 下車 徒歩3分
 児 童 数 男273名 女262名 計535名

校長氏名 波多野 坦 教頭氏名 富 田 洋 子

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎
 明 21.11. 下田小学校
 明 41. 3. 日野小学校下田分教場
 昭 29. 8.18 校地決定4,25 9.1 4坪
 昭 30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日
 を開校記念日とする
 12.22 校章制定
 12.25 第三期校舎竣工
 昭 31. 3. 5 校旗完成
 昭 35. 7.20 プール落成式並祝賀会
 昭 36.11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
 記念日とする。
 昭 40. 3.31 防音校舎9教室完成
 昭 41. 3.31 防音校舎第2期工事完了
 7. 9 下田学舎創立92周年記念式典
 昭 43.11.27 統計教育研究指定校として研究
 発表会をする（都、市指定校）
 昭 45. 3.31 体育館落成
 防音校舎7教室増築完成
 昭 54. 3.20 受水槽改修、渡り廊下改修
 3.25 防火戸改修、非常放送装置設備、
 6.22 プールサイド全面コンクリート
 塗装工事
 昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
 事
 6.20 プール内塗装工事
 昭 56 8.25 新校舎への親子方式TV配線、
 放送室内のスタジオ形式の改装
 昭 56. 8.27 屋上高置水槽改造
 8.30 都市ガス化にともなう配管取替
 昭 57. 3.27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替

昭 57. 4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等
 の改修
 9. 4 非常階段設置
 昭 58. 3.27 自転車置場設置
 昭 59. 3.31 仲田小学校分離 141名転出
 9.28 校庭の体育倉庫新設
 昭 60. 8.31 校舎棟工事（窓枠・天井張替等）
 給食室改修工事
 昭 61. 2.28 体育館玄関・天井・屋上修理
 校庭東側フェンス張替工事
 8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工
 事
 昭 62. 2.23 プールシャワー、目洗い場等工
 事
 昭 63. 3.27 プール内塗装工事
 昭 63. 7.31 小プール排水工事完了
 8. アスベスト撤去工事
 8. 3 集水樹工事完了
 8. 8 放送室調整卓取替工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
浦上増太郎	昭 30. 3.29～36. 3.31
田中 善次	昭 36. 4. 1～44. 3.31
森 巖	昭 44. 4. 1～47. 3.31
内藤 達夫	昭 47. 4. 1～52. 3.31
釜池 博	昭 52. 4. 1～57. 3.31
竹永 秀雄	昭 57. 4. 1～60. 3.31
田中 光穂	昭 60. 4. 1～63. 3.31
波多野 坦	昭 63. 4. 1～現在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川のおちあう三角地帯9地区である。甲州街道から約1km南にへだたった多摩地であったが、近年万願荘の集団住宅をはじめ、万願寺、新井地区の宅地造成化がすすめられ、田園地域より住宅化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

自ら考えて正しく判断し行動できる児童の育成をめざして、次の教育目標を達成するように努める。

- みんなと協力する子
- 自分の力で考える子
- じょうぶな体をつくる子
- 最後までやりぬく子

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ア. 本年度は特に「みんなと協力する子」を重点目標とする。
- イ. 集団活動を通して共同・協力の態度を身につけさせ、国際社会に貢献できる日本人としての素地を養う。
- ウ. 思考力を高める授業の充実を通して学ぶ意欲を持ち、社会の変化に対応できる児童の育成をはかる。
- エ. 教育活動全般を通して健康安全について理解を深め、体力向上を図る能力や態度を育成する。
- オ. 学校・家庭・地域の連携をいっそう深め、教育機能の充実を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 自主的な学習態度を育て、各教科の基礎的・基本的な学力を高める。
- 具体的な学習を通して思考力と創造力の育成をはかり、生涯を通して学習を継続する意欲と態度を養う。
- ひとりひとりを大切にする授業の充実をはかる。

イ. 道徳

- 教育活動全般を通して、主として他の人とのかかわりに関する道徳性の育成につとめる。
- 道徳の時間を通して、道徳的価値を内面的に深めるとともに、その実践力の向上を図る。
- 自他の生命を重んじ、人権尊重の精神を身につけさせる。

ウ. 特別活動

- 各種の集会活動を通して、好ましい人間関係を育てる。
- 児童の自発的・自治的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、実践的な態度育成に資する。

(2) その他の活動

- 創意ある教育活動を通して児童の個性や能力を伸ばし、学習の楽しさや成就感の体得をさせる。
- 学級における日常の指導を通して望ましい人間関係を育てるために、積極的できめ細かな指導を行う。

(3) 生活指導・進路指導

- 集団生活の中で必要な基本的生活習慣の指導・徹底を図る。
- 児童の発達段階に即して主体的な学び方を身につけさせるとともに、進級、進学への適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

「ひとりひとりが生き生きと学習する指導法の研究」

— すじ道を立てて考える子どもを育てる算数指導 —

7. 本校の特色

本校の児童は明るく素直であるが自主性に乏しく、発表力・表現力にやや欠ける面がある。また与えられた仕事や興味関心をもったことには意欲的にとり組むが、ねばり強さに欠けること、生活指導面からは、基本的な生活習慣がきちんと身につけていない等の特色をもつ。

そこで本年度は、算数学習の指導法を研究テーマにとりあげ、児童自らが、学習課題に意欲的にとり組み、すすんで問題解決する力を身につけられるよう全職員で指導にあたっていく。

また児童の自主性、協力を培うために、特別活動を中心として、児童集会、たてわり活動等を通して異年齢集団のかかわりを持つことによって思いやりのある心の豊かな児童を育て、人間性豊かでうおいのある学校づくりをめざしている。

基本的な生活習慣の育成にあたっては、生活指導委員会を核として教師の共通理解を深め、一貫した教育方針で指導にあたるようつとめている。そしてこれらの指導方針については、学校学年だよりはもとより、保護者会、地域懇談会、運動会等あらゆる機会を通して家庭・地域へ広めていく。

幸い本校は創立115年の歴史と伝統を持つ学校であり、PTAとの結びつきも強い。今後、教師・保護者・地域住民と一そう連携を深めながら本校の教育の充実を図っていく。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員
1		波多野 坦（45・国語）
2		富田 洋子（52・社会）



学 校 名 日野市立日野第五小学校

所 在 地 日野市多摩平6-21-1

電 話 0425-81-0407・0445

順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩3分
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
り日野自動車工場前下車 徒歩5分

児 童 数 男 379名 女 330名 計 709名 (病弱児 5名)

校長氏名 上 山 洋一郎

教頭氏名 信 夫 清 彦

1. 沿革の概要

- 昭 34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
- 4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
- 6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
- 昭 35. 9.13 第2期工事完成2部授業解消
- 昭 36. 5.31 第3期工事完成
- 8.28 大プール、小プール竣工
- 昭 38. 2.20 校章制定
- 昭 39. 3.11 校歌発表会
- 3.25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
- 昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
- 昭 42. 2.23 都、市研究協力校発表会
- 昭 43. 5.20 体育館竣工
- 昭 44. 3. 3 創立10周年記念式典
- 昭 50. 4. 1 訪問学級設置
- 昭 51. 3.31 校舎全面的改修着手
- 昭 54. 3.31 校舎5教室改修
- 昭 55. 3.31 校舎5教室改修
- 昭 56. 3.31 校舎6教室改修(H校舎)
給食調理室サッシ改修(外側)
- 昭 57. 3.31 校庭側旧校舎サッシ改修(外側)
音楽室窓改修
- 昭 58. 3.31 南側旧校舎サッシ窓改修(1階)
H校舎2階廊下サッシ窓改修
- 昭 59. 3.31 H校舎1階廊下サッシ窓改修
理科室改修、玄関ドア取付
キューピクル取替、給水管理設
全面取替、校舎南側生垣にする
- 昭 60. 3.31 体育館床研磨とボーダーライト
取付、第二音楽室改修

- 昭 61. 3.31 渡り廊下屋根取替 2年・高学年校舎雨もり防止、プール・東側防球フェンス工事
- 昭 62. 9. 校舎新築本決まり
- 昭 63. 4.18 改築設計予算決定
- 平 元. 3.29 校舎改築工事予算承認

4. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
増島 光一	昭 34. 4. 1 ~ 昭 36. 3.31
浦上増太郎	昭 36. 4. 1 ~ 昭 39. 3.31
福寿 文雄	昭 39. 4. 1 ~ 昭 42. 3.31
星野 正男	昭 42. 4. 1 ~ 昭 47. 3.31
荒井 一男	昭 47. 4. 1 ~ 昭 49. 3.31
三井 知夫	昭 49. 4. 1 ~ 昭 52. 3.31
多昌 直之	昭 52. 4. 1 ~ 昭 56. 3.31
田中 光一	昭 56. 4. 1 ~ 昭 60. 3.31
上山洋一郎	昭 60. 4. 1 ~ 現在

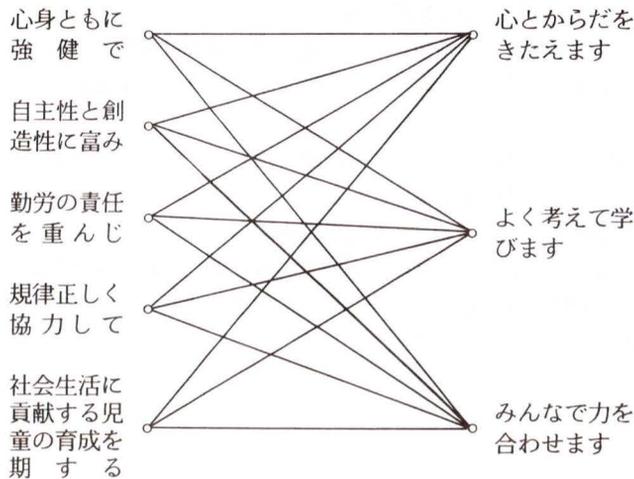
3. 地域の概況

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標〈最後までねばり強く〉



5. 本年度の重点目標 「みんななかよし、楽しい学校をつくります」

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ひとりひとりの児童の基礎学力の伸長を期するために、教材の徹底的分析それに基づく指導計画の作成と授業研究を行う。本年度は特に、理科を研究の核にすえ、児童の興味や自発性を喚起しながら児童の思考過程を重視する指導法の開発に努める。

イ. 道徳

- 本年度の重点目標の具現化を図るため、特に本校児童の実態に即して、③整理、物・金銭の活用 ④自主、自律 ⑤自由、責任 ⑧不とう不屈 ⑨思慮、節度 ⑯親切 ⑳寛容 ㉑勤労の8項目を強調し、道徳的心情を深化して、道徳的实践力のある児童の育成に努める。

ウ. 特別活動

- 毎週一定時程に設定し、学級会活動、委員会活動、クラブ活動、たて割集団の活動、学級指導等の実践を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、自主性、自治性を育て、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努め、実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 創意を生かした教育活動として、1～2時間の集会活動を企画し1年～6年のたてわり活動、兄弟学級の間を設定し、重点目標の達成を図る。
- 毎週火曜日を「学級の日」とし、各学級、学年で年間を通した計画をたて、個人指導、教育相談、花づくり、集会活動などを行う。
- 校舎改築工事にとまなない、旧校舎への感謝と楽しい生活がいとまれる新しい校舎に対する希望と愛校心を身につける活動を計画し実践する。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育目標の具現化を図るため、重点を「力を合わせてなかよくしよう」とし、毎月の目標・具体的方法を設定し計画・実践・評価のサイクルの中で徹底を図る。

- 進路については、児童の個性や能力の伸長・生涯教育などの立場から中学進学・将来の希望などについて、道徳・特別活動の中で指導する。
(中学に対する不安を解消し、希望をもって進学するように留意する。)
- 校舎改築工事にともなう安全指導。遊び場が少なくなることを配慮した生活指導をより一層徹底させる。
- 「五小の子どもの一日」の児童用カードの指導を通して、学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を身につけさせる。
- 安全指導・避難訓練は、年間11回実施し徹底を図る。
- 美化デー・安全点検日は年間11回設け、校舎内外の清掃・危険個所を除く。
- 生活指導全体会(年間3回)職員会議・土曜職員朝会で生活指導・教育相談・心身障害児の問題・指導について協議し、共通理解を図る。

7. 本年度の研究主題

学習意欲を高める指導法の研究(理科)

8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴ない、新しい建築様式により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変したが、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものも多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

本年度は特に、心身ともに健全な児童の育成をめざし、望ましい基本的行動様式の習慣化・定着化をめざし、指導の徹底を図るため「みんななかよし、楽しい学校をつくります」を重点目標にとり上げた。さらに具現化させるため、学級の日や学校行事では体力づくり・運動会・音楽会・演劇教室や兄弟学級による教育活動を設定した。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究を主題に校内研修活動に力を入れ、自主協力学習を進めていく。
- 火曜日に学級の日を設け、児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践していく。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、ミニハイキング・七夕行事等を通じ、最後までねばり強い活動を推進させる。
- 体力調査を基に、児童が自分の目標をもって、最後までねばり強く挑戦する児童を育成する。

9. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	研究員	開発委員	道徳助言研	研究生	海外波遣
1		上山洋一郎 (42道徳)	北野 義昭 (60図工)	上山洋一郎 (42・44)	信夫 清彦 (57体育)	上山洋一郎 (48ヨーロッパ)
2		信夫 清彦 (54体育)				信夫 清彦 (60アメリカ)



学 校 名 日野市立日野第六小学校
 所 在 地 日野市多摩平3-21
 電 話 0425-81-4686・0366
 順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩13分
 京王バス 小西六裏門下車3分
 児 童 数 男295名 女323名 計618名

校長氏名 清水七郎

教頭氏名 増賀従男

1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童1年～3年
7学級263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名
教職員21名
- 9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2.21 校歌の発表会
- 昭43. 2.22 児童の体力づくりの研究発表会
- 6.19 南校舎(普通教室11、職員室、
校長室)完成
- 昭45. 2.28 屋内体育館完成
- 3.16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭47. 2.28 正門前舗装、北西門取付
- 3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表(市研究協力校)
- 4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、
音楽室、管理室4)
- 5. 南門完成
- 10.26 給食調理室増改築完成
- 昭50. 3.18 49年度都愛鳥モデル校に指定
- 6.28 開校十周年を祝う会
- 12.22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける(永年選挙ポスター
コンクールに協力したため)
- 昭52. 1.10 体育倉庫完成
- 4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭56.11.18 六小こどもまつりの実施
- 昭58.11.26 展覧会開催(昭和42年以来16
27年ぶり)

- 昭58. 3.～ 体育館屋根等の塗装、大プール
ビニール張り、南校舎内装改修
- 昭59. 7. 北校舎廊下の張り替え
- 8. 中庭の舗装及び排水溝の整備
- 昭60. 3. 小プールのプールサイドモルタル
舗装改修
- 昭61. 9. 北校舎窓枠交換工事完成
- 12. 校庭南側生垣完成
- 昭62. 7. 飼育小屋の改修
- 昭63. 3. 体育館に体育倉庫と便所を増設

2. 歴代校長氏名

氏名	年月～年月
加々美良英	昭40. 4. 1～昭43. 3.31
峰岸敬次郎	昭43. 4. 1～昭46. 3.31
新海 圭三	昭46. 4. 1～昭50. 3.31
安積 利治	昭50. 4. 1～昭53. 3.31
光永 久夫	昭53. 4. 1～昭57. 3.31
石井 三士	昭57. 4. 1～昭62. 3.31
清水 七郎	昭62. 4. 1～現在

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、次のような児童の育成を旨とする。

- 身体と心をきたえる子
- 考えながら学ぶ子
- みんなと仲よくする子
- がんばりぬく子
- 進んで働く子

○生きものを大切にする子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 本年度の重点目標を「考えながら学ぶ」「進んで働く」とする。

教育活動全体にわたって有機的関連を図り目標達成に努める。

イ. 児童の個性と能力に応じた教育活動ができるように、学年学級経営の充実をはかる。

ウ. 効率の高い教育活動を展開を図るために、協力教授組織「ふれあう授業」の実践をすすめ、教師の研修・研究の充実を推進する。

エ. 知・徳・体の調和のとれた児童の育成をめざして、子どもたちが主体的に活動できる場の設定をはかる。

オ. 開かれた学校を目ざして、児童・教師・父母の交流と、地域との連携をはかる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○「考えながら学ぶ」子どもを育成するために、授業研究「自から学ぶ子どもを育てる指導法」を追求する。

○子どもたちのつまづきをなくす授業を学年を中心に研究していく。また、基礎学力の充実をはかる。

イ. 道徳

○心ゆたかで、助けあい、認めあう、人間関係の育成をめざす。

○進んではたらき、最後までがんばる態度の育成をはかる。

○生命の尊厳についての意識を育てる機会を多くする。

ウ. 特別活動

○児童会活動を楽しい学校・規律ある生活をめざす児童の主体的な場とする。特に委員会活動、学級会活動との関連を重視する。

○学習集団の活動を育成し、進んで働けるような場を多くする。

○たのしいクラブ活動をめざし、児童の主体的な活動を大切にする。

(2) その他の活動

○たてわり集団を組織し、異年令集団における助け合いや遊びの機会を多くする。

○児童の創意を大切にし、自発的に参加できる行事を企画する。

(3) 生活指導・進路指導

○がんばりぬく力と進んで働く態度を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着をはかる。

○児童の個性を理解し、ひとりひとりの心身の発達に応じた指導をはかる。

○心身に障害のある児童に対し、共通理解をはかり、学校全体で見守り、育成にあたる。

6. 本年度の研究課題

今年度授業研究のテーマを「自ら学ぶ子どもを育てる指導法の研究」と定め、国語科を通し一人一人の児童の読む・聞く・話す力を深める研究をすすめていく。又日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取組んでいく。

7. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴なって新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「ふれあう授業」として、協力教授組織を導入した指導を試みている。
- (6) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を旨としている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	現 代 化 委 員	文 部 省 中 央 研 修	開 発 委 員
1	清水 七郎(47・学校経営)	清水 七郎(49・教育方法)	清水 七郎 (50)	難波 和子(63・家庭)
2	伊勢 恒二(59・社 会)	越智 忠司(53・音 楽)		
3	上田 憲二(62・教育課題)			



学 校 名 日野市立潤徳小学校
 所 在 地 日野市高幡402番地
 電 話 0425-91-0409・0410
 順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分
 児 童 数 男211名 女187名 計398名

校長氏名 石 黒 健 教頭氏名 西 田 敦 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す
- 明 11.11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する
- 明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 42. 5 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする
- 昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭 27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する
- 昭 33. 2 校名を日野市立潤徳小学校と変更
- 昭 34. 4 給食調理室完成
- 昭 37.10 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭 38.11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭 40.12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される
- 昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭 44. 2 屋内体育館落成。
- 昭 44. 9 日野市立日野第八小学校分離開校
- 昭 45. 4 日野市立百草台小学校分離開校
- 昭 46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催
- 昭 46. 4 普通教室9教室、学校図書館増築
- 昭 48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭 49. 4 日野市立南平小学校分離開校
- 昭 52. 4 日野市立程久保小学校分離開校

- 昭 55. 9 校庭整備完了
- 昭 56~57 校舎内の塗装完了
- 昭 58. 2 研究発表会（国語）
- 昭 58. 5 開校110周年記念式典挙行
- 昭 60. 2 研究発表会（全学級公開、国語）
- 昭 61. 8 体育館バスケットゴール新設
- 昭 62. 1 プールのフェンス工事完了
- 昭 62.7~8 家庭科室、音楽室改修工事完成
- 昭 63. 3 プール・シート防水完成、図書室本館に移動・新設
- 昭 63.8~平成 3 外壁、放送室、体育倉庫改修工事完成

2. 歴代校長

代	氏 名	年月～年月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚井 諦暁	明 9.12～明 11.11
3	和田作太郎	明 11.11～明 15.11
4	土方喜久太郎	明 15.11～明 17. 2
5	宮倉保五郎	明 17. 2～明 19.10
6	小宮太之助	明 19.10～明 20.10
7	須崎 和藏	明 20.10～明 31. 3
8	小宮彌一郎	明 31. 2～明 34. 4
9	加藤菊次郎	明 34. 4～明 36. 1
10	佐藤 良輔	明 36. 1～明 42. 4
11	沖倉 与一	明 42. 4～明 43. 4
12	荒木田大夫	明 43. 5～明 45. 3
13	小宮彌一郎	明 45. 4～大 12. 3
14	平 杉藏	大 12. 4～大 13. 3
15	矢沢 久司	大 13. 3～大 14. 9
16	小泉 栄一	大 14.10～昭 3. 3
17	広井 博昭	昭 3. 4～昭 7. 9
18	重松 正顕	昭 7. 9～昭 14. 7
19	鈴木 慶藏	昭 14. 7～昭 22. 2
20	赤坂 元春	昭 22. 2～昭 27. 9
21	塚本 正	昭 27.10～昭 37. 3
22	尾崎半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3

23	塚本 正	昭 41. 4 ~ 昭 43. 3
24	溝呂木桂次	昭 43. 4 ~ 昭 47. 3
25	星野 正男	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
26	村田 守正	昭 51. 4 ~ 昭 55. 3

27	黒沢 保雄	昭 55. 4 ~ 昭 61. 3
28	篠宮 忠男	昭 61. 4 ~ 昭 62. 3
29	石黒 健	昭 63. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するにいたった。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

- | | | |
|---|---|---------|
| 敬 | 愛 | ○考える子 |
| 自 | 由 | ○はたらく子 |
| 勤 | 労 | ○心ゆたかな子 |
| | | ○健康な子 |

学校の教育目標を達成するための基本方針

人間尊重の精神に徹し、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざして、教育目標を達成するために特に「自主的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 児童の実態に即して具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化をめざして学年・学級経営を充実する。
- ② 教育活動全体を通して、児童が主体的・能動的に参加できるように配慮する。
- ③ 児童が主体的に学習する能力の育成をめざし、授業研究を推進する。
- ④ 保護者、地域との連携を深め、教育内容の充実につとめると共に開かれた学校をめざす。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ① 児童ひとり一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的基本的な内容の徹底を図る。
- ② 地域の自然や文化を生かした体験的学習をとり入れ、自ら生きる力を育てる。
- ③ 自主的・意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

イ. 道徳

- ① 教育活動全体を通して、生命尊重・他を思いやる心・基本的生活様式の定着を重視した指導を推進する。
- ② 道徳の授業の充実を図り、道徳的实践力を育てる。
- ③ 児童相互・児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ. 特別活動

- ① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。
- ② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

(2) その他の活動

- ① 学年を越えたたてわりの交流により、社会性や連帯感を育てる。
- ② 奉仕・勤労体験の活動の場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。
- ③ 「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- ④ 地域の豊かな自然や文化に親しませ、自然や文化を大切にする態度を育てる。
- ⑤ 海外帰国児童を温かく受け入れ、国際理解の教育をすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

- ① 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にする。
- ② 教師と児童との信頼関係および児童理解にもとづき、児童の個々に応じた指導に努める。
- ③ 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る。
- ④ 児童の健康に安全を確保し、危険防止に努める。
- ⑤ 父母および地域との連携を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究(体育)

7. 本校の特色

創立116年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集団住宅に住む父母等があり、教育に対する関心や意識が多様である。

- 保護者、地域との連携を強め、教育力を高め、児童の健全育成につとめている。
- 一つ一つの教育活動、経営の意義を全職員で共通理解し、教育目標の具現化につとめている。
- とくに本年度は、教育目標の「心ゆたかな子」「健康な子」に重点をおいた校内研究及び生活指導を推進し、教育目標の具現化につとめる。

8. その他(教職員の研究歴)

研 究 生	開 発	そ の 他
石黒 健(50 体育)	西田敦子(60 家庭)	西田敦子(57 海外派遣)



学 校 名 日野市立平山小学校
 所 在 地 日野市平山4-8-6
 電 話 0425-91-4123・0512
 順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
 児 童 数 男281名 女269名 計550名

校長氏名 蓮池守一 教頭氏名 土方邦男

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい修業年限は8カ年）
- 明 17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める。
- 明 35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
- 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
- 昭 38.11 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
- 昭 42. 5 平山4-8-6に移転する。
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学校は浅川の南側の地区となる。
- 昭 53. 4 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する。
- 昭 57. 8 校舎窓、屋上、体育館内部補修
- 昭 58. 5 開校110周年祝賀式典挙行
- 8 本館南側残部 特別教室北側窓取替
- 昭 59. 1 本館北非常用階段設置
- 11 体育館外壁改修
- 昭 60. 3 第二幼稚園移転校庭拡張
- 8 教室廊下側窓改修
- 昭 61. 7 正門改修
- 昭 62. 1 校庭整地
本館北側窓アルミサッシに改修
工事 本館防火シャッターおよ

び扉改修工事 本館外壁全面塗装工事

昭 63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入口増設工事

2. 歴代校長

代	氏 名	年月～年月
初	梁 義 伯	明 6. 5 ～明 12. 1
2	大 沢 教之助	明 12. 1 ～明 20. 3
3	石 井 芳 丸	明 20. 4 ～明 30. 5
4	吉 永 信 丸	明 30. 6 ～明 35. 5
5	小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～明 45. 3
6	古 屋 障 司	明 45. 4 ～大 2. 5
7	勝 又 房太郎	大 2. 5 ～大 4. 5
8	平 杉 蔵	大 4. 6 ～大 9. 3
9	上 田 富 弥	大 9. 4 ～大 15. 3
10	杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～昭 6. 3
11	石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～昭 11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～昭 13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～昭 21. 3
14	飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～昭 22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～昭 28. 3
16	森久保 惣 治	昭 28. 4 ～昭 34. 3
17	高 橋 本 義	昭 34. 4 ～昭 37. 3
18	加々美 良 英	昭 37. 4 ～昭 40. 3
19	後 藤 正 太	昭 40. 4 ～昭 42. 3
20	安 積 利 治	昭 42. 4 ～昭 47. 3
21	小 野 晁	昭 47. 4 ～昭 51. 3
22	深 沢 真 人	昭 51. 4 ～昭 55. 3
23	林 元 美	昭 55. 4 ～昭 58. 3
24	伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～昭 61. 3
25	蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～現在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地もいづらか残り自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地、都営住宅、造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき、特に人間尊重の精神を基調に知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

*個性・自主性の育成 *基礎学力の充実 *判断力・実践力の育成

○すすんで学び やりぬく子

(自ら学ぶ意欲をもち、失敗や障害を乗り越えて主体的に生きる力)

○思いやりをもち 助け合う子

(自らをみつめ、他を思いやる心と自然や物、人を大切にす態度)

○からだをきたえ 元気な子

(自他の健康・安全に努め、すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力)

なお本年度は「すすんで学び やりぬく子」の育成を重点とする。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

児童一人ひとりが、個性・能力を發揮し、自己の目標に向かって主体的に行動する意欲と、最後まで粘り強くやり抜く実践的な態度を育てるための教育課程の編成と実践に努める。

- 強い意志と丈夫な体力づくりをめざし、児童が自ら目あてをもって、継続的に取り組める指導法の工夫と環境整備に努める。
- 自ら進んで学習する態度を養い、各教科等における基礎的・基本的内容を確実に身につけさせるために、教材研究を深める学年会を重視する。
- 集団の一員としての自覚を高め、児童の自主的・実践的態度を身につけさせるために特別活動や、その他の体験活動を充実し、変化に富んだ魅力ある学級、学校づくりをめざす。
- 教育活動全体を通して、自然や人との触れ合いを深め、人権尊重の教育と、思いやりのある心の教育の充実を期していく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 児童一人一人の基礎学力の定着をめざし発達段階・個に応じた指導法の研究に努める。
- 児童自らが考え、課題に向かって努力していく主体的学習の開発に努め、思考力と探求的態度を育てる。
- 指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。

イ 道徳

- 教育活動全体を通して、思いやりと自己抑制力をもった、心の教育に努める。
- 社会の一員としての役割を自覚し、相互に認め合い、協力しあっていく実践的態度を身につけさせる。
- 基本的行動様式の定着化と、社会生活規範の確立に努める。

ウ 特別活動

- 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校づくりをめざす。
- 児童の主体性・創意性を生かした委員会活動、クラブ活動を通して自主的、実践的態度を

育てる。

(2) その他の活動

- 児童が主体的・創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
- 学級の時間を設定し、教師と児童、児童相互の触れ合いを通して、人間関係を深める。
- 地域の特性を生かした勤労体験学習の機会と場が持てるようにする。

(3) 生活指導・進路指導

- 学習・規律・遊びの三分野にわたって、生活の基本目標を学年ごとに立て、基本的行動様式と社会生活規範の確立を図る。
- 自己を確立し、社会・集団の一員として、希望を持って、明るく強く生きる力を、身につけさせる。
- 日常の行動の中で、正しく判断し、行動できる子ども、友達を大切にする子どもを育てる。
- 生命尊重・人間尊重の精神を基本とした、安全教育に努める。

6. 本年度の研究主題

国語科作文指導を通して「生活を見つめ考える力」を育てる指導法の開発研究

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校 110 余年の歴史と伝統をもつ学校である。児童の中には曾祖父母、祖父母、父母と 4 世代にわたって在校した者もある。学校周辺の開発が進み新しく居住する者も多い。したがって地域からは多様な要望が多く、また、期待も大きい。この中で古き良きものを大切にし、新しさを求め、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。「最後までやりぬく子」を、教育目標に定め教育をすすめている。
- (3) 校内には、130㎡余りの広い花壇がある。これを最大限に生かし、情操豊かな児童の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 生	研 究 員	海 外 派 遣
1		蓮池 守一（46 教育法）	蓮池 守一（43 社会）	蓮池 守一（62 アメリカ）
2			加藤 和俊（57 理科）	
3			港 澄江（59 国語）	
4			松尾けさ美（62 学校保健）	



学 校 名 日野市立日野第八小学校
 所 在 地 日野市三沢200
 電 話 0425-91-2411・2412
 順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩15分
 児 童 数 男283名 女305名 計588名

校長氏名 草 莉 和 志 教頭氏名 江 口 耕 一

1. 沿革の概要

- | | |
|--|---|
| <p>昭 44. 1. 2 開設が決定 工事に着手</p> <p>4. 1 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始</p> <p>8.16 日野第八小学校開校
校長 金子武夫 教頭 長井新次郎着任
教諭16名 事務主事1名が補せられる</p> <p>9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う</p> <p>11. 1 開校式を挙行 開校記念日と決定</p> <p>11.25 校舎落成祝賀式挙行</p> <p>昭 45. 1.15 公募により校章決定</p> <p>4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築</p> <p>7.15 校旗ができる</p> <p>7.16 25m6コースのプールが完成し、プール開きを行う</p> <p>9. 7 校歌完成 作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人</p> <p>昭 46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築</p> <p>6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する</p> <p>9.15 体育館工事着工</p> <p>昭 47. 2.15 体育館落成式を挙行する</p> <p>4. 1 プレハブ2教室増築
プレハブ5教室使用</p> <p>6.20 西武百草団地入居のため250名の児童転入</p> <p>昭 48. 3. 本校舎8教室の増築完了</p> | <p>昭 48. 5. 校地前程久保川の工事完了</p> <p>昭 49. 3. 1 校門が完成</p> <p>4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用</p> <p>8.15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用</p> <p>9.10 都水道に切替え</p> <p>昭 50. 1.20 校地拡張 西門整備完了</p> <p>2.20 第3期増築完了 普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板</p> <p>7.15 プール市水切替工事完了</p> <p>10.25 体育館床塗替え</p> <p>12.20 砂防(10×8m)完成</p> <p>昭 52. 4.16 プレハブ教室、調理室改修工事完了</p> <p>昭 53. 4.15 プレハブ2階建工事完了
教室8、図書室、音楽室として使用</p> <p>昭 54. 3.31 プレハブ2階建 2教室増築工事完了</p> <p>11.17 開校十周年記念式典</p> <p>昭 55. 3.31 三沢台小学校を分離
プレハブ全教室を撤去</p> <p>昭 57. 9.10 運動場全面改修完了</p> <p>昭 59. 8.31 防球フェンス(5×90m)完成
図書室(2教室打抜き)完成</p> <p>昭 60. 9.26 花壇防球フェンス(5×35m)完成
花壇増設(5×1.5m, 3ヶ所)
プール更衣室通路舗装</p> <p>昭 61. 3.24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了</p> <p>8.27 体育館照明設備新設</p> |
|--|---|

昭 62. 1. 31 プール機械室改装
平 元. 3. 31. プール浄化装置改修

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
金子 武夫	昭 44. 8 ～ 48. 3
岡本 省吾	昭 48. 4 ～ 53. 3
古谷 洋太	昭 53. 4 ～ 58. 3
澁谷 義一	昭 58. 4 ～ 63. 3
草薊 和志	昭 63. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲がりくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、次のような子どもを育成する。

- ア. 健康でたくましい子
- イ. 深く考えやりぬく子
- ウ. 美しい豊かな心の子
- エ. 力をあわせはげみあう子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、互いに尊重し合う教育を推進する。
- イ. 全教育活動を通して、強い心やたくましい体力をやしなうように努める。
- ウ. 日々の授業の充実を図るために、学年会や教科部会など組織を生かした教育の実践に努める。
- エ. 家庭・地域との連携を深め、地域の実態にそくした教育活動を工夫するように努める。
- オ. 帰国子女の教育について方策を練り、子女の適応指導を進めると共に、児童の国際理解を深める。
- カ. いじめの問題が起こらないように、ひとりひとりの心を大切に、児童理解に基づいた学級経営の実現に努める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材を精選し、基礎的・基本的事項が身につくように指導法の工夫を図る。
- 学習課題をつかみ、課題追求の方法を工夫し、調べたり結果をまとめたり、考えを深めたりする学習方法を身につけさせ、学ぶ喜びを知らせ、学ぶ意欲を高めさせる。

イ. 道徳

- 人として生きるための基本的行動様式を身につけさせ、正しい判断力、実践力を高めさせる。
- 自然を愛し、学校、郷土を愛する心を育てる。

ウ. 特別活動

- 生きる喜びを味わわせるために、指導計画の見直しを常に行い、児童の創意工夫を生かせるようにする。
- 児童を学級会活動やクラブ活動等に積極的に参加させ、自主性、自発性を育てると共に望ましい集団の育成を図る。

(2) その他の活動

- 異年齢集団による諸活動で連帯感、責任感を育てる。
- 特別活動との関連を密にし、練習、結果、交流の場を設け、所属感、充実感、成就感を持たせる。
- 帰国子女の教育について、講師や担任が連携すると共に、国際理解のための行事を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 正しいことばづかい、人との接し方を身につけ、物を大切にすることを育てるため、次の事項を重点指導する。

- 積極的にあいさつをする。
- 友だち間のことばづかいの乱れを直し、話をきちんとする。
- 整理整頓、持ち物に記名をする。

イ. 全教育活動を通し、個性を伸ばすように努める。また、勤労意欲を高める指導内容を工夫する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」— 国語科

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。そこで、広い意味での教育環境づくりに力を入れている。
- ② 教師手づくりの各種遊具を使用しての体育活動や遊びを通して、子どもの体力づくりや創造性を伸ばしている。
- ③ 4・5・6年の男女児童の特別サッカークラブ員が、早朝と放課後、教師の指導のもと練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、健全育成の面で効果をあげている。
- ④ 昭和60年5月に東京都帰国子女教育推進校に指定された。主として中国引揚げ子女の適応指導と日本語習得指導を行っている。平成元年4月現在、5名の子女が在籍している。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	研 究 員
1		草苺 和志(49・国)
2		江口 耕一(53・特活)
3		上野 森良(49・国)
4		長沼 正幸(58・理)
5		石岡 房子(63・国)



学 校 名 日野市立百草台小学校

所 在 地 日野市百草999

電 話 0425-91-0997・0998

順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
百草センター下車 徒歩 5 分

児 童 数 男 294 名 女 282 名 計 576 名

校長氏名 草 刈 喜 一

教頭氏名 鈴 本 利 恵 子

1. 沿革の概要

- 昭 44. 8. 2 校舎新築起工
- 12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始
- 昭 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する 学級数 8、児童数 118 名、教職員 16 名、市職員 3 名
- 6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記念日とする
- 9. 1 児童数 296 名、学級数 11、教職員 17 名となる
- 昭 46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3 月 8 日を制定記念日とする
- 4.30 校舎北側の埋立工事完了
- 7.31 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室機械室竣工
- 12.15 体育館新築工事着工
- 昭 47. 2.12 調理室火入れ式、調理開始
- 6.17 体育館新築工事着工
- 昭 48. 9.26 校舎新築工事開始
- 昭 49. 3.31 増築 7 教室竣工
- 昭 51. 3.20 増築校舎完成 普通教室 9、図工室 1
- 昭 54. 5.31 開校 10 周年記念式挙行 記念誌、タイムカプセル作成
- 10.31 校庭南側の階段上に正門落成
- 昭 4. 1 学区域変更により、梅が丘団地が本校学区に編入される
- 昭 58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
- 昭 58. 9. 7 校庭改修工事完了
- 昭 61. 4. 3 小プール底改修工事完了

- 昭 62. 3.19 校庭西門改修工事完了
- 昭 63. 2. 8 本校舎南面外壁修理及び塗装
- 昭 63. 6.25 A V 卓設置工事完了
- 9.10 外壁塗装工事完了
- 平 1. 2.21 プール管理棟外壁修理塗装完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
岡本 省吾	45. 4. 1 ~ 48. 3.31
村田 安正	48. 4. 1 ~ 51. 3.31
田中 春男	51. 4. 1 ~ 55. 3.31
竹内 音治	55. 4. 1 ~ 58. 3.31
志賀 頼治	58. 4. 1 ~ 59. 9. 8
村松 徹二	59.10. 1 ~ 63. 3.31
草刈 喜一	63. 4. 1 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された、百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市外に続いて立川まで一望することができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都塵をさけたリクリションの人々でにぎあう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

公教育の観点にたつて、児童の実態をふまえ、これからの時代に生きていくために、

身につけなければならない目標として下記の4つの教育目標を設定した。

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 基礎的・基本的内容を身につけ自らよく考え行動できる児童を育成することを最重点とし、日々の授業を大切に児童自らが主体的に取り組める楽しい授業の創造を図る。
- ② 強い心と体を育てるため学校教育のあらゆる場を通し、意図的、計画的に児童自らが鍛える場を設定する。
- ③ 児童一人ひとりに集団の一員としての自覚と、社会生活の原則を理解させ、秩序ある学校づくりを図る。
- ④ 児童の豊かな心情を育てる上に大切な環境の美化と整備を図る。
- ⑤ 教育目標を総合的に達成するために創意を生かした教育活動の充実を図る。
- ⑥ 家庭・地域に教育目標を深く理解させるとともに、地域社会の一員としての資質を培うことを目指し、学校・家庭・地域の連携を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童自らが意欲的にとりくむ学習をめざして

- 創意ある発問や課題の提示をはかる。
- 体験や行動をとり入れた学習を大切にしていく。
- 教材や教具の活動をはかる。
- 教職員の協力による授業研究をすすめる。

イ. 道徳

道徳の時間だけでなく、学校生活全体の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの子どもの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる。

ウ. 特別活動

- 児童の創意や発想を大切に、児童が自発的に参加する学年の行事を積極的に企画推進する。
- 児童会役員を中心とし、児童総会、代表委員会、学級会、各種委員会など相互に連絡協力し合わせることによって、指導効果を高める。

(2) その他の活動

- 月曜日5校時(1、2年生)、6校時(3年生以上)を学年学級を中心とした創意ある教育活動の時間とし、学年または学級内の協力による児童の自主的な活動をすすめる。
- 隔週木曜日の6校時(必要に応じて5校時)を全校児童を対象とした創意ある教育活動の時間とし、ゆたかな人間性の育成を旨とする児童の自主的な活動をすすめる。
- 体力増強に力を入れ、児童自らが自分の目標をもって達成への努力を重ねるようにしむける。

(3) 生活指導・進路指導

- 学校全体を通して集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある安全な生活と協力の心を育てる。
- 学校環境の美化、清掃活動への積極的参加をとおして、公共物を大切にする態度や勤労の精神を養う。
- 基本的生活習慣を身につけさせ、より良い社会人となることをめざす。
- 指導を一過性のものとせず、評価と見届けを大切に、成就感、満足感を味わわせるとともに、定着化をはかる。
- 児童の自主的・自発的活動を通して個性豊かな人間としての成長をはかる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の研究」

—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

在学児童のおよそ90パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

特色ある行事

○仲よし遠足

1～6年の児童をたてわりグループにし、それぞれグループ毎に徒歩遠足をする。

○もぐさ祭り

児童会主催の活動で体験的学習を十分取り入れた行事である。

8. その他（教職員研究歴）

No.	内訳	研究員
1		草刈喜一（51. 給食）
2		鈴木利恵子（59. 国語）
3		玉置順子（61. 給食）



学 校 名 日野市立滝合小学校
 所 在 地 日野市西平山2-3-1
 電 話 0425-83-5172・5173
 順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
 児 童 数 男377名 女371名 計748名

校長氏名 有 泉 徹 郎 教頭氏名 酒 井 義 明

1. 沿革概要

- 昭44. 12.26 敷地購入（仮称第11小学校）
- 昭46. 3.31 南校舎（A棟）完成。プレハブ校舎仮設使用
- 4. 1 日野市立滝合小学校開校
20学級編成・教職員27名
市職員6名
- 4. 6 第1回入学式・始業式
- 4.30 運動場体育固定施設の設置
- 5.30 北校舎（B棟）完成
- 6. 1 開校記念日
- 6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
- 6.30 給食室竣工
- 7.20 プール竣工
- 10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
- 12. 1 校章、校歌制定
- 昭47. 1.21 エルサドバドル国教育局次長視察
- 2.20 体育館・校内通路完成
- 2.25 落成式
- 3.25 第1回卒業式（卒業生78名）
- 昭50. 2.18 体力作り研究発表
- 4. ～ 校庭植樹250本
- 昭51. 8. 動物園完成
- 3. 旭が丘小分離（児童201名）
- 4. 校庭内に学童保育所完成
- 6. プール補修工事
- 昭53. 9.26 校庭全面整備完了
- 11. 排水工事・避難設備完了
- 昭58. 8. 中庭舗装排水工事完了
- 昭59. 8.30 給食室タイル・壁修理完了

- 昭61 5. 6 体育館内工事完了
- 昭62. 1.29 プールシート防水加工工事完了
- 昭62. 2. 6 シューティングボード工事完了
- 昭62. 8.31 A棟外装工事完了
- 昭63. 8.31 B棟外装工事完了、校庭南側フェンス移設工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
峰 岸 敬次郎	昭46. 4 ～ 50. 3
鈴 木 英 夫	昭50. 4 ～ 53. 3
梅 田 茂	昭53. 4 ～ 56. 3
鈴 木 敏 郎	昭56. 4 ～ 59. 3
野 口 昭 平	昭59. 4 ～ 62. 3
有 泉 徹 郎	昭62. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等ものこる田園の中に位置している。小鳥さえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつあり、児童数は多く、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、東京都教育委員会の基本方針の人間尊重の精神を基調とし、日野市教育委員会の生涯教育をふまえ、地域の特性や児童の実態を考え、下記の目標をめざして行う。

- ア. 健康でたくましい子ども（体と心の健康）
- イ. 勉強に努力する子ども（本気で取り組み、根気よく努力）
- ウ. 進んで協力し実行する子ども（心のふれ合いと友情の育成）
- エ. 生きものを大切に作る子ども（思いやりと信頼）
- ・学校の教育目標を達成するための基本方針
学習指導要領の改訂をひかえ、低学年における教科の編成の改善や各教科等の改善方針をたてながら、ゆとりある授業や指導の充実に努める。
 - ア. 基本的生活習慣・自主的な生活態度についての教職員の共通理解を広げ、相互指導体制により児童の指導にあたる。
 - イ. 教育目標を日常の指導に生かしていくために、学年・学級の実態、児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、日々の実践活動を進める。
 - ウ. 学習指導に際しては、立案・反省を確実に言い指導法を工夫する。児童に学習課題をつかませ、その課題解決指導にあたっては、ひとりひとりを生かす授業の展開に努める。
 - エ. 個々の教師の特性を生かし協力的で創意ある活動を充実し、学年・学級経営を推進する。
 - オ. 保護者や地域の意見・要望を生かすとともに、学校教育について正しい理解を得るように努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 児童の実態に即し、計画を密にした指導を進め、各教科の目標をふまえて、基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- 2) 児童の主体性を尊重し、自ら学ぶ意欲と態度を養うとともに、ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた授業により豊かな人間性を育てる。
- 3) 児童一人ひとりの能力や個性を大切に、学習グループを取り入れ、それを生かした指導の実現をめざす。

イ. 道徳

- 1) 人間尊重の精神に基づき、思いやりのある心と自らを厳しく律する強い意志と態度を育成する。
- 2) やさしい心を持って動植物はもちろんのこと、広く自然を愛護する気持ちを培う。

ウ. 特別活動

- 1) 児童の自主性・創造性を高め、活発にさせ、ひとりひとりの積極性を重視して、感動と喜びのある児童活動を行う。
- 2) 学校・学年・学級としての連帯感を高めるために実施計画を作成し、協力し合いながら実践していく。

(2) その他の活動

- 1) 創意ある教育活動を充実させるため、学年・学級で体験学習等を計画し、目標達成に努める。
- 2) 委員会活動、クラブ活動や集会活動を実施し、学校生活のいっそうの充実をはかり、特別指導・保健指導との連携を密にしていく。
- 3) 学校の教育環境の整備・美化を積極的に進めながら、勤労の精神を養う。

(3) 生活指導・進路指導

- 1) 基本的な生活行動様式や規律ある生活態度の充実をはかりながら、家庭と密接な連絡をとっていく。
- 2) 自他の長所や短所を見つけ出し、お互いに認め合いながらよりいっそう個性を伸ばそうとする意欲を高める。

6. 本年度の研究主題

児童の学習意欲を高めるための指導法の研究

昨年度は表現・体験・算数の3分科会を設け分科会内での研究が中心であった。本年度は、その上に立って分科会相互の有機的なつながりを保ちつつ、全体で研究協議し、課題を探究的に追究していくための授業研究(全体会)の充実を図る。

7. 本校の特色

校地面積21391という恵まれた校地の中に一周200mのトラック、バスケットコート二面、二の字形にならんだ校舎、周辺部に動物園、花だん、プール、体育館があり、おちついた空間を作っている。

校庭に作られた、児童・職員の労作による古材利用の遊具、滝合峠・ピョンピョン丸太・世界一周や、固定施設(砂場・遊び山・シーソー・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・登り棒・雲梯・鉄棒・回転シーソー・タイヤ群)は、本校を象徴するものであり、児童の体力向上に役立っている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。父母の学校教育への理解は深く、きわめて協力的である。学校行事には、積極的に取り組み、大いに内容を盛り上げている。交通安全指導にはPTAと協力して主体的に計画実施するなど、学校と家庭との連携の協力の実を上げている。

8. その他(教職員の研究歴)

No.	氏名	研究員	開発委員
1	有泉徹郎	(54国語)	林 亀 三 (63体育)
2	酒井義明	(50へき地教育) (56社会)	
3	石川成子	(52家庭)	
4	岡本美治	(56へき地教育) (62図工)	
5	林 亀 三	(57体育)	
6	岡本美治	(62図工)	



学 校 名 日野市立高幡台小学校
 所 在 地 日野市程久保550
 電 話 0425-91-7011・7012
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
 5分 高幡台団地下車
 児 童 数 男270名 女240名 計510名

校長氏名 小 泉 宣 夫 教頭氏名 渡 邊 健 一

1. 沿革の概要

昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
 昭47. 3.10 日野市立高幡台小学校として開校
 鉄筋三階建校舎 普通教室12、特別教室4、特別室9、学級数12、児童402名、教職員18名、市職員2名
 5.27 高幡台小学校PTA設立総会
 6.24 開校式
 本日を開校記念日とする
 8. 1 プール完成、プール開き挙行
 昭48. 2.24 校旗、校歌制定
 3.24 第1回卒業式
 卒業生 1学級33名
 10. 6 体育館落成式、体育選手模範演枝
 昭49. 3.25 第2回卒業式
 卒業生 2学級46名
 4. 1 第一期増築工事完成
 普通教室9、図書室1、職員室改造工事
 昭50. 3.25 第3回卒業式
 卒業生 2学級55名
 昭51. 3.25 第4回卒業式
 卒業生 2学級63名
 昭52. 3.25 第5回卒業式
 卒業生 3学級97名
 昭53. 3.25 第6回卒業式
 卒業生 3学級78名
 4. 1 第二期工事完成
 普通教室9、教材3
 昭54. 3.24 第7回卒業式

卒業生 3学級98名
 昭55. 3.25 第8回卒業式
 卒業生 3学級108名
 昭56. 3.25 第9回卒業式
 卒業生 3学級116名
 昭57. 3.25 第10回卒業式
 卒業生 3学級127名
 昭58. 3.25 第11回卒業式
 卒業生 3学級109名
 昭59. 3.31 非常階段(旧館)完成
 昭59. 3.25 第12回卒業式
 卒業生 3学級137名
 昭60. 3.25 第13回卒業式
 卒業生 3学級134名
 昭61. 3.25 第14回卒業式
 卒業生 3学級120名
 昭62. 3.25 第15回卒業式
 卒業生 3学級109名
 昭63. 3.25 第16回卒業式
 卒業生 2学級84名
 平成. 3.25 第17回卒業式
 卒業生 2学級91名

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
平 松 健太郎	昭47.4.1～50.3.31
手代木 和 夫	昭50.4.1～54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～58.3.31
津野田 昭 二	昭58.4.1～62.3.31
小 泉 宣 夫	昭62.4.1～ 現在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- あたたかい心で、助け合う子ども (た)たすけあう子
- よく考え、自分からすすんでやりぬく子ども (か)かかんがえる子
- 働くことのすばらしさを身につけた子ども (は)はたらく子
- 健康で明るい子ども (た)たくましい子

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① よく考え、自分から進んでやりぬく態度を養うため、指導の方法を工夫し、わかりやすく楽しい授業をめざすとともに、生涯にわたる学習の基礎的・基本的事項を確実に身につけさせる。
- ② 本校児童の実態をふまえ、日常の児童活動の活発化をはかり、自主的・自律的な態度を養う。
- ③ 教育活動の全体を通して、人権、人命の尊重に徹し、人の立場を理解し、お互いに認め合う心を育てる。
- ④ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年・学級経営の充実を図る。
- ⑤ 本校児童の実態をふまえ国語指導の充実を基本にしなが、よく考えやさしく思いやりのある子の育成をめざす。
- ⑥ 保護者、地域との連携を密にし、開かれた学校をめざしながら、教育に対する相互理解を深める。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 教科内容を精選し、ゆとりのある授業の展開につとめ、基礎的・基本的内容を確実に身につけさせるとともに自ら学ぶ力の育成につとめる。
- 国語の文学教材の授業研究を通して、一人ひとりの児童に言語環境への関心をもたせるとともに、豊かな心情を育てる。
- 視聴覚機器利用、資料の効果的利用を通して、児童にわかりやすく楽しい授業の確立につとめる。

イ 道徳

- 集団生活のきまりや望ましい行動の習慣化を図り、公德心等の内面化につとめる。
- 相手の立場を認め、力を合せものごとをやりぬく態度や思いやりを心を涵養する。
- 人や自然を大切に、公共心の育成をはかり、物を大切にする道徳的実践力の涵養に努める。

ウ 特別活動

- 児童活動・学校行事、学級指導相互の関連を図り、児童の自主的・自立的な実践力を育成する。特に、児童活動では日常活動の充実を期し、児童の主体性の育成につとめる。

(2) その他の活動

- 学年を越えた子どものたてわり活動と校外地区班活動の連携を図り、地区児童の異年齢集団の連帯意識を高める。あわせて、学校生活における望ましい人間関係を育成する。

(3) 生活指導・進路指導

- 日常生活に必要な基本的行動様式を身につけさせ、安全で秩序ある学校生活を送らせる。
- 全教育活動を通して、温い人間関係を培い、児童一人ひとりが意欲的に学校生活を送れるよう児童の個性・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。
- 児童理解につとめるとともに、児童が自己の個性を自覚するように教育相談的手法を生かし、児童一人ひとりが、より高い目標に向かって努力する意欲を涵養する。

6. 本年度の研究主題

「文学作品の読み方指導」(国語)

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く較差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがちな傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げることを、また、隣接地域の風になれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

○たてわり活動

たてわりミニ遠足

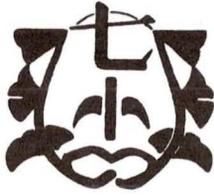
子ども祭り 六年生を送る会

○隣接校(程久保小)との交流

クラブ交流

8. その他(教職員の研究歴)

No.	内訳	都・文部省委員	海外派遣	研究員
1		小泉宣夫 (43都・44)63 文部)	小泉宣夫 (51)	小泉宣夫 (38社会)
2				渡邊 健一 (56 理科)
3				田中順一 (61 道徳)



学 校 名 日野市立日野第七小学校
 所 在 地 日野市神明3-2
 電 話 0425-83-3907・3908
 順 路 JR 中央線日野駅下車 徒歩約10分
 児 童 数 男348名 女334名 計682名

校長氏名 小 幡 建 教頭氏名 片 岡 千寿子

1. 沿革の概要

- 昭48. 4 日野市立日野第七小学校として
開校 12学級 児童384名
トラックを除く運動場全面に洋
芝の植付け
- 6 校章制定
9 校旗制定
12 校歌制定
- 昭49. 3 日野市立日野第七小学校「校舎
体育館落成記念式」及び「校歌」
発表会
3月1日を開校記念日に制定
第1回卒業式 45名卒業
- 4 開校2年めの入学児童77名
- 昭52. 4 開校5年め 入学児79名、13
学級となる。教室不足のため、
プレハブ2教室増設
- 10 校舎の増築工事着工
- 昭53. 4 学級数14となる
- 5 増築工事竣工 普通教室6 図
書室1教室
- 昭54. 4 第7回入学児童93名
15学級となる。職員23名
- 昭55. 4 第8回入学児童111名
17学級となる。職員24名
- 昭56. 4 第9回入学児童128名
転入児童2年以上82名
18学級となる。職員25名
- 昭57. 4 第10回入学児童128名
19学級となる。職員26名
- 昭58. 4 第11回入学児童107名
増築工事竣工、普通教室4、教
材室等3、昇降口、便所
創立10周年記念式典

- 昭59. 4 第12回入学児童123名
昭60. 4 第13回入学児童120名
昭61. 4 第14回入学児童106名
昭62. 4 第15回入学児童103名
昭63. 4 第16回入学児童115名
平 元 4 第17回入学児童120名

2. 歴代校長

	氏 名	年月 ~ 年月
初代	星野 武之	48.4.1 ~ 52.3.31
2代	上野 正彦	52.4.1 ~ 56.3.31
3代	梅田 茂	56.4.1 ~ 58.7.27
4代	和田 国平	58.9.1 ~ 63.3.31
5代	小幡 建	63.4.1 ~ 現在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。本校の所在地は、日野市神明にあり、校舎の周囲は、住宅が建ち始め、昔ほどの緑は眺められなくなっている。

屋上に登ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地をへだてて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には、遺跡が発掘されるという。まことに環境に恵まれた場所に設置されている。

本校の児童の約60%は中央線の線路を经だてた西側の住宅地に居住している。この地域はここ10年余りの間に、旧甲州街道ぞいに急に増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅が主である。尚本校の周囲には、大学、市庁舎、消防署等、子どもが学習するに最適の地域として恵まれている。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の

登校時刻と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、

交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神を基調とした心身共に調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を定める。

- 自分の力で考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす子
- じょうぶな体をつくる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校生活全般を通して、思いやりのある心、活力に満ちた行動、態度を培うと共に、児童の個性や能力に応じた教育活動をすすめ、児童・教職員が互いに啓発しあい、父母及び地域の協力のもとに学校の教育目標の具元化につとめる。

- 1) 学校の教育目標に基づく学年・学級の目標を設定し、児童の実態に即した学年・学級経営の充実を図り集団のモラルと質を高める。
- 2) 心身ともに健康で、たくましく生き、互いに心のふれあいを大切にすることを通して、心豊かな思いやりのある児童の育成を図る。
- 3) 生涯学び続ける児童の育成を目指し、そのために各教科等の基礎的・基本的内容及び個性・能力に応じた指導を推進する。
- 4) 道徳教育の充実を図り、心の教育の推進と共に自律心を育てる。
- 5) 地域に根ざした教育活動を通して「心のふるさと」となる学校・郷土の形成者としての資質を養う。

5. 本年度の指導の重点

本年度の焦点目標「思いやりのある子」

(1) 各教科・特別活動

ア. 各教科

- 基礎的・基本的事項を身につけさせるために、学習指導の充実をはかる。
- 児童が自ら学ぶ学習活動のあり方をくふうする。
- 授業の充実をめざし、教育環境の整備に努め、活用をはかる。

イ. 道徳

- 全教育活動を通し、思いやりの心を育てることによって、人間愛への高揚に努める。
- 道徳時間の充実をめざし、自主・自律・尊敬・感謝・信頼・助け合い・自然愛護・寛容を特に重点項目とした指導を進めるとともに実践力を育成する。

ウ. 特別活動

学級会活動を基盤とし、児童会活動・クラブ活動への一人一人の参加意識を高めることにより自主的・実践的な態度と、思いやりのある心を育て、健康で明るい充実した学校生活をおくらせる。

(2) その他の活動

- たてわり班での活動を通して児童の連帯意識を育てる。
- 特別活動との関連を図りながら、七小児童の一員としての意識を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、相手の立場を考えて行動できる児童の育成に努める。
- 「思いやりのある子」を育てる生命尊重の教育を推進し、児童の健全育成をはかる。
- 校外生活指導の充実をはかるとともに、父母・地域の協力を得、連帯感を高める。
- 小学校・中学校の連携を密にし、生活指導のいっそうの充実をはかる。

イ. 進路指導

- 児童理解に努め、児童が自己の特性を自覚できるように援助する。

6. 本校の研究課題

「思いやりのある子を育てる生命尊重の教育」 — 性教育を通して —

- 七小の性教育の目標を更に明確にして内容を充実させて授業研究をしていく。今年度は、教育過程、指導計画を見直し総合的なプランを考え具現化して行く事にも着手する。
- 低、中、高の三分科会を構成し、授業研究を中心に研究をすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かし学校づくりを進める。知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進めるために、児童、教師相互の交流を創意ある教育活動を通して深めていく。
- (2) 学校環境をより充実させる。学校が整えるべき学習環境及び自然環境充実のため、校外に畑を借り、生産活動を通して勤労意欲を高め、池、学級園を整備し、飼育小屋を改築し動物とのふれあいの場をつくり、環境保全のための全体計画を作成し実施にとりくむ。

8. そ の 他

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員	その他・海外派遣	道徳助言研
1		小幡 建(53・理科)	小杉 博司(61)	小幡 建(57・短期)	片岡千寿子(55.59.60)
2		片岡千寿子(57・給食)			
3		小杉 博司(57・社会)			
4		高橋 智子(63・保健)			
5		居城 文雄(57・教育課題)			



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
児 童 数 男 314 名 女 273 名 計 587 名

校長氏名 石 井 三 士 教頭氏名 末 次 久 利

1. 沿革の概要

- 昭48. 12.27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定
- 昭49. 3.25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、教材室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
総工費220.166万円
敷地面積26.535 鉄筋コンクリート四階建防音校舎4.456㎡
- 5.22 南平小学校PTA設立
- 11.15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
- 11.22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の凶案のもととする
校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行
当日を本校開校記念日として制定する
- 11.29 本校舎へ移転
- 11.30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了

- 昭49. 12.31 体育館完成
- 昭50. 4.30 大・小プール完成
- 昭53. 3.15 校舎3教室増築
- 昭54. 12.21 体育倉庫(プレハブ)完了
- 昭56. 3.27 校舎3教室・図書室増築
9.15 NHK全国学校音楽コンクール東京地区において優良校として受賞
- 昭57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う
- 昭58. 3.31 学校園整備を行う
- 昭59.11.22 十周年記念式典、祝賀会を行う
- 昭61. 8.25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭62.11. 4 体育館照明器具設置
- 昭63. 1.23 体育館屋根塗装
3.19 体育館緞帳改修
3.19 校舎北側万年べいの改修工事
- 昭64. 8.31 家庭科室机新設
12.20 体育館北側防音壁完成

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
黒 沢 保 雄	昭49.4.1～55.3.31
松日楽 敬 治	昭55.4.1～59.3.31
鈴 木 敏 郎	昭59.4.1～62.3.31
石 井 三 士	昭62.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台(なんべいだい)みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下(昔からの唯一の集落)京王線と浅

川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法等の精神に基づき、児童・学校及び地域の特性をふまえ、知・徳・体の調和と統一のある教育をめざして行う。

- 健康でたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 目あてをもってやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 学校や教師の創意工夫を生かし、充実した学校生活の実現を図り、生涯にわたって、学び続ける人間性豊かな児童の育成を目指す。
- 校内研修の一層の充実をはかることによって教師の資質を高め、効率の高い教育活動の展開を図る。
- 道徳教育・体力の向上、健康安全の保持増進を効果的に行うため、環境を整備し、学校の教育活動全体を通して計画的な指導をすすめる。
- 開かれた学校をめざし、児童・教師・父母の心の交流をはかり、信頼を高め、よい校風づくりに励む。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ・児童一人一人が主体的に学習するための指導法の改善を図る。
- ・基礎的・基本的内容を重視し、指導の充実に努める。
- ・児童の発達段階をふまえ、個性や能力に応じた授業の徹底を図る。

(2) 道徳

- ・指導計画に基づき、活動しやすい資料を整備し、指導の充実に努める。
- ・教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活の中で道徳的実践力を高める。

(3) 特別活動

- ・集団の一員としての自覚をもたせ、自主的・実践的な態度を育てる。
- ・児童が積極的に活動し、楽しく参加できる児童活動の充実に努める。
- ・学校や地域の実態を生かした指導計画の改善・充実に努める。

(4) その他の活動

- ・学校や教師の創意工夫を生かし、地域に根ざした教育活動を行い、学校生活に喜びと充実感をもたせる。
- ・田植え、稲刈り、脱穀、いも作り、収穫を祝う会、わら細工等を通して勤労の大切さ、生産の喜びを体験させると共に地域との連携を図る。
- ・水泳、なわとび等を通して耐性や体力の増進をはかる。
- ・一年生を迎える会、六年生を送る会、子供祭り等を通して、自発性、創造性、実践力を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

- ・児童一人一人を大事にし、互いに助け合い、認め合う生活態度を培う。
- ・学校のきまりを守り、基本的な生活習慣を身につけ、充実した学校生活をさせる。
- ・健康で安全な生活に心がけ、清潔で、活気ある学校生活をさせる。
- ・児童の特性を生かし、意欲をもって進学しようとする態度を養う。

6. 本年度の研究主題

今年度の校内研究の主題を「児童が主体的に取りくむ活動の研究 - 体験から学ぶ子どもを育てる - 」と定め、具体的な学習活動や体験に基づく学習を一層充実させ、自主的、実践的な態度を育てる授業研究を行う。

7. 本校の特色

- (1) 本校の児童は、素直で、礼儀正しく落ち着いている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。
- (2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。
- (4) 学校生活の主人公は児童である認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。
- (5) めぐまれた学校施設・設備・校庭の完備、自然条件等、教育環境は、最高である。
- (6) 体験学習を重視している。米づくり、いもづくりを軸として、地域と連携を保ちながら、生産活動を行い、収穫を祝い会、わら細工等を実施している。
- (7) 全校遠足等のたて割り活動を通して、異年令間の役割意識を自覚させ、思いやりの心を育て連帯感を培っている。

8. その他

No.	内訳	研究員	現代化委員・開発委員
1		石井三士 (44国語)	末次 久利 (60算数)
2		末次 久利 (57算数)	武内 忠雄 (59体育)
3		武内 忠雄 (52体育)	
4		井上久美子 (55保健)	
5		太田由紀夫 (63理科)	



学 校 名 日野市立程久保小学校
 所 在 地 日野市程久保1-504-1
 電 話 0425-92-5014・5015
 順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分
 中程久保下車徒歩3分
 児 童 数 男 225 名 女 192 名 計 417 名

校長氏名 三 浦 勝 也 教頭氏名 香 川 善 平

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校に開設準備室を設置 初代 渋谷義一校長就任

4. 1 日野市立程久保小学校開校
 学級数18 児童数652
 教職員26 市職員8

4.21 給食開始

6.28 プール開き

7.15 体育館竣工

10.20 落成式挙行、この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を開く

昭53. 1.19 第1回音楽会を行う

4. 4 学級増によるプレハブ教室設置
 (1教室) 19学級

11. 3 第1回展覧会を行う

昭54. 1.16 校内書初展を行う

11.18 第1回学芸会を行う

昭55. 1.18 体育倉庫竣工

11.11 飼育舎竣工

11.15 第2回音楽会を行う

昭56. 5. 9 全校写生会を行う

11.15 第2回展覧会を行う

12.17 受水槽竣工

昭57. 5.13 校庭フェンス側散水栓着工

5.13 校庭フェンス側散水栓竣工

11.21 第2回学芸会を行う

昭58. 6. 1 校庭砂場新設着工

6.15 校庭砂場新設竣工

11.20 第3回音楽会を行う

11. 4 球技場(テニスコート)工事着工

12.20 同上工事竣工

昭59. 2.15 プール改修工事着工

2.29 同上工事完了

5.12 全校写生会を行う

7.27 校庭除石工事を行う

8.14 体育館ステージ照明設備工事を行う

11.10 第3回展覧会を行う

昭60. 7.21 校庭整地着工

8.29 校庭整地完了

11.17 第3回学芸会を行う

昭61. 4.26 たて割り遠足を行う

5.10 全校写生会を行う

11. 8 第4回音楽会を行う

昭62. 10. 4 第11回開校十周年記念運動会を行う

11. 6 開校十周年記念式典を行う

11.14 第4回開校十周年記念展覧会を行う

昭63.10. 2 第12回運動会を行う

10.28 全校遠足(高尾山)を行う

11.13 第4回学芸会を行う

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
渋谷 義 一	昭52.2.1～昭58.3.31
大 島 昭 子	昭58.4.1～昭62.3.31
三 浦 勝 也	昭62.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近は、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育は教育基本法、学校教育法に基づき、生命の尊重を基調とし、自ら考え正しく判断し実践できる児童をめざして、次のような教育目標を定める。

元気（明るく生き生きした子ども・向上心をもって活動する子ども）

本気（いっしょうけんめい取り組む子ども・人の気持ちや立場を考えて行動する子ども）

根気（ねばり強く取り組む子ども・何ごとにもよく努力する子ども）

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ・人の話をよく聞き、考える主体的な学習に取り組める児童を育てる。
- ・教材研究を深め、個性能力に応じた授業を追求していく。
- ・教材教具を整備・充実し、その活用をはかる。

(2) 道徳

- ・教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につけさせる。
- ・体験学習を通して人間性が豊かで、思いやりの心を持った児童の育成に努める。
- ・教科・特別活動等全領域のなかで、道徳性の内面化および実践的態度を育てる。

(3) 特別活動

- ・体験学習をとおして主体的な態度をやしなひ、協力して楽しい学校生活を計画・実践できるようにする。
- ・学級指導の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- ・学校行事に自覚して参加できる児童を育て、学校生活にうるおいと変化をもたせる。

(4) その他の活動

- ・朝の10分間運動の時間を設定して、体力づくりに力を入れ、「活力のある子ども」を育成する。
- ・「やまゆり」の時間を設けて、児童一人一人の個性能力に応じた指導を工夫し、諸々の体験学習を計画・実践していく。
- ・たてわり班を編成して、集会活動や清掃活動等を行い児童相互の社会性を培う。
- ・隣接校との交流を深めるための諸活動を計画し、実践していく。（クラブ活動他）
- 教師、児童の一体となった実践活動を通して相互理解と心の交流を図る。

(5) 生活指導・進路指導

- ・みんな仲よく個性を認め合って助け合い、連帯感のある楽しい学校づくりに努めさせる。
- ・目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。
- ・児童の発達段階に即して安全教育の徹底をはかる。
- ・児童の個性・能力の伸長をはかり、将来にわたって自己実現のはかれる意欲と態度を培う。
- ・学校・学級のきまりを考え自主的に守って行動できる児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

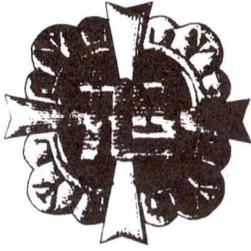
一人一人が生き生きとする朗読指導

7. 本校の特色

- (1) 児童一人一人を生き生きさせる朗読指導と児童の個性や特性を考慮した体験学習を研究の重点にとりあげ、実践研究を行っている。
- (2) 児童と教師、児童相互の人間関係を深めたり、集団活動を通して主体的態度を養ったりするため、1年生から6年生までを12のたてわり班に編成し、次のような活動をしている。
毎日の清掃活動。児童集会活動。たてわり遠足。ドッジボール大会。防災訓練の集団下校。
- (3) 児童の多くは家庭環境にもめぐまれており、いろいろを面でみたまされている。明るくすなおであるが、たくましさに欠ける。そこで、体力づくりのため次のようなことを行っている。
朝の10分間運動（ラジオ体操、程久保体操、程久保音頭、固定施設の活用、持久走、なわとび等を、季節に応じて行う。雨天のときはテレビを通して運動の解説等を行う。）スポーツテスト。夏の水泳指導。持久走大会。
- (4) 外来者から、「校舎内がよく磨かれていて明るい」とのことばをよく受けるほど、全校をあげて清掃活動に熱心に取り組んでいる。
- (5) 隣接校としての地の利を生かして、高幡台小学校との交流を深めている。特に体力づくりの一貫として、クラブ活動・スポーツ交流をはかっている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	開発委員	その他・道徳助言研
1		三浦勝也 47（特活）	吉野美智子 62（道徳）	香川善平 55・56 （兵教大大学院留学）
2		香川善平 49（特活）		吉野美智子 63 （道徳助言研）
3		酒井ヒトシ 元年（給食）		



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘5 丁目21番地の1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分 京王・都バス
(石川入口) 下車10分
児 童 数 男 417 名 女 356 名 計 773 名

校長氏名 飯 沼 宏 教頭氏名 山 下 法 昭

1. 沿革の概要

昭51. 8.18 起工式

市議会は、日野市旭が丘小学校の
設置を決定

昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令

3.31 教頭、教諭等25名、市職員8名
計33名発令

4. 6 第1回入学式149名 4学級 全校18
学級 707名

5.20 校舎完了

6.30 プール完成

7.20 校章制定

8.15 体育館完成

11.21 校歌制定。開校式典

昭53. 3.25 第1回卒業式110名

4. 6 第2回入学式163名 4学級
全校20学級 758名

昭54. 4. 6 第3回入学式156名 4学級
全校21学級 833名

昭55. 4. 7 第4回入学式193名 5学級
全校23学級 916名

10.13 体育館ポーターライト工事

昭56. 4. 6 第5回入学式145名 4学級
全校24学級 904名

昭57. 2.27 「雑木林の小道」完成式

4. 6 第6回入学式136名 4学級
全校24学級 895名

昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成

4. 6 第7回入学式 135名
全校21学級 863名

8.11 給食室排水工事完成

昭59. 4. 6 第8回入学式 144名

全校21学級 850名

12.10 堆肥小屋とプール塗装工事開始

昭60. 1.20 プールフェンス工事開始

4. 6 第9回入学式 123名 3学級

全校20学級 823名

昭61. 1.13 プール排水工事・シューテング
ボード工事

4. 7 第10回入学式 139名 4学級

全校20学級 764名

6. 4 理科室天井工事(了)

8.31 AV調整卓が入る

理科室・図書室の暗幕取替え

昭62.17 プールの平板工事(了)

4. 6 第11回入学式 116名 3学級

全校20学級 737名

11.22 開校10周年記念式典

12.23 大熊校長1時50分急逝

12.25 " 告別式

昭63. 1. 7 体育館屋根塗装

10周年記念日日時計工事

1.30 故大熊校長献花式

4. 6 第12回入学式(男55 女76

計133名

5.26 電話器取替完了

8.25 放送室・図書室工事・洗浄機取つけ
完了

10.16 5学年増級4学級(男79 女57

計136名)21学級

12.23 故大熊校長遺稿集発行

平成1. 4. 6 第13回入学式(男78 女68

計146名)

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
小野寺 東雄	昭52.2～昭58.3
大熊 喜一	昭58.4～昭62.12
飯 沼 宏	昭63.1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西2km南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、田や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、教育基本法、学校教育法に基づき、地域の特性や児童の実態をふまえて次の4目標の具現を目指す。

ア. よく考える子ども（4目標の支点）

イ. なかよくする子ども

ウ. がんばりぬく子ども

エ. からだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

開校以来10有余年の成果をふまえ、的確な学習指導と生活指導の充実を通して教育目標の達成を図り生涯教育の基盤をつくる。

ア. 前年度にひき続き、学校教育目標の第1項「ア. よく考える子ども」に支点を置き、学校の教育活動のすべてを教育目標達成の場とする。

イ. 各自のもつ個性と創造性を伸ばし、人間尊重の精神を身につけ、互いに励まし協力する実践的な態度を育て国際理解に資する。

ウ. 教職員の研修をいっそう充実して、学習指導要領に即した的確な指導力と父母の信託に応える資質を身につける。

エ. 教師と子どもの心の結びつきを大切に子どもの心を的確にとらえながら、全校あげての生活指導の工夫に努める。

オ. 校区に即して体験学習の場を求め、自ら目当てを立てて、ねばり強く心身をきたえる個性豊かな児童の育成に努める。

5. 指導の重点

一年間の見通しのもとに計画的に教育活動を進める。

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

・指導内容の精選と指導技術の工夫により、学習活動にゆとりをもたせ、思考過程を大切にするとともに、基礎的、基本的事項の徹底を図る。

・児童一人一人に「よく聞く」「よく見る」「よく考える」「よく行動する」望ましい理解態度・

技能を身につけさせる。

イ. 道徳

- ・学習活動を多彩にし、児童の実践的な学習活動をうながすように工夫する。
- ・学校教育活動全体を通して目標の系統的把握のもとに自ら考え、正しく判断し、行動する道徳的実践力の向上に努める。

ウ. 特別活動

- ・自ら考え行動する児童の育成を図り、所属成、連帯成を高める。
- ・活動内容を児童自らが企画し、実践する過程で互いに協力してがんばりぬく実践力と望ましい人間関係を育てる。

(2) その他の活動

ア. 学年、学級の日「交流の時間」等により、児童一人一人に思いやりの心を育て、連帯成を強める。

イ. 「全体活動」の時間を通して、たてわりの集団の中での心の交流を図る。

ウ. 諸行事を通して、児童一人一人に学校の一員としての意識を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 「学校生活のきまり」の定着化をいっそう推進し、社会人、国際人としての望ましい基本的生活習慣の確立を図る。

イ. 自他の生命を尊重し、互いに守り合う態度と他人への思いやりの心を育てる。

ウ. 関係団体との連携を密にし、地域に根ざした豊かな人間性の育成を図る。

エ. 計画的な学級活動を通して、指導の個性・能力を伸長し、社会の激しい変化に適應できる児童の育成に努める。

6. 本年度の研究課題

子どもに良く考えさせる授業—読みを深めるための授業の在り方—

7. 本校の特色

本年度は、教育目標の第1項「(1) よく考える子ども」に重点をおき、全教育活動を展開していく。

- ・授業の活性化を目指す授業研究の推進
- ・学校敷地内の自然林の保存と活用
- ・職員・児童・父母の協力による校舎内外の環境整備と美化の促進、菊花栽培により心の美化・促進・野鳥への思いやりの育成
- ・一日一日・一時間一時間の授業の充実
- ・元旦マラソン、八ヶ岳ジャンボリー、少年野球リーグなど、父母や地域社会などの大きな社会教育

8. その他（教職員の研究歴）

	研究員	現代化委員会	都・文部省委員
1	飯沼 宏 (47. 特活)	奈良 悦子 (49. 家庭)	飯沼 宏 (51. 都教委) (家出・自殺予防の手引き 作製委員)
2	奈良 悦子 (44. 家庭)		
3	佐々木玄吾 (50. 社会)		
4	山下 法昭 (51. 体育)		
5	西田 陽 (52. 国語)		



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1
電 話 0425-92-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分
児 童 数 男167名 女171名 計338名(内わかき学級14名)

校長氏名 馬 淵 金 男 教頭氏名 藤 田 孝 彦

1. 沿革の概要

- 昭52. 3.28 学校建設校舎予算市議会議決
6. 3 学校建設準備委員会開催
9. 3 校舎建設工事請負契約締結
- 昭53. 1. 7 現在地に建設着工
4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山1,2,3,6,丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男268名 女282名 計550名 17学級(心障2学級含)の規模で開校する。
10.24 校舎落成式 校章発表
11.22 開校記念展覧会 開校記念日
- 昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会
- 昭55. 3.20 校舎増築8 教室完成
8.15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
- 昭57. 8.30 図書館改装 ガス配管工事完了
- 昭58. 10.30 屋外バスケットボール施設完了
- 昭60. 12. 9 プール全面塗装
- 昭61. 12. 8 研究発表公開(体育を中心)
- 昭62. 3.30 体育館どん帳取替
昭62. 12.25 プレハブ解体
- 昭63. 2. 5 研究発表公開(心障)
- 昭63. 11.19 開校十周年記念式典挙行
- 平成. 3.17 体育館バスケットゴール設置

2. 歴代校長

氏 名	年 月から年 月
小 川 格	昭 53. 2～昭 57.3
蓮 池 守 一	昭 57. 4～昭 61.3
野 村 武 郎	昭 61. 4～昭 63.9
馬 淵 金 男	昭 63.10～現在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく児童が学習する上での生きた教材を得た学校である。

学区は、京王電鉄が造成・分譲した平山1,2,3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に心している。故に静かでおちつきのある雰囲気維持されている。

4. 教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法の示す国民の育成につとめることを目指し、地域・児童の実態を基に次のように教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア、各教科

自ら課題を設定し児童の意欲的な取り組み及び授業の創造を目指す

- ① 基礎的・基本的事項の定着とやさしさと潤いに満ちた心を育てる。
- ② 児童が課題をもち、自力で解決し、完成した喜びが持てる授業をつくる。

イ、道徳

全教育活動を通じて、道徳的心情と実践力を育てることを目指す。

- ① 人や動物、植物の生命を大切にし、思いやりのある心を育てる。
- ② 望ましい行動様式を身につけさせ、正しい判断と行動がとれる児童の育成をはかる。

ウ、特別活動

集団・社会の一員としての自覚を高め、楽しく落ち着きのある学校生活の展開を目指す。

- ① 児童が創意を生かして活動できる学習の機会をつくる。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を自発的・自治的に解決する力を高める。
- ③ 高学年の活動の場を多く設定し、自覚と指導力を高めさせる。

(2) その他の活動

- ① 学校生活に喜びと潤いと充実感を与えるために、創意ある活動の時間を設定し、豊かな心を育てる。(花づくり、七夕祭、オリエンテーリング)
- ② わかくさ学級との交流で、全校児童に障害を持つ児童について正しい理解と認識を育てる。
- ③ 学校がコミュニティーセンターとしての役割を果たすことを努め、地域の教育力を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア、生活指導

児童が集団の中で、生き生かされる喜びの得られる機会を通して、個の確立を図る。

- ① 児童の個性・特性の把握につとめ、これを尊重、伸長する指導を進める。
- ② 社会生活規範の、あいさつ、ことばづかい、話を聞くの三点について習慣化をはかる。
- ③ 家庭・地域及び関連機関との連携を密にし、協力体制を強化する。

イ、進路指導

児童の個性・能力に応じた適性な指導をする。

6. 本年度の研究主題

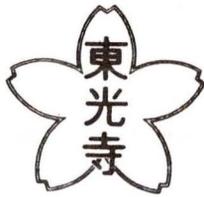
「心豊かなやさしい子の育成」—体験を通して学ぶふれ合いの心—

7. 本校の特色

- 市内全域がほぼ見渡せる所にあり開校12年目の学校、自然環境に恵まれた地域の教材化を図っている。
- 心障学級設置校であるため、心障児と健常児との交流をすすめる中で体験を通して学ぶふれ合いの心の指導を通して、心の豊かなやさしい子の育成を目指す。
- 地域の要請に応える教育力の提供について具体化を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	中央研修	研究員	開発委員
1	馬淵 金男 (55)	藤田 考彦(48・特活)	久保 雅子(57・図工)
2		菊池 彰(58・体育)	
3		村松 晴義(62・算数)	
4		青木 和夫(元 心障)	



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町3 丁目24番地1 号
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩10分
児 童 数 男206名 女186名 計392名

校長氏名 志 村 桂 次 教頭氏名 石 川 耀 子

1. 沿革の概要

- 昭52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31
昭54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として
開校。日野第三小学校の学区
から、新町3丁目と栄町1, 2,
3, 4, 5丁目を東光寺小学校の
学区と定める。児童数545
名(男287名、女258名)15学
級の規模で開校する。
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 17 PTA創立総会
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記
念式典、校章・校旗披露・校
歌発表
昭57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭62. 11. 20 東京都図画工作研究会南多摩
研究大会会場となる
平 元. 3. 25 卒業生総数879名となる

2. 歴代校長

氏 名	年月日～年月日
高 田 智	昭54. 2. 1～58. 3. 31
近 内 信 輝	昭58. 4. 1～60. 3. 31
志 村 桂 次	昭60. 4. 1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町3丁目、栄町1, 2, 3, 4, 5丁目で、東西1.8km、南北0.8kmと東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は、遠い児童で15分である。

学区には、天正16年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化したがつて兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

憲法及び教育基本法に基づき、自ら考え正しく判断できる児童の育成をめざし、次のような教育目標を定める。

- 明るい子ども (教育重点目標)
 - 考える子ども
 - 強い子ども
- 進んでやる子ども

<学校の教育目標を具現化するための基本方針>

教育重点目標「進んでやる子ども」を主軸に全教育活動を統合化かつ一貫させ指導のいっそうの充実を図る。

- (1) 各分掌とも「進んでやる子ども」の達成を軸に、年間指導計画をたて、学年・学級

と連携をとりながら指導の徹底に取り組んでいく。

- (2) 各学年・学級は、発達課題・学級の実態をふまえながら「進んでやる子ども」の達成を図るべく経営方針をたて、各分掌との連携をもとに日々の指導に取り組んでいく。
- (3) 運営委員会は各分掌・学年・学級の緊密化を絶えず図るとともに、職員会議の機能向上に努め、「進んでやる子ども」の達成に全教職員が一体となって取り組むように働きかける。
- (4) P T Aを中心に家庭や地域との相互理解を深め「進んでやる子ども」の達成を図るべく連携を強めていく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

- 一人一人の能力に応じた指導の工夫に努め、基礎的な学力の充実・向上を図る。
- 一人一人の興味や自発性を大切にし、進んで考え、やりとげようとする自主的な学習態度を育てる。

イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、友だちを大切にすることを育てる。
- 進んで考え、行動する積極的な実践態度を育てる。
- 物事を最後までやりとげる意志の強さを身につけさせる。

ウ. 特別活動

- 学級会、委員会などの活動を通して、学級、学校の一員としての自覚を深め、進んで貢献する喜びをわからせ、実践力を身につけさせる。
- クラブ活動などを通して自分の特性を知り、それらを伸ばそうとする意欲を高めさせる。

(2) その他の活動

創意を生かした活動として集会活動やたてわりの場を設定するなどを図ることを通して学校生活に変化を与え、一人一人の児童に喜びと充実感を持たせる指導を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

- 一人一人が個性・能力を発揮し課題意識を持って、自己を伸ばそうとする意欲と実践的態度を身につけさせる。
- 基本的な生活習慣を身につけ規律ある明るい学校生活を送ろうとする生活態度を身につけさせる。
- 他人の立場や心情を理解でき、思いやりのあるあたたかな心を持って友だちと接する生活態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

「一人一人が生き生きと学習に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 開校満10年を迎え平成元年度は創立10周年記念式典およびそれに伴う行事などを実施する予定であり、さらによき校風作りに取り組む。
- (2) 前年に引き続き「進んでやる子ども」の育成を目ざし、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、P T A、地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人一人が個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行れるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	研究生	道徳助言研
1		志村桂次（43 国語）	石川耀子（53 体育）	石川耀子（61）
2		上山美智子（43 保健）		



学 校 名 日野市立三沢台小学校
 所 在 地 日野市百草896-1
 電 話 0425-93-2351・2352
 順 路 京王線百草園駅下車 徒歩15分
 児 童 数 男223名 女199名 計422名

校長氏名 福地 保 教頭氏名 小原良雄

1. 沿革の概要

- 昭55. 4. 1 開校
 日野第八小学校より分離
 児童数666名(男319名 女347名)、教職員34名で発足
4. 7 第1回入学式 111名入学
6. 10 プール完成
8. 4 体育館完成
9. 1 校庭使用開始(芝生、アンツーカーの運動場)
9. 10 市主催による落成式
- 昭56. 2. 10 校歌・校章発表会
 開校記念日とする
3. 25 第1回卒業式
 126名卒業
4. 6 第2回入学式 114名入学
 学級数 18
9. 22 校庭改修工事完了(ダスト舗装に)
- 昭57. 3. 25 第2回卒業式
 125名卒業
4. 6 第3回入学式 90名入学
 学級数 17
- 昭58. 3. 25 第3回卒業式
 110名卒業
4. 6 第4回入学式 66名入学
 学級数 16
- 昭59. 3. 24 第4回卒業式
 110名卒業
4. 6 第5回入学式 82名入学
 学級数 16
- 昭60. 3. 25 第5回卒業式 117名卒業
- 昭60. 4. 6 第6回入学式
 学級数 15
6. 28 音楽室冷房設備工事完了
- 昭61. 3. 25 第6回卒業式
 131名卒業

4. 7 第7回入学式 79名入学
 学級数 14
- 昭62. 3. 25 第7回卒業式
 119名卒業
4. 6 第8回入学式 60名入学
 学級数 13
- 昭63. 3. 25 第8回卒業式
 104名卒業
4. 6 第9回入学式 55名入学
 学級数 13
- 平成元年3. 25 第9回卒業式 79名卒業
4. 6 第10回入学式 67名入学
 学級数 112

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
初代 深尾 真	昭55. 2～昭59. 3
二代 松日楽 敬治	昭59. 4～昭62. 3
三代 福地 保	昭62. 4～現在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街(西武・日本信販)の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 教育目標

各教育法規に基づき、地域・児童の実態をふまえ、調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざす。

- からだをきたえる子
- 最後までやりぬく子
- よく考えて行動する子
- みんなと仲よくする子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

- 児童が主体的に学び、楽しさの中にも充実した学習ができるよう指導法のくふうに努める。
- 教材・教具の効果的な活用をはかり、学習効果の向上に努める。
- 指導計画、指導法の改善やくふうを重ね児童の発想を大切にする授業を推進する。

イ. 道徳

教育活動全体を通して、道徳的心情を豊かにし、実践力を育てる。そのために、各教科、特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努める。

- 広い心をもち互いに助けあう。そして、実践力にたけた子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努めると共に、たて割組織などを活用して、児童相互の交流を深め、協力して働き、よい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) その他の活動

- 新興住宅地と古い集落とを合わせもつ本校では、教育活動にいっそうの創意とくふうを生かし、児童相互の連帯意識を大切にする心と実践力の高揚をはかる。
- 遊びの指導を通し、児童相互、児童、教師の交流をさかんにする。
- 学年を越えた児童のふれあいの場を多くし、学校と地域とのつながりを深める。

(3) 生活指導・進路指導

- 楽しい学校生活を送れるように、全教育活動を通して、おもいやりの心を育てる。
- 集団活動を通して、児童の各々が自己の役割を果たし、自己の長所を知り、より高く向上しようとする指導を推進する。
- 集団としての規律を理解させ、基本的な生活習慣の徹底を図る。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導・非行防止の手だてに万全を期す。
- 児童ひとりひとりを正しく理解し、個別指導の徹底を図り、生涯学習を指向する基礎づくりをめざす。
- 各教科・道徳との関連を密にして、職業に対する正しい理解と判断を育て働くことの大切さを体得させる。

6. 本年度の研究主題

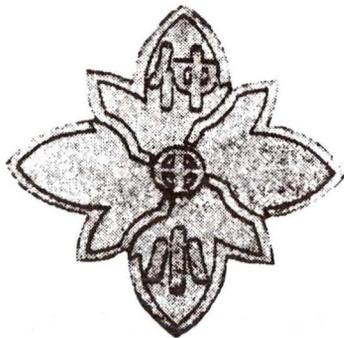
「集団の中でねばり強くがんばる子どもを育てる指導法」

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	道徳助言研
1		福地 保（49教育経営）	平山 毅（58）
2		小原 良雄（62道徳）	川田 浩子（62）
3		斎藤 正子（63書写）	



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町6丁目1の74
電 話 0425-81-8511・8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩10分
児 童 数 男169名 女172名 計341名

校長氏名 岩 下 和 夫 教頭氏名 増 賀 従 男

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

- 昭58. 3. 30 仲田小学校新設の為の市条例一部改正を市議会が可決
6. 22 現在地に建設着工
- 昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任
4. 1 開校
4. 6 第1回入学式
5. 23 校庭・プール竣工
7. 31 体育館竣工
10. 12 市主催落成式挙行
11. 12 校歌・校章披露式挙行
- 昭60. 3. 25 第1回卒業式
4. 6 第2回入学式
- 昭61. 3. 25 第2回卒業式
4. 7 第3回入学式
- 昭62. 3. 25 第3回卒業式
4. 1 2代校長 岩下和夫就任
4. 6 第4回入学式
- 昭63. 3. 25 第4回卒業式
4. 6 第5回入学式
- 昭63. 9. 25 創立5周年記念運動会
昭63.11.12,13 創立5周年記念展覧会
- 平成. 3. 25 第5回卒業式
4. 6 第6回入学式

2. 歴代校長

氏 名	就 任 期 間
山口 武彦	昭59. 2. 1 ~ 62. 3. 31
岩下 和夫	昭62. 4. 1 ~ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道（国道20号線）、西にJR中央線北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立て宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々などが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場（日野第一桑園）跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざし、次のように教育目標を設定する。

- すすんで 学ぶ子
自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる力をやしなう。
- からだを きたえる子
生涯にわたってたくましく生きるためのすこやかな体を育てる。
- 思いやりの ある子
自己を抑制しつつ、他者を尊重し、好ましい人間関係を築く。
- さいごまで やりぬく子

困難に立ち向かい、障害を乗り越えて自己実現を図るための基礎を培う。

※平成元年度は、教育目標を改善するための検討期間とする。

5. 指導の重点

ア 教科

- 各教科の特性を踏まえ、個性に応じた指導を工夫し、学ぶ喜びの味わえる授業を展開する。
- たくましく生きる人間の育成をめざし、体力の向上・健康の増進に視点をあてた体育指導の充実につとめる。

イ 道徳

- 人の命の尊さに目を向けさせ、あらゆる場面で生きることの大切さを知り、行動できるようにする。
- 社会の一員としての自覚を持たせ、相手の立場を思いやる心情を育てる。

ウ 特別活動

- 健康・安全や給食等に関する事項を重視した学級指導を充実する。
- 日常の学習を総合的に発展させた秩序と変化のある学校行事を行う。

エ その他の活動

- 学校裁量の時間を確保し、個別指導や補充指導、及び相互交流を図る集団活動の場として、人間関係を深める。
- 児童と教師が一体となって、学習環境をより美しく、より豊かにしていく。
- 児童自らが進んで、健康づくりに取り組み、健康増進と生命の安全を守る能力と態度をやしなう。

オ 生活指導

- 一人一人の児童理解に力を注ぎ、カウンセリング・マインドに徹した個別指導を行う。
- 家庭との連携を深め、基本的生活習慣の定着につとめる。

6. 本年度の研究課題

(1) 研究主題

楽しく運動に取り組みたくましく生きる児童の育成

(2) 副主題

個人差に応じた指導の工夫

(3) 研究領域

器具・用具を活用した運動

(4) 研究内容

① 新学習指導要領の学習

- ・教材研究
- ・実技研修

② 実態把握……個人差の実態を明らかにする。

- ・運動に関する意識調査（好き、興味、関心）意欲
- ・体力・運動能力調査（スポーツテスト+器具・用具）
- ・技能（できる・できない）

③ 指導の工夫

- ・学習計画
- ・資料・機器
- ・学習カード
- ・学習形態
- ・器具・用具の工夫
- ・評価など……

- ④ テーマの後段（たくましく生きる児童の育成……つまり日常的に、健康増進と体力向上を心がける児童）をふかめるために、教科体育以外の研究もとりあげる。

7. 本校の特色

新設校として開校し、六年目を迎えた。今年は「教育内容の充実」をめざし、

- (1) 児童が明るく楽しい生活が過せるように学級経営を充実させる。
- (2) 児童と保護者の信頼を高める。
そのために、一人一人の児童にわかる喜びを味わわせる研修の実践や、わけへだてなく公平に明るく接することや、情熱を傾け全力を尽くすことなどに努める。
- (3) 地域や家庭との相互理解を深め、一致協力して共通実践する。
等に努力する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	研 究 生	現 代 化
1	岩下 和夫(49体育)	吉田 弘(元教育方法)	岩下 和夫(52体育)
2	増賀 従男(56国語)		
3	雨宮 充(61道徳)		
4	佐藤 典子(61学養職員)		
5	品田 敏男(63社会)		
6	小山 富子(元算数)		
7	吉田 健(元体育)		



学校名 日野市立日野第一中学校
 所在地 日野市日野本町7-7-7
 電話 0425-81-0009・0261
 順路 J R 日野駅下車 徒歩10分
 生徒数 男397名 女358名 計755名

校長氏名 宮本裕子

教頭氏名 中根勉

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭38. 9. 9 プール落成
- 昭39. 5. 1 特別教室落成
- 昭42. 11. 4 20周年記念式典挙行
- 昭48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭51. 3. 9 校舎増築（普3、教材室1、生徒相談室2）
- 昭52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑建立記念誌発行
- 昭55. 4. 1 大坂上中の新設に伴い学区縮小
- 昭58. 8. 31 窓枠改修
- 昭59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭59. 6. 4 学校給食開始（一年生は食堂方式）

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
町田 勸之助	昭22. 4～25. 9
飯塚 節三	昭25. 10～37. 3
大沢 彰	昭37. 4～40. 3
大沢 量作	昭40. 4～45. 3
安部 達郎	昭45. 4～49. 3
東 恭朝	昭49. 4～53. 3
松延 耕作	昭53. 4～57. 3
小林 節夫	昭57. 4～59. 3
奥村 節生	昭59. 4～63. 3
高橋 豊彦	昭63. 4～平成・1
宮本 裕子	平成・2～現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

- 1 よく考え やりぬく人
- 2 協力し 全体につくす人
- 3 心豊かで 思いやりのある人
- 4 進んで 心身をきたえる人

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 学習意欲を高め、基礎学力の充実を図る。
- 発表の場や表現の機会を多くする。
- 学習の計画を立てさせ、予習・復習の習慣をつける。
- よく考える態度を養い、学力の伸長を図る。指導内容の精選、指導方法の改善に努める。

イ. 道徳

- 実践活動を通して道徳的心情を高める。
- 一人一人を尊重する態度を養う。
- きまりを守り、行動する態度を養う。
- 感謝の気持ちを育てる。
- 身のまわりをきれいにし、物を大切に
する心と実行力を育てる。

ウ. 特別活動

教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを大切に指導する。

- 生徒自身に深く考えさせ、自主的実践的な活動を伸ばす。
- 集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め協力する態度を育てる。
- 図書館教育、給食指導の充実と発展を図る。

(2) その他の活動

ゆとりあるしかも充実した学校生活の実現をめざす。

- 学校行事への取りくみを通して、生徒の自主活動を推進させる。
- 個別指導を実施し基礎学力の充実に努める。

地域社会との連携を密にし、生徒の健全育成と郷土愛の育成に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

教師の共通理解を深め、全員一致して指導にあたる。

- 基本的生活習慣を身につけさせる。
- 勤労意欲を向上させ、学習環境の美化に努めさせる。

イ. 進路指導

個々の生徒の能力・適性の把握に努め、自ら進んで進路を選択する態度と能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 学年・学級経営の充実
- (2) どの子にもわかる授業

7. 本校の特色

教育目標の具体化の一つとして、次の3点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法の工夫を通して、生徒の学習意欲を高め、またよく考え、やりぬく態度を養うため、他校の参観や、ゆとりの時間の活用等、校内での授業研究を基に、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室、廊下などの掲示指導に意を用い、また校舎内外の美化のために、清掃に意を用い実施している。登下校時刻の厳守には教師、生徒会が一体となつてつとめている。
- (3) パーソナルコンピューターを活用し、教科の学習プログラム成績の処理、学級編成、生徒名簿・地区名簿の作成、各文書の作成等に活用する。

8. その他（教職員の研究歴）

	研究員	研究生	開発委員	その他
1	中根 勉 (56・教育課題)	宮本 裕子 (52・相談)	宮本 裕子 (53・心障)	宮本 裕子 (53文部省カウンセリング研)
2			佐藤 至正 (60・技術)	中根 勉 (59・60・62道徳助言研)
3			中根 勉 (62・社会)	中根 勉 (63海外派遣ヨーロッパ)
4			酒井 德行 (63・特活)	



学 校 名 日野市立日野第二中学校
 所 在 地 日野市多摩平4丁目5の2
 電 話 0425-81-0056・0262
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分
 生 徒 数 男391名 女368名 計759名

校長氏名 大野隆久

教頭氏名 北原景昭

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式
 (生徒200名)
 第二期工事八教室増築落成
 昭31年度 第三期工事竣工落成
 昭32年度 第1回卒業式(卒業生204名)
 昭33年度 校旗・校歌制定
 昭34年度 産業教育研究校に指定される
 昭35年度 特別教室(工作、調理、理科)
 竣工落成
 昭36年度 第二期特別教室竣工
 産業教育研究発表会、修学旅行
 研究発表会
 昭37年度 プール竣工落成
 昭38年度 保健体育研究発表会
 昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周
 年記念式典挙行
 昭40年度 体育館竣工
 昭41年度 防音校舎第一期工事完成(6教
 室)
 昭42年度 防音校舎第二期工事完成(18教
 室)、プール用更衣室工事完成
 昭43年度 南校舎前、境裁花壇完成
 体育倉庫と校庭用便所完成
 昭44年度～ プレハブ教室使用
 昭48年度 四中新設のため34学級より25学
 級に縮小
 創立20周年記念式典挙行
 昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及
 同準備室改造整備。中庭・他整
 備

昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階
 塗装
 昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床
 整備
 昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成
 校舎電気配線整備
 昭55年度 大坂上中新設のため26学級より
 20学級に縮小
 第二技術室の新設
 昭56年度 北校舎内部塗装工事、校長室・
 事務室の床張替え工事
 昭57年度 南校舎窓枠改修工事。プールサ
 イド改修工事。体育館床塗装工事
 昭59年度 創立30周年記念式典挙行
 昭60年度 給食棟建設工事着工
 昭62年度 給食始まる
 南校舎内部塗装工事
 昭63年度 南校舎内部塗装工事
 体育館西側舗装工事
 健全育成相談室設置

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
橋本 貴一	昭29. 3. 31～30. 9. 31
増山 恒	昭30. 10. 1～41. 3. 31
飯田 栄一	昭41. 4. 1～46. 3. 31
河村 俊一郎	昭46. 4. 1～48. 3. 31
飯田 卯吉	昭48. 4. 1～51. 3. 31
小林 政之助	昭51. 4. 1～55. 3. 31
渡辺 吉彦	昭55. 4. 1～59. 3. 31
小林 節夫	昭59. 4. 1～63. 3. 31
大野 隆久	昭63. 4. 1～現在

3. 地域の環境

学区は 3,000 世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊重し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

ア. 各教科

指導内容の精選や指導方法を創意工夫することにより、基礎学力の充実に図り、生徒一人ひとりの能力を高める。

イ. 生活指導

一人ひとりの生徒理解を深めるとともに基本的な生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し実践していく力を養う。

ウ. 進路指導

各学年、発達段階に応じた進路指導をすすめ自己の適性の伸長をはかり正しい職業観の育成に努める。

6. 本年度の研究主題

生徒の問題行動とその対応方法について。

7. 本校の特色

日野市最大の多摩平中央公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、生徒も自ら小鳥・小動物の飼育を行い、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も13年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研 究 員
1		富 士 堯 (41特活)
2		永 谷 豊 (45教育方法)
3		永 谷 豊 (52特活)
4		深 山 睦 弘 (60英語)



学 校 名 日野市立七生中学校

所 在 地 日野市南平 6-7-1

電 話 0425-91-0174・0175

順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩 8分

豊田駅(J R) 下車徒歩 18分

生 徒 数 男 336(6・1) 女 313(2・0) 計 649(7・2)

() 内は心障・訪問学級の生徒外数、合計 658

校長氏名 村 田 志 信 教頭氏名 野 澤 昭 兆

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
- 5. 15 七生村役場を仮校舎として開校式挙行 2部授業で発足
- 昭 23. 2. 15 七生村南平 1944 番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
- 昭 32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表を挙行
- 昭 33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
- 昭 37. 7. 31 プール開きを挙行
- 昭 37. ~ 39 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
- 昭 41. 7. 1 体育館落成
- 昭 42. 11. 33 創立二十周年記念式典挙行
- 昭 45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
- 4 ~ 9 七生中学校に三中分校設置
- 昭 46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
- 昭 47. 3. 20 観察用水槽完成
- 5. 22 訪問学級開級式
- 昭 50. 5. 22 南校舎西側(4 階)増築工事完成 訪問学級教室完成
- 7. 1 地番変更日野市南平 6-7-1
- 昭 52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
- 昭 54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
- 昭 57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
- 昭 58. 4. 1 心障学級開設(2 教室改造)
- 5. 心障特別教室完成

- 昭 59. 5. 校庭南フェンス改修(歩道完成)
- 昭 59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換・外装吹付け工事実施
- 昭 60. 3. 廊下塗装工事実施
- 5. 給食棟(厨房・食堂)完成
- 昭 61. 3. 校庭南フェンス(高)延長
- 昭 62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会を挙行

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
飯 塚 節 三	昭 22. 4. ~ 昭 25. 9
増 山 恒	昭 25. 10 ~ 昭 30. 10
飯 島 一 吉	昭 30. 10 ~ 昭 37. 3
木 村 巧	昭 37. 4 ~ 昭 40. 3
芳 西 幸 三	昭 40. 4 ~ 昭 44. 3
羽 崎 一 男	昭 44. 4 ~ 昭 47. 3
高 橋 太 一	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
吉 岡 孝 二 郎	昭 51. 4 ~ 昭 55. 3
山 本 保	昭 55. 4 ~ 昭 61. 3
川 崎 昭 三	昭 61. 4 ~ 平成元. 3
村 田 志 信	平成元. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えてきた。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公

園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、つぎのことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心をもとう。
- ・健全な心とからだをつくろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人権を尊重し、実践活動を通して生徒の個性の伸長をはかり、人間性豊かな生徒を育成する。
- 基礎的・基本的内容を身につけさせるため、日常の継続的研究をすすめる。
- より効果的に教育活動を進めるため、教師と生徒の心のふれ合いを深めるとともに、教育環境の整備向上に努める。
- 障害児に対する理解を深めるため、心障・訪問学級との交流をはかる。
- 全職員の共通理解を深め、あわせて父母・地域との連携を密にする。

★心障学級・訪問学級の方針★

- ・情緒豊かで、健康な身体を育てる。
- ・一人ひとりの発達段階に応じて、言語（表現活動）・認識を豊かに育てる。
- ・生活に必要な技能や、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ・お互いの個性を大事にし、助け合って働ける人を育てる。
- ・親密な人間関係を通じて、生徒一人ひとりの健全な成長と民主的人格の発達をはかる。
- ・きょう一日、来てよかったと思える学級にする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎的・基本的事項の指導の徹底と、生徒一人一人が主体的に学ぶ意欲の向上をはかる。

イ. 道徳

- 健康で、明るく、互いに協力する態度を育てる。
- 物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を育てる。

ウ. 特別活動

- 生徒の自主活動を高め、規律正しい学校生活を通して、心身ともに調和のとれた生徒を育成する。

(2) その他の活動

- 集団生活をとおして、互いに協力する態度を育成する。
- 生徒理解を深め、個性の伸長をはかるとともに、生活意欲の向上に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 諸活動を通じ、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- 基本的生活習慣の指導を通し、中学生としての生活態度を育てる。

イ. 進路指導

- 自己理解を深め、自分の特性にあった進路を選択するとともに、自ら向上しようとする態度を育てる。

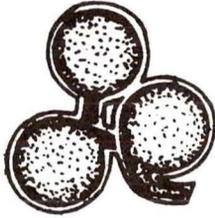
6. 本年度の研究主題
基礎学力の定着をめざす指導

7. 本校の特色

- 生徒は明るく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒の自主活動が盛んで、合唱コンクール、三年生を送る会等の行事が、例年、活発に行われている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	現代化委員	開発委員	研究生	道徳助言研
1		村田 志信 (44・音)	野澤 昭兆 (51・国語)	柳沢 美澄 (56・英語)	野澤 昭兆 (49・国語)	野澤 昭兆 (61)
2		野澤 昭兆 (53・国語)		瀬川 昭英 (63・国語)	大谷 良光 (61・技術)	
3		柳沢 美澄 (55・英語)			瀬川 昭英 (元・国語)	
4		大谷 良光 (59・技術)				
5		管野 剛 (63・教育課題)				
6		長坂 昌弘 (元・音楽)				



学 校 名 日野市立日野第三中学校
所 在 地 日野市程久保650番地
電 話 0425-91-2228・2229
順 路 京王線高幡不動下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩7分
生 徒 数 男450名 女406名 計856名

校長氏名 清水春海

教頭氏名 伴野博夫

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始 生徒数26名、教職員数12名
- 昭45. 10. 1 日野市立日野第三中学校開校 七生中学校内で授業 生徒数44名、教職員14名 百草、高幡の両団地を学区にする
- 昭46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全部、三沢地区上、中を加える
7. 1 学区変更、西部百草団地を加える
10. 2 開校式を挙 行 10月2日を開校記念日とする 校章・校歌を発表
- 昭48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭55. 10. 5 創立十周年記念式典
- 昭59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅および日本信販西部百草園住宅地域を除外、三沢中学校区に移す
- 昭59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プール管理棟竣工
- 昭62. 3. 31 プール改修工事竣工

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
橋 本 敏 一	昭45. 9～48. 3
松 延 耕 作	昭48. 4～53. 3
田 中 引 明	昭53. 4～56. 3
長 岡 宗 次	昭56. 4～59. 3
千 葉 廣 志	昭59. 4～63. 3
清 水 春 海	昭63. 4～現在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって、文教地区を形成している。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

- ① 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- ② 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。
- ③ 若人らしい気力、体力を養おう。

5. 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標を学年・学級に具体化して経営の充実をはかり、思いやりがあり協調性のある、人格の形成をめざす。
- ② 指導方法の改善、工夫、基礎、基本の重視をとおして生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。
- ③ 生徒の自主的、自律的活動を促すため、生徒活動・クラブ活動の経営充実をはかる。

6. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

教材を精選するとともに、ゆとりのある学習をとおし、自主学習を促進し、学習の効率化をはかる。授業研究をとおして、おたがいに資質の向上をはかる。

イ 道徳

他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに、責任ある行動ができるように、指導内容をくふうする。思いやりと協調性を養い、感謝の心を育てる。

ウ 特別活動

- ① 小集団を基礎に、個人の自発性をうながし、学級集団の質を高める。
- ② 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。

(2) その他の活動

- ① 教育目標の具体化をめざして、生徒ひとりひとりの指導にあたるとともに、国際社会の一員として、思いやりの精神を養う。
- ② 諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主・自律的な活動ができるように指導にあたる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織をとおしての自律ある生活態度を身につけさせる。
- ② 問題行動に対しては、全職員の共通理解にもとづき、一致した指導の徹底をめざす。

イ 進路指導

教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的、個別的指導の徹底をめざす。

7. 本年度の研究課題

ア. 主題「個性・創造性・自主性を高める指導法の工夫」

イ. 研究内容

- ① 「学級活動に支えられた生徒会活動のあり方」についての実践事例研究。
- ② 授業研究「生徒を動かす指導」についての実践事例研究。

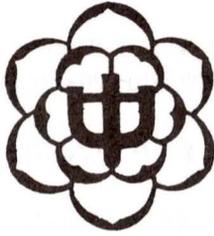
8. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校19年目で、学級数は21、学区域の小学校は、潤徳小、高幡台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具体化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。

- 団地、分譲地を主体とした地域で、保護者の約3分の1が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

	中央研・海外派遣	研究員	開発委員	研究生
1	樋口 恢武 (55海)	大宅 寛 (42音)	橘 陽臣 (57体)	樋口 恢武 (54社)
2		飯島 利三 (47技)	鈴木 涉 (59音)	
3		樋口 恢武 (53社)	高見登志子 (61家)	
4		乙黒 義夫 (57国)		
5		松沢 茂久 (59特)		
6		飯島 利三 (60課)		
7		乙黒 義夫 (62書)		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
 所 在 地 日野市旭が丘2-42
 電 話 0425-83-3905・3906
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
 バス（長房団地行、都立科学技術大学下車5分）
 生 徒 数 男460名 女373名 計833名 21学級

校長氏名 桑原和正

教頭氏名 會田武夫

1. 沿革の概要

- 昭47. 5.10 市教委に四中設立委員会設置
- 8.21 校舎起工式（工事費19億円施工小田急建設）
- 12. 7 学区決定
- 昭48. 1.18 屋内体育館着工
- 3.26 都教委・第四中学校設立を認可
- 4. 1 初代校長 河村俊一郎氏以下教員24名発令・開校
- 7. 2 屋内体育館完成 使用開始（工費約4,600万円 施工 小田急建設）
- 7.18 本校シンボル「泰山木」決定
- 8. 7 プール完成（工費2,700万円）
- 10.13 校歌作詞完成
- 10.16 校章決定、教育目標設定
- 11.10 校歌作曲完成（寺原伸夫氏）
- 11.16 校旗完成
- 11.17 落成式挙行
- 11.22 第一回開校記念日
- 昭49. 2. 2 標準服制定
- 5.30 保健室 冷房装置取り付け
- 7. 1 増築工事開始
- 7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け
- 9. 6 駐車場舗装（体育館西側）
- 昭50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
- 3. 8 増築部完成 校舎3スパン 機械室 工費約1億6千万円 施工 小田急建設
- 4.26 テニスコート完成 校庭の校舎にU字溝設置
- 昭51. 1.16 図書館開館
- 昭52. 4. 1 二代校長 山口幸雄氏着任
- 9.13 第三期工事開始、東端3スパン、

美術室を理科室に改造

- （工費9,500万円 施工 小田急建設、年度末完成）
- 昭53. 3.28 校庭に防球フェンス設置
- 昭54. 5.15 校庭東側に防球フェンス設置
- 昭55. 1.18 仮称八中（現平山中）学校準備委員会発足
- 6.26 校庭南側に防球フェンス設置
- 昭56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲氏 着任
- 昭58. 4.10 学校警備、機械化となる
- 11.21 創立十周年記念式典挙行 校歌碑建立・除幕
- 昭59. 8. 1 体育館床の研磨
- 昭60. 4. 1 四代校長 立川泰司氏 着任
- 昭62. 1.17 給食棟建設工事着工
- 9.30 給食棟及びテニスコート（全天候型に）改修
- 昭63. 4. 1 五代校長 桑原和正氏 着任
- 5.16 給食開始

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
河村 俊一郎	昭48.4.1～52.3.31
山口 幸雄	昭52.4.1～56.3.31
花牟礼 哲	昭56.4.1～60.3.31
立川 泰司	昭60.4.1～63.3.31
桑原 和正	昭63.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地(日野台)、南半分の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく昭和12年、小西六写真工業(株)(六桜社)、昭和18年富士電機製造(株)の進出まで、ほとんど見るべきものはなかった。

しかし、戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者として、世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

- 1 進んで学習し、向上する人
- 2 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 3 進んで心身を鍛え、やりぬく人

○学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 年間の授業時数を確保し、生徒の思考過程を重視した授業をすすめる。
- 2 生徒の自主的実践的活動を重視した行事の実施、及び学年・学級経営を図る。
- 3 家庭の理解と協力をえて、ともに人間性豊かな生徒の育成につとめる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

1. 生徒の活動を生かす指導に努め、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材の精選につとめ、基礎学力の充実を図る。

イ. 道徳

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 物を大切に作る心を育てる。
3. よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

ウ. 特別活動

1. 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。
2. 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい集団生活を営むようにする。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送るために

1. 学校行事への取り組みを通して、自主的・実践的活動を重視する。
2. 教師と生徒のふれあいを重視し、生徒一人一人の学習や生活の悩みの解決を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

1. 自主的に規律正しい生活習慣を身につけると共に、個人の責任を自覚させる。
2. 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備・美化に努めさせる。
3. 心身の健康安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
4. 集団生活の意義や個人の果たす役割を理解し、集団の質を高める態度を養う。

イ. 進路指導

系統的な指導につとめ、自己理解・情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

人権尊重教育の推進

7. 本校の特色

(1) 教育活動

各領域の調和に心掛けつつ、校風を発展させる意気に燃えている。

ア. 授業 校内研究を深め、1時間1時間を大切にする。授業打ち切りをさげ、まじめな学習態度を育てる。

イ. 特別活動 学級活動・生徒会活動・クラブ活動と学校行事の調和をめざし、時間を厳守して活動し、自発心・自律心を育てると共に感動する体験を多くするように努める。

(2) 授業研究の推進

市の学校教育の指導目標にのっとり、授業研究の推進に努める。

(3) 父母との連携

学校通信（学校の様子、生徒の創作）を家庭に配布し、学年・学級通信と合わせて共通理解・共通指導に努める。

(4) 美化緑化の推進

校樹（泰山木）を育て、緑多く美しい学園の環境整備に努める。

(5) 勤労体験学習の推進

学校行事を通して、特に、全校清掃の日々の実践から、自ら気付き・考え・実行する力を育てる。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	研究員	開発委員・現代化委員	研究生
1	桑原 和正 46年教育方法	桑原 和正 52年 道徳	古厩 清夫 40年 生指
2	桑原 和正 48年 社会	會田 武夫 50年 保体	
3	會田 武夫 48年 保体	新井 幹 53年教育課程	
4	新井 幹 54年 音楽	高橋 清子 57年 家庭	
5	高橋 清子 61年 家庭		
6	原田 憲一 62年 技術		
7	青木 裕美 62年 理科		
8	吉田 俊明 63年教育課題		



学 校 名 日野市立三沢中学校

所 在 地 日野市三沢25番地

電 話 0 4 2 5 - 9 2 - 5 0 1 7 ・ 5 0 1 8

順 路 京王線百草園より西へ徒歩10分

高幡不動駅より東へ徒歩12分

生 徒 数 男 451名 女 364名 計 815名

校長氏名 綿 引 正 己

教頭氏名 埴 健 郎

1. 沿革の概要

- | | |
|---|--|
| <p>昭 51. 9. 18 仮称5中学校校舎起工式</p> <p>昭 52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令</p> <p>4. 1 日野市立三沢中学校開校 教頭以下教職員22名発令</p> <p>4. 6 始業式（2年156名、3年147名）</p> <p>4. 7 第1回入学式（1年188名、全校生徒491名）</p> <p>9. 16 第1回開校記念日</p> <p>昭 53. 3. 22 第1回卒業式（男80名女66名）</p> <p>4. 7 第2回入学式（男109名女85名）</p> <p>昭 54. 3. 19 第2回卒業式（男75名女88名）</p> <p>4. 7 第3回入学式（男111名女91名）</p> <p>昭 55. 3. 18 第3回卒業式（男93名女91名）</p> <p>4. 8 第4回入学式（男107名 女105名）</p> <p>昭 56. 3. 20 第4回卒業式（男105名女86名）</p> <p>4. 6 第5回入学式（男131名女94名）</p> <p>昭 57. 3. 19 第5回卒業式（男108名女95名）</p> <p>4. 1 二代校長 降簇経雄発令</p> <p>4. 7 第6回入学式（男137名 女108名）</p> <p>昭 58. 3. 19 第6回卒業式（男110名 女108名）</p> <p>4. 7 第7回入学式（男107名 女122名） 18学級 教職員35名</p> <p>昭 59. 3. 19 第7回卒業式（男130名女95名）</p> <p>4. 1 校舎増築、給食室完成</p> <p>4. 7 第8回入学式（男174名 女161名）</p> | <p>昭 60. 3. 19 第8回卒業式（男136名 女102名）</p> <p>3. 31 西側第二グラウンド完成</p> <p>4. 8 第9回入学式（男171名 女153名）</p> <p>昭 61. 3. 20 第9回卒業式（男110名 女119名）</p> <p>3. 31 前庭、中庭緑化完成</p> <p>4. 8 第10回入学式（男169名 女170名） 24学級 教職員55名</p> <p>昭 62. 3. 20 第10回卒業式（男174名 女169名）</p> <p>4. 1 三代校長 綿引正己発令</p> <p>4. 7 第11回入学式（男173名 女142名） 23学級 教職員55名</p> <p>11. 7 創立10周年記念式典</p> <p>昭 63. 3. 18 第11回卒業式（男175名 女164名）</p> <p>4. 7 第12回入学式（男142名 女129名） 23学級 教職員56名</p> <p>平成元年 3.20 第12回卒業式（男170名 女168名）</p> <p>4. 7 第13回入学式（男132名 女97名） 21学級 教職員50名</p> |
|---|--|

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
古 川 豊	昭52.2.1～57.3.31
降 簇 経 雄	昭57.4.1～62.3.31
綿 引 正 己	昭62.4.1～現在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
 - ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
 - ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。
- 教育目標を達成するための基本方針
- ① 授業を大切に、教材研究ならびに授業研究にとりくみ、基礎的事項の定着を図る。
 - ② 学級・学年活動、学校行事等を通じて、生徒の存在感や成就感をうながす活動を展開する。
 - ③ 体位・体力の向上を図ると共に、生徒理解に立った心の指導をすすめる。
 - ④ 規律ある校風を築き、教育環境を整え、教職員は和をもってこれにあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 基礎学力の充実のために教材を精選、系統化して学習の効率化をはかる。
- 主体的かつ素直に学ぶ態度、習慣を身につけさせる。
- 一人ひとりの学習者の立場に立った指導を工夫する。

(2) 道徳

- 一人ひとりの人権を尊重する人間に育てる。
- きまりを守り、集団や社会の一員として自覚し、行動する態度を伸ばす。

(3) 特別活動

- 自主性を育て、堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために、教師と生徒が一体となって、発表の場や機会を作る。
- 生徒の自主性と仲間との協力や規律ある集団生活の習慣を養うため、クラブ活動を盛んに行う。
- 生徒会活動の活発化により、生徒の自主的・自律的態度を育てる。

(4) 生活指導

立派な校風と伝統を築き上げるために

- 規律ある集団づくりを進める。
- 積極的に環境づくりに取り組む。
- 善悪理非のけじめを自覚させ、実行させる。

(5) 進路指導

- 自己理解を深め、進路選択の能力を養うよう、学年に応じた系統的指導を実践する。
- 学級指導における進路学習を位置づける。

(6) その他の活動

- 教育相談、学力補充を精力的にすすめる。
- 中国引き揚げ子女に対して配慮をし、特に日本語の習熟をはかるように努める。
- 国際理解教育の推進をはかる。
- 国際理解教育の推進に努めると共に、外国人英語指導助手の活用をはかる。

6. 本年度の研究主題

遅進生徒に対する有効な指導法のあり方を、実践を通して研究する。

7. 本校の特色

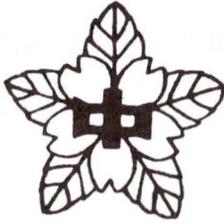
本校は開校以来12年が経過し、教職員の努力と地域、父母の協力により、学校の基礎が確立されたところである。施設の面では、この2、3年の間に校舎増築、給食施設の完成、第二グラウンドや前庭の完成など一段と充実をみた。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく伸びやかな雰囲気を大切にしている。その中で自から考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成をめざしている。このことを可能にするため、授業研究、行事の充実、生活指導のための校内研修を重視している。生徒は素直であるが、目的意識が不十分であり、集中力に欠ける面がある。父母は教育熱心で協力的であり、父母と教師の会の活動も活発である。

本年度、国際理解教育の推進ならびに英語力の増進を目的に、外国人教師の導入を図った。

8. その他（教職員の研究歴）

中 央 研	教 育 研 究 員	開 発 委 員 等	道 徳 助 言 研
埴 健 郎 (56)	綿 引 正 己 (44. 教育方法)	綿 引 正 己 (51. 英語現代化)	綿 引 正 己 (57)
	西 村 美 紗 子 (44. 音)	熊 谷 静 一 (理 現代化)	
	角 田 宣 子 (50. 給食)		
	広 瀬 昭 (52. 英)		
	吉 池 美 紀 子 (62. 音)		



学 校 名 日野市立大坂上中学校
 所 在 地 日野市大坂上4-17-1
 電 話 0425-83-9755・9756
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
 生 徒 数 男428(7) 女391(1) 計819(8)
 () 内 心障学級生徒数

校長氏名 名塚三雄

教頭氏名 山崎妙子

1. 沿革の概要

- 昭55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任
 4. 1 日野市立大坂上中学校開校
 教頭以下教職員 37名発令
 4. 7 始業式(2年214名 3年235
 名 心障15名)
 4. 8 第1回入学式 男144名
 女128名 心障2名
 5. 15 校舎・校庭工事完成
 6. 6 体育館工事完成
 6. 28 プール工事完成
 7. 12 落成式挙行
 8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定
 11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成
 11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌
 発表会挙行
 昭56. 3. 9 第1回卒業式 男130名
 女114名
 4. 7 第2回入学式 男128名
 女134名 心障12名
 昭57. 3. 19 第2回卒業式 男112名
 女110名
 4. 7 第3回入学式 男123名
 女102名 心障7名
 昭58. 3. 9 第3回卒業式 男148名
 女144名
 3. 31 理科室、食堂、図書室、美術
 室、普通教室4完成
 4. 7 第4回入学式 男151名
 女118名 心障5名
 昭59. 3. 19 第4回卒業式 男142名
 女143名

- 昭59. 4. 7 第5回入学式 男166名
 女151名 心障6名
 昭60. 3. 19 第5回卒業式 男127名
 女130名 心障4名
 4. 8 第6回入学式 男132名
 女152名 心障4名
 昭61. 3. 20 第6回卒業式 男150名
 女120名 心障5名
 4. 8 第7回入学式 男173名
 女163名 心障5名
 昭62. 3. 20 第7回卒業式 男166名
 女154名 心障6名
 4. 7 第8回入学式 男161名
 女146名 心障3名
 昭63. 3. 18 第8回卒業式 男131名
 女154名 心障4名
 4. 1 第2代 名塚三雄校長着任
 4. 7 第9回入学式 男148名
 女130名 心障4名
 平 1. 3. 20 第9回卒業式 男173名
 女161名、心障6名
 4. 7 第10回入学式 男121名
 女123名、心障1名

2. 歴代校長

代	氏名	年月～年月
1	長谷川辰美	昭55.2.1～63.3.31
2	名塚三雄	昭63.4.1～現在

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。また、関東ローム層の日野台地にあり、昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼電気(株)のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境は良好である。

4. 教育目標

進んで自己を開拓し向上しつづける人になろう。

- ① よく考え進んで学ぼう。(知性)
- ② 思いやりの心をもち、他につくそう。(敬愛)
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう。(健全)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

授業態勢の確立とわかる授業の工夫をすすめる

- ・基礎学力の充実をはかる
- ・生徒自ら学び考える態度を育てる

イ. 道徳

正しい判断力と思いやりの心を培い、社会の一員としての自己のあるべき姿を求め、道徳的実践力の育成につとめる。

ウ. 特別活動

自主性を育て、主体的な実践活動を通して充実した学校生活を送らせる。

(2) その他の活動

- ・生徒会の諸活動の充実につとめる。
- ・教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるよう学年・学級の諸活動の充実につとめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・学級の小集団を基盤として学級・学年・全校集団の質を高める活動を推進する。
(生徒の組織的活動)
- ・生徒に責任の所在をわからせ、自分で解決していく力をつけさせる。
(生徒指導の内容)
- ・研修を深め、教師間の理解と連携を密にし、同一姿勢で指導にあたる。

イ. 進路指導

- ・生徒が自己の能力・適性を伸ばし、目的意識をもって将来の進路を選択できるよう、計画的に指導をすすめる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 基礎学力の定着をはかるための指導
- (2) 生活指導の充実

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校10年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校教職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58年度より学校給食が始まり396名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

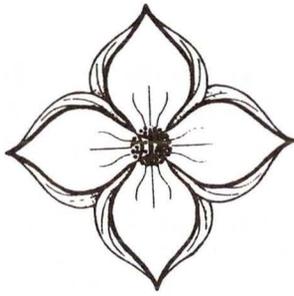
また、本校は心障学級設置校であり、交流学习等教育内容の充実にも努めている。幸にして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成元年度は ①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり ②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め ③生活環境を全校あげて整備し、安全・清潔・静粛な学校の維持・向上につとめていく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心もち、他につくす心情を大切にす生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	研究員	現代化委員	研究生	その他
1		名塚三雄 (43 特活)			山崎妙子 (46・47道徳助言)
2		宮田和子 (37 学活)		村上敏雄 (51 音楽)	中野秀樹 (55 道徳助言)
3		内田耕一郎 (41 特活)			
4		村上敏雄 (47 音楽)			村上敏雄 (62開発委音楽)
5		六本木 茂 (45 社会)			
6		田熊 祐 (49 数学)			
7		加藤常光 (49 進路)			
8		鈴木良身 (54 教育課題)			木嶋 健 (62開発委社会)
9		中野秀樹 (61 社会)			



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3
電 話 0425-93-3015・3016
順 路 JR 豊田駅下車 徒歩18分
生 徒 数 男子366名・女子336名・計702名

校長氏名 高木宏文

教頭氏名 佐藤英洋

1. 沿革の概要

- 昭55. 6.14 校舎建設工事着工
8.25 給食室建設工事着工
12.15 プール建設工事着工
12.16 体育館建設工事着工
昭56. 2.1 初代校長 河野寿忠着任
3.26 校舎使用開始
4.1 開校 乙戸教頭以下教諭29、
主査1、市職員11名着任
5.11 アラームシステムによる自動
警備開始
5.19 校庭造成工事終わる
5.27 プール完成
7.15 東テニスコート完成
8.21 体育館完成
9.21 西テニスコート完成
12.25 校旗完成
昭57. 1.7 校歌完成
2.6 校歌、校章発表会
3.1 中国日本語教師団の来校
4.11 学校スポーツ開始
4.23 家庭教育学級開講
昭58. 1.24 平山中PTA規約成立
2.8 体育館自動警備設備工事完了
4.1 第二代校長 川崎昭三着任
昭60. 11.30 校庭南側防音工事完了
昭61. 4.1 第三代校長 高木宏文着任

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
河野寿忠	昭56.2～58.3
川崎昭三	昭58.4～61.3
高木宏文	昭61.4～現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、校舎北側は、堤防道路をへだてて、浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3km、南北が約1.5kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴ない、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増が見られたが、生徒数は62年度を峠に漸減に向っている。父母の教育への関心度は極めて高い。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人
(主体性のある人間の育成)
- 協力し、進んで働く人
(社会性のある人間の育成)
- 自然や人々を大切にする人
(人間性豊かな人間の育成)
- 心身を鍛え、やりぬく人
(健康な人間の育成)

5. 指導の重点

(1) 各教科

○わかる授業、楽しい学習を展開するための工夫や努力をし、基礎学力の充実を図ることにより、生徒がゆとりをもった自主的学習態度を身につけられるようにする。

(2) 道徳

○温かい人間を基盤として、他人を理解し、尊重する心情の育成を図る。

○物事を自ら正しく考え、客観的・合理的な判断に基づいて、意欲をもって実践する能力・態度を養う。

○社会の一員としての基本的な生活習慣、生活態度の育成を図る。

(3) 特別活動

○生徒会活動、クラブ活動への参加の意欲を高め、これらの活動を通して、連帯の精神と責任感及び実践力を育成する。

○学校行事への参加を拡充させることにより、奉仕や他人に対する思いやりの心情の育成を図り、物事を計画的・組織的に進める能力・態度を高める。

(4) 生活指導

○望ましい習慣や生活態度を育てる日常の指導を徹底する。

○指導体制を整え、全職員が一致して指導にあたる。

○一人一人の生徒との心の交流を深めるとともに、集団活動による相互規制により、問題行動の予防に努める。問題傾向は早期発見に努め、家庭や学校はじめ関係諸機関との連絡を密にし、早期指導を実施して健全育成につとめる。

(5) 進路指導

○3年間を見通した進路指導の計画をたて、各学年各生徒に応じて系統的な指導を実施する。

○自己の特性を知り、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。

(6) その他の活動

○学校行事及び学年の諸計画に自主的に取り組むよう指導を推進する。また生徒会活動をもり上げ、学校生活の向上を図る。

○個人的な悩みや不安を解消し、意欲を高めるため、個人面談・進路相談をすすめる。さらに教科学習の質問教室、学力補充指導の実施に努める。

6. 本年度の研究主題

「生徒の自主的態度の育成をめざした学年・学級経営と教科指導のあり方」

7. 本校の特色

○開校9年目の学校である。生徒も教職員も「学校へ来るのが楽しい」といえる学校を目指して、下記事項に重点をおき、指導に当たっている。

○生徒をとりまくいろいろな環境を整え、活気に満ちた学校にする。

○「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校にする。

8. 教職員の研究歴

No.	内訳	研究員	現代化	研究生	開発委員等
1		川端 祐輝 (38 保体)	三富 恒男 (49 理)	和田 孝 (都研60特活)	和田 孝 (62 特活)
2		阿部 晃一 (43 美)	高木 宏文 (51 特活)		
3		高橋 雅子 (43 国)	上原 純子 (52 国)		
4		高木 宏文 (46 数)			山田 よし子 (元 音)
5		三浦 義次 (46 技)			
6		三富 恒男 (48 理)			
7		和田 孝 (58 特活)			
8		三浦 賢治 (59 数)			
9		遠藤 弘 (63 特活)			
10		渡辺 淳 (元 英)			

